EAST-ASIAN LIB. UNIVERSITY OF TORONTO
3 1761 03059 8452

1829

LIBRARY
APR 1 1976
UNIVERSITY OF TORONTO

現代支那語叢書

畫引、四聲引、音訓引 袖珍 支那發音字典

支那語の發音及四聲を知ることは邦人の最も困難に感ずる所なり。本書は先づ**第一畫引の部**に於て、總計一萬餘字に羅馬字式による發音及び四聲を附し、**第二四聲引の部**に於て、支那の發音を知りて其四聲を求むる如くしたり。**第三音訓引の部**に於て、邦人の既に習熟せる漢字の音及び訓によつて支那の發音及び四聲を引くに便にし、尙ほ本書は片假名式及び羅馬字式の發音を附し、又四聲引の部には、注音字母式の發音をも加へたり。

近刊

飯河道雄先生著

支那語界の二大快著！

世界的活動をなさんと欲する者、先づ英語に習熟せざるべからざるは言ふまでもなし。而も世界の富源たる支那に於て活動せんと欲する者も亦、支那語は勿論、英語に習熟せざるべからず。是れ本書**日華英三ケ國語を對照記載する所以**にして、**本書の內容は**、普通單語を三十節に、普通會話を五十節に分類し、商業用單語に於ては、いろは別にし、商業會話に於ては、十五節に分類し、悉く現代使用せらるゝ新らしき、單語及び會話を網羅せり。**世界的に活動し世界的人物**たらんと欲する現代の人士、請ふ一本を備へられよ。

日華英對照 袖珍 現代會話辭典

近刊

飯河道雄先生
馬冠標先生 共著

□譯書界の模範□

近版

譯註聲音重念附

官話指南自修書　官商吐屬篇

飯河研究室編

「官話指南を讀めぬ者は支那語通とは謂ふべからず」と言はるゝ程官話指南は良書なり。而もそれだけ又難解なり。本書は、官話指南中の官商吐屬一篇を採り、先づ毎紙の中央に本文を掲げ、問と答との分節を明かにする爲め番號を附し、且つ毎字に四聲の圈點を附し、新出字には發音を註し、更に重念の符號を附し、以て讀方の自修に不便ならしめたり。次に毎紙の下部に本文の番號に對應して、其行下に全譯を掲げて譯讀の指針となし、毎紙の上欄には本文中の難解なる語句を摘出して、之に詳細なる註解を加へたり。一たび本書を翻けば、發音、譯文、註解皆藏めて一眸の中に存す。

此くの如く便利なる自修書他に在りや

本書は、官話指南の中、應對須知及び使令通話の兩篇を取り、前に掲げたる官商吐屬篇と全く同樣に全譯、註解、發音、四聲及び重念を附したるものなり。

近版

譯註聲音重念附

官話指南自修書　應對須知篇　使令通話篇

飯河研究室編

□現代支那語叢書□

飯河道雄先生
旅順工科大學講師 馬冠標先生
共著

現代支那語入門

近版

□支那語教授界の革命□

□空前の名著□

現在世に行はるゝ支那語の敎科書は、言葉其ものゝ精選せられたるものは或は之れ有らん。然れども之を敎育的見地より考究すれば、學習者の心理を考察し、外國語學習の目的を考慮し、敎授の方式に着眼したるもの一も之れある無し。之を英語敎授界の進歩に比すれば、實に霄壤の差ありと謂ふべし。著者多年支那高等師範學校に敎授たり、後滿鐵會社に入り、敎育研究所を主宰し、兼て督學の任に當る。自ら支那語學研究者たると同時に又支那語敎授法を最新外國語敎授方式を以て考究せる敎育者たり。馬先生は我が東京高等師範學校の出身にして又生粹の北京人なり。乃ち恰も中等學校の英語敎科書の如く、或は之をプレブナ氏最新敎授方式に考へ、或はベルリッツ式の速成方式を參照し、或はゴールドシユミット氏の繪畫式を採り、或は支那語學習の目的を考慮し、或は支那語の特徵を摘發し、以て初學者の純粹の北京語學習の入門たらしめしもの即ち本書なりとす。

□現代支那語叢書□

新版

聲音重念附 支那口語尺牘 全

飯河道雄先生著

定價壹圓 四六判總布美本

覺醒せる支那は!! 今や「文學革命」の聲四百餘州に轟き、文字の粉飾を以て能事畢れりとなせる迂儒の文章は、早や直觀達意を旨とする新人の口語文によつて驅逐せらるるに至れり。本書は、此大勢の生める支那口語の書翰文にして現に中土に於て日常使用せらるゝものを採り、以て口語尺牘の大要を紹介し、且つ發音、四聲及び重念の符號を附し、以て社交用語の習熟に便したるなり。

近版

現代支那語讀本詳解 全

飯河研究室編

「現代支那語讀本」は從來の支那語教科書と異り、幾多嶄新の材料を交へ、且つその支那の風俗習慣は、初學者に取り數多難解の處あり。乃ち本書はその難解の語句を摘出し、之に發音四聲を附し、使ひ方の困難なるものには類例を掲げ、又外に類語あるものは其區別を明かにし、故事あるものは之を說明し、俗語上の特殊の用法の文字は其本來の意義を明かにする等詳細に解釋を加へたるものなり。

近版

聲音重念附 支那語分類會話讀本譯註

飯河研究室編

本書は、「聲音重念附支那語分類會話讀本」の全文を譯出し、且つ難解の語句には詳細なる註解を加へ、以て自修者の便宜に供したるものなり。

現代支那語叢書

聲音重念附 支那語分類會話讀本

新版

飯河道雄先生著

四六判 總布美本 全一冊

著者は多年滿鐵會社に在りて督學の任に當る。其間支那語敎授の實際を見るに、一時間授業の大半は發音の記號、四聲の圈點、重念の符號を附くるに空費せられ、會話敎授の生命たる反覆練習の機會なく、休養の時間を割いて夜間學習に從ふ篤學の士に對し、轉々同情に堪へざるものあり。著者乃ち之に鑑み、始めより讀本に發音、四聲、重念の符號を附し、此の弊を矯正せんとして本書の編纂を見たるなり。内容は訪問、消遣、學業、天時、飲食、通信、店舖、商家用語、遊歷、辭別、慶賀、人物雜類の十三章に分ち、更に之を七十四節に小別し、諸方面の題目を網羅せり。直に支那語を實務に使用せんとして速成を望まるゝ學者に取り好適の讀本なりとす。

聲音重念附 支那語難語句例解

新版

飯河研究室編

定價壹圓貳拾錢

四六判 總布美本 全一冊

邦人の支那語學習に困難を感ずる點は文字の用法が我が漢字のそれと同一ならざるものと、他は所謂助辭の用法に在るなり。本書は乃ち此等兩者を蒐集して、一々其用例を掲げ、その凡てに片假名及羅馬字式の發音を註し、且つ四聲及重念の符號を附し、尚ほ完全なる索引をも加へ、以て篤學の士の自修の便に供したり。

飯河道雄先生著

□□□□□□

泰東日報評

著者は

曩に河南省高等師範學校に教授たり、後滿鐵會社に入り、教育研究所を主宰し、兼て視學として、支那事情及語學教授法を研鑽する事多年、即ち支那文化及語學研究の泰斗たり

現代支那語讀本　全

新版

△定價　壹圓八十錢
△郵稅　八錢
△四六判　二八八頁
△總クロース美本

本書の特色

本書は、從來の支那語教科書が通辯養成式の、而も舊套の、會話一點張にして、且つ無味乾燥なるに反し、歐米新式語學教授法の趣旨に依れる

△現代支那の新らしき支那語
△從來の支那語諸名書の拔萃
△笑話、謎、小說等の趣味ある材料
△社交、經濟、產業、科學上の諸題目網羅
△支那語により支那風俗習慣の修得
△新聞雜誌の口語の記述體
△興味、記憶を助くる挿畫
△眞に又支那語の百科全書

大正十二年十一月一日印刷
大正十二年十一月十日發行

（支那に於ける外人の文化事業論）
（定價貳圓）

不許複製

大連市西公園町五拾七番地
著者兼發行者　飯河道雄

大連市近江町九十一番地
印刷者　山田浩通

大連市近江町九十一番地
印刷所　東亞印刷株式會社支店

大連市大山通三丁目九十七番地
發賣所　大阪屋號書店
電話四六〇八番　五七七五番
振替口座大連五五番

本會設立に賛意を表し協力を快諾したるものは、「タフト」氏以下米國朝野の名士、及袁世凱・唐紹儀・伍廷芳・其他東洋に關係ある團體の代表者なりとす。

三　中國人に對する態度の改善

最後に、吾人は日本人啓發運動として、邦人の中國人に對する態度の改善を提唱せんとす、今や「チャンコロ」の一言は、邦人の中國人觀を代表し、以て中國人の全人格を罵倒し、四億の全國民を罵倒して餘す所なきに至れり。中國人の之を聞く者、怨、骨髓に徹するも、我が國威に壓伏せられ遂に怨を呑んで復た言を返す者なし。偶々憤怨の餘り言を返す者あれば忽ち我は其足を蹴り、其頭を打ち、衣を裂き血の迸るを見ること稀ならず。而も尚我、其口を以て日華親善を説き、日華共榮を唱ふ、彼果して如何に之を聽き取るべきや、之を想へば日華親善は實に前途遼遠なり。吾人が前來縷々述べ來りたる日中共同生活は、「チャンコロ」の一言によりて抹殺し去らる。筆を投じて三嘆せざらんとするも得べけんや。

是に於て、先づ我が官民上下擧つて「チャンコロ」の廢止運動を實施し且つ中國人に對する從來の暴虐の態度を改め衷心より彼我相敬し相信ずるに至らんことを圖らざるべからず。（完）

一、西洋文明を東方亞細亞に輸入すること
二、東西思想の交換を圖ること
三、東洋諸國に於ける文物の進歩及其他の狀況を研究すること。詳言すれば
第一、中國・日本及其他の東洋諸國の言語、文學・歷史・法律・宗教・美術・經濟及政治の研究をなすこと
第二、中國・朝鮮・暹羅・比律賓・馬來半島・露領・亞細亞等の進歩改革に就き研究すること
第三、西洋文明の東洋に及ぼしたる影響、東洋諸國の發達の米國に及ぼしたる影響を研究すること
第四、東西文明の接觸により惹起したる諸問題を解決する爲、意見の交換を盛にし、印刷物を發行し、其他有益なる事業を行ふにつき、米國有志の同心協力、並に東洋諸國民との提携を奬勵すること
第五、太平洋問題に關する知識を米國に普及せしむること

同會の既に實施したる事業は亞細亞及太平洋圖書館・博物館・教育其他公共事業の會館を華盛頓に建設し、又印刷物を發行しつゝあり。

役員は前大統領「タフト」氏を總裁に推選し、「ジョン・ダブルリウ・フォスター」氏副總總裁たり。

實用東方學院　「ペテログラード」東洋に關する各種の知識を增進し、一般國民の注意を喚起するを目的とす
露國上海商業會議所　上海一九一七年設立

六、白耳義

中白研究會　本部―「ブラッセル」　支部―上海

七、和蘭

「ライデン」大學　通報發行所「ライデン」「エー、ジー、ブリル」書店有名なる佛國の中國學者「コルヂエー」及「シャワンヌ」の二教授主として編輯に當り各月一回刊行し、東亞の歷史・言語・地理・人類學に關する研究を發表す

八、墺洪國

東洋語學校　維納一七五一年創立。東洋語を教授すると共に東洋諸邦の地理・風俗・物產・交通狀態等を調査す
亞細亞學會　「ブタペスト」

九、伊太利

亞細亞學會　羅馬
東洋語學校　羅馬伊太利政府は同校に年四千磅を補助す

前に揭げたる米國の施設に係る亞細亞學會は、吾人が提唱せる中國文化研究所に取り、最も有益なる資料を提供す。左にその內容を列擧すべし。

本會の目的は

東洋語學教習所(Seminar fur Orientalischen sprachei)伯林一八八七年設立。中國部及日本部あり。主として東洋に於て官廳の飜譯事務に從事する年少の法律家、竝亞細亞方面に於て服務すべき士官技師商人及宣教師に語學を授くるを目的とす。又諸植民地の言語及學術竝必要なる歐洲語の學習をなさしむ

「ハンブルヒ」大學中國講座　一九〇九年設立

「ザクリン」大學中國講座

「ミュンヘン」圖書館　「イノマン」氏寄贈に係る中國書一萬卷を藏す

伯林圖書館　中國の暦書、稅關報告等を始め、祕密手記其他珍重なる書類を藏す

獨亞協會(Deutschen-Asiatischer Verein)　伯林

獨逸人協會(Deutsche Vereiksgung)　上海一九〇〇年設立

五、露國

東洋研究協會　本部―「ペテログラード」、支部―「オデッサ」・哈爾賓・「プリアムール」・「タシケント」等一九〇〇年設立。研究部を「バルガン」諸國・近東・中東及極東に分つ、毎月二回報告書を發行す。

東洋協會　哈爾賓

浦鹽東洋語學校　一八九九年創立。東洋語教授と中國研究を目的とす。中國に關する講座二箇、日本・朝鮮・滿洲及蒙古に關する講座各一箇を設け、又大圖書館と印刷部とを有し、中國・日本・朝鮮・蒙古及西藏の活字を備ふ

「ラザレウ」東洋語學科　「モスコウ」

「ペテログラード」大學東洋語學科

東洋語學專門學校 (Lécole Special des Langues orientales vivants)巴里。一七九五年創立。東洋語を教授すると同時に、東洋に關する各種の調査報告書を刊行す。

佛蘭西東洋學院 (Lécole Française d'Extreme Orient) 佛領印度支那河內。一九〇〇年柴棍に設立せられ、一九〇二年河內に移さる。同學院は印度支那半島の考古及古文學の研究並に中國文明の學術的研究をなすを目的とす。報告書及時報を發行す

巴里大學中國講座　中國研究第二講座及第四講座を置く。中國に關する大書庫を有し、中國に關する學術雜誌を發行す。

里昂大學中國講座　里昂

佛中親交會　本部―巴里、支部―北京

中國調査會　里昂、里昂及其他の六箇の商業會議所が聯合設立したるものなり

佛蘭西上海商業會議所　上海一九一六年設立

四　獨逸

獨中同盟會 (Deutsch Chinesechr Vercand) 伯林一九一四年三月設立。約百名の商工業者の會員より成る。本會は獨中の經濟關係を密接にし、且つ獨逸の科學及技術を中國に普及せしむるを目的とし、各種の獨中學校及病院を設立し、教師及醫師を派遣し、布教學校に獨逸語教師に監督せしめ、又出版・翻譯・著作の流布及其他中國に對する獨逸文明の宣傳に努め、尙中國に關する調査探險に援助を與へ、又獨逸留學の中國學生に補助を與ふ

東亞協會　「ハンブルヒ」

獨中貿易協會　伯林一九〇九年創立

青島獨亞協會 (Ostasiatischer Verein)「ハンブルヒ」

中國協會（The China Assrociation）本部―倫敦、支部―上海・香港・天津、本會は倫敦の「キングス・カレッヂ」と協力して協和中國人學校「Incorparated School Chinese」を設立したり

英國中國工業協會（British Fngineering Association into China）本部―倫敦、支部―上海

東洋研究學校（Schaol of Oriental S'udiei）倫敦一九一六年勅許によりて設立す。本校の目的は

一、東洋及阿弗利加に於て行政及軍務に從事する者に其言語・宗教・歷史・風俗・習慣を研究せしめ、二、東洋及阿弗利加に於て從事する者を養成し、三、各國の東洋學者に會合の機會を提供するにあり

新東洋研究所

「ケンブリッヂ」大學中國講座

「マンチエスター」大學中國講座

「リバプール」大學中國講座

「オックスフォード」大學中國講座

英國上海商業會議所　英國製造工業者二十名の組合にして、英中貿易の增進を圖るを以て目的とす。委員を派遣して製造品の販路を調査報告せしめ、又駐中英公使及外務省と聯絡を取り、顧問及技師の傭聘を斡旋す。一九一五年創立。月刊「英國商業會議所報告書」を發行す。上海に學校を經營す。

英國中國各地商業會議所　天津・漢口・福州・芝罘・鎭江・廈門・汕頭及牛莊

三　佛國

亞細亞學會　巴里一八二一年創立。亞細亞に關する學術を研究す

平和的進歩及幸福の障害を除去すること、月刊雜誌「亞細亞」を發行す。

亞細亞學會　後出

中國協會（The Chinese Sociey」（ニューヨーク」米中兩國の友誼を增進し、兩國民間に其理想、文化及進歩に關する知識を傳播すること

東亞協會（The East Aieatic Society）

米國平和協會（The American Peace Society）ニューヨーク

中國「エール」大學（Yale College in China）湖南

廣東基督教大學（Canton Christan College）廣東

「エール」大學東洋部（Oriental Department of Yale University）ニューヘヴン

「コロンビヤ」大學東洋部(Oriental department ofColombia University）ニューヨーク

中國考古學講習所（The American School of Archeology in Chiua）

中國記念物協會（The China Monuments Socicny）

長老派外國布教局）The Presbitenan Board of Foreign Mission）

米國在中國商業會議所　上海

二、英　國

帝室亞細亞協會（The Royal Asiatic Sociaty）本部―倫敦、支部―上海・香港・東京、一八二三年創立。一八二八年東方文學翻譯基金を設く

吾人は曩に第九國際的文化施設の要諦の章に於て、中國文化研究所の設立を提唱したり。この中國文化研究所は特に日本人に取りて一層其必要あるを感ず。

日中人相互の理解は實に我が滿蒙文化開發の要諦たり。我、彼を導いて滿蒙文化開發の大任に當らんとするや、先づ我、彼の事情を理解せざるべからず。然れども、吾人寡聞にして未だ邦人の爲に中國事情を授くる何等の施設あるを知らず。數箇處の夜學校に於て中國語又は中國時文を授くるものは之あり。然れども中國の國民性を講じ、中國の人情風俗を傳へ、中國の國情を說くものに至りては、學校は勿論其他に於て一も、其施設あるを知らざるなり。中國は我隣國たるの故を以て知り易しとなすは非なり。識者は、中國は東洋を以て律すべからず、寧ろ西洋を以て解すべしとなすに一致す。中國は世界の謎なり、歐米人は孜々として中國研究を怠らず。乞ふ左に歐米人の中國研究機關を列擧し以て其狀況の一斑を窺はんとす。

二　歐米人の中國研究機關

一、米　國

米國東洋協會　The American Oriental Socety「ボストン」一八四二年設立。東洋の語學研究機關誌其他出版

米國亞細亞協會（The American Asiatic Association）本部ニユーヨーク、支部―上海・神戶・橫濱・亞細亞諸國と他の世界各國との間の誤解の原因及事情の不明より來る偏見を除去し、其關係を圓滿にし、且宗教、文育及慈善の事業に依り、亞細亞諸國民の

於て能く中國人を驅使する英國人の父は、新嘉坡に於て能く馬來人を驅使したるものなるべし。其又父は印度に於て、其又父は埃及に於て能く土人を驅使したる經驗を有す。此の如く、數代相傳へて土人を驅使するの經驗を得たる西洋人と、領臺以來僅かに三十年の短き經驗を有する日本人とは、其殖民的能力に於て到底比較にならざるなり。

殖民學者「ルーカス」氏は殖民者として必要なる條件として、第一冒險的精神に富むこと、第二土著人に對し寛容の美德を具ふること、第三精細なる觀察力を有すること、第四發明發見の能力を有すること、第五身體强健なること等を擧げたり。吾人は日本國民は其素質に於て殖民的能力を有することを疑はず。乃ち能く之を啓發し、之を訓練し、之に殖民的知識を與へ、以て卓越せる殖民者を養成することは、獨り滿蒙開發に於て必要とするのみならず、又我國內に於ても、世界的國民の養成上重大なる問題なりと信ず。

歐米國に於ては、我が東洋協會設立の拓殖大學に類する學校を有するもの尠なからず。實に、歐米國に於ては特に殖民的敎育を受けたる者に非ざれば殖民地の官吏に採用せざるを例とす。その主なる學校は後節歐米人の中國研究機關中に載せたり。

左に日本人啓發上緊要なる二三の事項を揭ぐべし。

一　中國文化研究の必要

十一、右の外通俗講演等により相互の事情を理解せしむること。

第十　日本人啓發運動

或は同文同種と云ひ、方は唇齒輔車と云ひ、或は日華共存と云ひ、日華共榮と云ふ。日華親善の標語一にして足らず。而も親善なるべくして、未だ親善なる能はざるは何ぞ。喧嘩は兩成敗なり、獨り彼をのみ責むべきにあらず。其曲は兩者にあり。彼、我を侮りて下らず、我、彼を賤みて自ら高うす。かくては遂に日華親善の日永遠に來るべからざるなり。是れ吾人が共同生活に對する準備として、兩方面の啓發運動を必要とする所以なり。

凡そ國際間の情誼は、毫も個人間の友情と選ぶ所なし。個人間の友情は謙讓と信義とに由つて保たる。國際間の情誼も亦謙讓と信義との外之を維持するの策あるべからざるなり。

日本には旅の恥は搔き捨てと云ふ惡しき諺あり。之れを國內に捨つるは同胞能く之を忍ぶも之れを國外に施すに至りては、彼れ決して我を恕さず、何時かは報復せらるゝの時あるなり。原來日本人は國際間の情誼を解せず。之に反し歐洲人は十六世紀の末、西に於て「コロンブス」が亞米利加を發見し、東に於て「ヴアス、ゴ、ダ、ガマ」が印度洋航路を發見せし以來、三世紀の間能く海外發展の能力を養ひ、異人種に處するの道を體得せり。此三世紀は即ち我に於ては鎖國たりしなり。今日上海に

教育を施す外、中國語及中國特に滿蒙に關する事情を課し、第二部に於ては中國人を收容し、之に拓殖に關する敎育の外、日本語及日本の學術を敎授す。

二、日本人高等小學校兒童全部に中國語を課し、中國人高等小學校兒童全部に日本語を課す。日本人小學校敎員全部に中國語を學修せしめ、中國師範學校生徒全部に日本語を課す。

三、編譯局を設け、日本文及中國文の著名の書籍を、夫々中國文及日本文に飜譯し中國及日本に配布す。

四、日本語及中國語の普及を圖らんが爲、夫々雜誌を發行す。

五、日本文及中國文を以て、一般に相互の關係を知らしめんが爲に夫々雜誌を發行す。

六、中國文化硏究所を設け、日中人共同硏究の府とす。當硏究所については、特に日本人啓發上必要なるが故に後節に於て詳述す。

七、奬學の制を設け、日本人及中國人の有爲なる者を、北京或は日本內地に留學せしむ。

八、滿蒙の主要なる地に、物產陳列所を設け、日本及滿蒙の主なる產物商品を陳列し、其縱覽、紹介及調査に便にす。

九、公醫制度を設け南滿洲醫科大學卒業生を各地に駐在せしめ學術の普及を圖る。

十、醫學硏究所を設け特に滿蒙特殊の地方病を硏究すること。

會社に取つては勿論我邦に對して有害なる結果を生ずることを憂慮する士も尠なからず。これ從來一般中國人に對する文化施設の等閑に附せられにる所以にして、吾人が本論を草するの趣旨も亦此迷夢を覺醒せんが爲の微意に外ならず。然れども吾人は玆に對中國文化施設の反對論を駁するを避けんとす。蓋し時勢は進步し、國際關係は更に切迫せる今日に於て、對中國文化施設の無用を云々するの士は、既に却つてその迂愚を笑はるゝの時代となりたればなり。

滿蒙に對する文化施設は、他の中國本部に對するそれよりも更に一段の緊切を加ふ。何となれば日中人共同生活の機會は、他の部分に比し更に一段の必要を加ふればなり。

對中國文化施設の方策については吾人は前に掲げたる「獨逸人の對中國文化事業計畫」に於て多大のヒントを得たり。但し吾人は獨逸の侵略的を學ばんとするに非ず。學ぶ所は其著眼點と其整然たる組織にあり。吾人が滿蒙に於て日中人相互の理解により、圓滿なる共同生活を營み、以て相互の福利を增進せんとするは、何處までも日中人雙方に於て、此著想の明と此組織的能力とを以て、協力事に當るを要す。即ち吾人は玆に滿蒙の文化施設の組織的機關として、日中共同經營の日華文化協會の設立を提唱す。

吾人の提唱する日華文化協會の經營すべき主なる事業左の如し。

一、奉天に專門程度一の拓殖學校を設け、之を二部分に分ち、其第一部に於ては邦人に拓殖に關する

去すること。

五、圖書館其他通俗講演　通俗新聞等により社會教育を施し、以て日中相互の事情を理解せしめ、特に滿鐵會社の施設に對し正當なる理解を有せしむるに努むること。

六、附屬地に定住する中國人子弟の修學を奬勵して有爲の人材を養成し中國の重要なる地位を得しめ以て日中國交の調節者たらしむること。

七、日中人の社交機關を設くること。

八、日中人の交際には日本語を用ふるに至るを理想とすること。

此點は一見吾人の日中人相互的なるの趣旨に反するが如し。然れども、是れ中國は言語不統一にして南北中國は全く言語相通せず。彼の國會其他公共の會合に於て、常に意思の疏通せざるに苦しみつゝある狀態に徵し、附屬地に於ても亦交通語として日本語を用ゆるの已むを得ざるを信ずるなり。

第九　國際的文化開發案の提唱

附屬地内に於ける文化施設は、消極的にせよ、積極的にもせよ、兎に角滿鐵會社に於て或程度まで實施を怠るべからざる責務あり。國際的文化施設に至つては、滿鐵會社自體に對する利害の上より打算すれば、敢て之を施設せざるべからずと云ふ程の必然的責務もなし。否、却つてかゝる施設の滿鐵

域を涵養するの效あるが如く、附屬地は其高度の文明の力に由て、周圍幾十里の地域に文化の恩澤を注ぐに於て其價値を有す。此點に於て、附屬地は事實上彼の專管居留地と同一の性質を有す。

此意義に於て、附屬地經營は宜しく、內は日中人共同生活を圓滑にし、以て附屬地をして模範的都市たらしめ、外は一般中國人と圓滿なる交通を行ひ、以て彼我通商の發達を圖り、又周圍の資源の涵養を圖り、以て物資の產出を豐富にし、又文化を開發して、以て生活の向上を圖り、かくして日中兩國常に共同の福利を享受せんことを努めざるべからず。

乃ち、附屬地文化施設上、左の方案を提唱す。

一、凡て、附屬地文化施設は彼の歐米の都市生活の如く、附屬地を以て共同生活範圍の單位として、日中人共同生活の安寧幸福を圖ること。

二、普通敎育は普及主義を採り、所謂市民的敎育を施すを以て要義とし以て共同生活の圓滑を圖ること。

附屬地以外の中國人をも成るべく學校に收容し、以て附屬地を中心として我が文化の普及を圖ること。

三、附近の產業開發に必要なる施設をなし、其結果を宣傳し、以て其資源の涵養を圖ること。

四、病院には中國人患者の治療に適する施設をなし、又衞生思想を鼓吹し共同生活に對する危險を除

收容し、特に中國人の爲に豫科を設け南滿中學堂に附設す。

第八　附屬地文化開發案の提唱

滿蒙に於ける日中人共同生活に對する準備として、中國人を啓發する方策を講ずるに當り、之を附屬地の文化施設と國際的文化施設との二方面に分ち研究するを便とす。乃ち先づ左に附屬地の文化施設上の特徴につき一言せんとす。

法理上、鐵道附屬地は租借國の條件附領土なりとするの說あり（蜷川博士「南滿洲に於ける帝國の權利」）。又之を以て專管居留地と同一なりと爲す說あり（今井博士「支那國際法論」）。而して其孰れに屬するに論なく、事實上附屬地は日本の治下にある地域なり。又附屬地內に居住する中國人は假令國籍上外國人たり又彼等自身も日本の臣民乃至準臣民なりとは考へ居らざるべしと雖、兎に角彼等は他の一般中國人に比し、日本とより密接なる關係を有す。即ち彼等の生活の根據は直接に鐵道に在り。彼等は停車場を中心として生活の資を求んが爲めに移住し來れるものにして、將來とも永く現在の地位に定著するの傾向を有す。此點に於て附屬地は事實上彼の領土權の確定せる殖民地と略々同一の性質を有す。且つ又附屬地は、他の一般の中國の領土に對し、貿易及文化發展上の策源地たるの點に於て大なる價値を有す。蜿々たる六百有餘哩の鐵道沿線は、恰も彼の山脈の潤澤が、麓幾十里にも亙る地

施設を有せず、唯上海の東亞同文書院が、その農工科に於て中國人を邦人と混合して教育しつゝあると、天津及漢口に於ける中學程度の同文書院、天津日本租界に於て中國兒童の爲に初等教育を施す公共學校とあるの外、醫療事業として、北京・漢口等に同仁醫院を有するのみ。彼の厦門旭瀛書院及福建に於ける學校の如きは、もと臺灣に籍を有する中國人を教育せんが爲めのものにして、吾人の所謂國際教育に編入すべきにあらず。

關東州内の中國人教育のために、七箇所の公學堂あり、關東廳の直轄にして初等教育を施す所なり。此外州内各地に百數十箇所の普通學堂ありと雖、皆村會自體の設立に係り、邦人の施設と稱すべきものにあらず。

滿鐵會社の施設として左の如き中國人教育施設あり。他の病院、産業等の方面に於ては特に中國人の爲めに施設せられたるあるを聞かず。

附屬地に居住する中國兒童に初等教育を施すものを公學堂となす。瓦房店・松樹・熊岳城・蓋平・奉天・開原・四平街・公主嶺・長春の九箇所にあり。

附屬地外一般中國人を收容し、普通教育或は日本語教授を施すものに、奉天に南滿中學堂あり。鐵嶺に日語學堂あり。日語學堂に準ずるものに、海城東語學舍・遼陽日語學校・奉天外國語學校あり。又職業教育には營口商業學校遼陽商業學校及撫順鑛山學校あり。奉天滿洲醫科大學は同數の日中人を

る農具を給與し、役畜は仔畜償還の方法を以て貸付す。土地の小作料は收穫の四分の一を取り、地租其他の公課は地主即ち教會持とす。殖民地の人口は

		人口
大營子	一二〇	一、八〇〇
ホプト	八〇	一、〇〇〇

にして、大營子は既に充滿して收容の餘力無けれども「ホプト」は尚多少の餘地を存す。

當殖民地の特色を擧ぐれば

一、農民は普通教育を受け居るを以て一般に知識進歩せること

二、宣教師が農業の經營及技術に對して指導奬勵をなすこと

三、農民の家屋は清潔なり。田畔亦井然として土地の改良よく行はれ、從つて農作物の收穫量も他に比して多く、その生計裕福なるが如し

四、蒙匪事件以來、征蒙軍の爲め他の一般人民は苛斂誅求に苦しむと雖も、この教會殖民地は、其害を蒙らざる爲、恰も小獨立國なるが如き觀あり

第七　邦人の中國人啓發運動

翻て、我が對中國文化施設の狀況を一瞥せん。遺憾ながら、我が國は他の列國と比肩すべきが如き

兒に衣食を與へ、教育を授け、彼等が結婚年齡に達するを待ちて、信者中より適當なる配偶者を求め宣教師自ら媒介の勞を取る。尙若し新夫婦が貧困に苦しむ場合には彼等の爲に進んで衣食の道を講ず。今日まで教養せる孤兒院の數も亦尠なからず。馬廠子に於ける天主堂孤兒院のみにても其出身者は既に三百名に達すといふ。現に四十餘名を收容す。されば彼等の宣教師を敬ふこと親の如く一身一家の私事より、日常諸般の行動に至るまで、凡て教父の指揮を仰ぎ、命唯之從ふの狀態なり。

六、教徒の殖民事業　天主教の各教會は敷地として、從來は一教會に就き十町步內外の土地を所有し之を農場或は植樹用地に充て、其收入を以て教會の經費の一部に充つると共に、又一方孤兒院出身者に小作せしめて、彼等生計の資となし來りしが、年々孤兒院出身者の增加につれて、漸く土地狹隘を感ずるに至り、遂に廣大なる地積の拂下げを受け、之を教徒の殖民地に充つるに至れり。

七、殖民地の場所と其創設　現在の殖民地は今より數年前巴林王が拂下を行ひし時、獲得せしものにして、林西の西方十五支里の大營子と、北方百五十支里の「ホプト」の二箇所にあり。共に興安嶺高原中の小平野に位し、植物質壤土にして一般に土地肥沃なり。小麥の栽培に適す。此等農場の面積は大營子「ホプト」各々二百頃あり。合計我が二千四百町步に當る。天主教農場に收容せる農民は、天主教徒中の貧困者就中孤兒院出身者其大部分を占む。教會は此等の農家に對し、其家族の多少によりて一戶につき一頃乃至二頃(六町乃至十二町步)の土地を貸與し、尙移住の當初、家屋及必要な

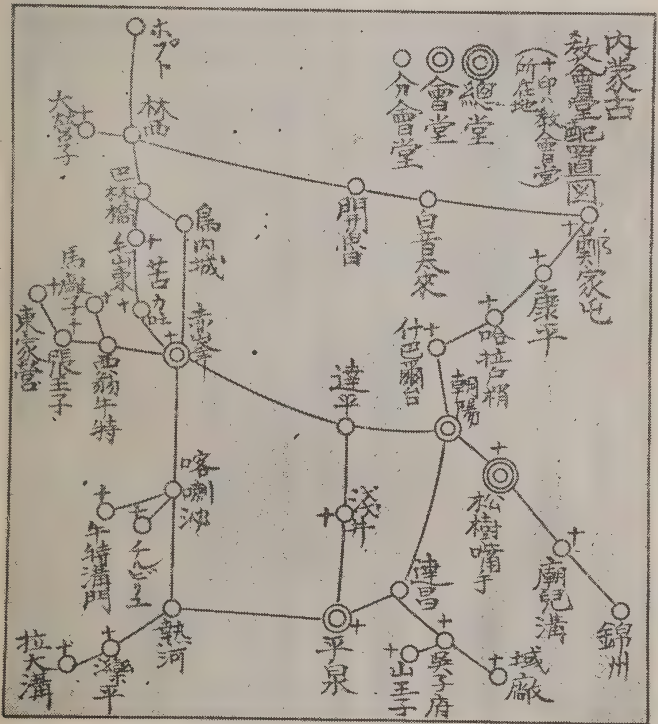
會堂を附屬せしむ。而して此等の分會堂には、各々二三名の外人宣敎師と、凡そ同數の中國人宣敎師あり。現在內蒙古に於ける敎會堂の數二十二、外人宣敎師四十三名(皆白耳義人)、信徒總數四萬人に及ぶと云ふ。

三、附帶事業 敎會堂は、布敎の目的を達せんが爲に種々の附帶事業を經營す。是れ大に吾人の注目に値する所なり。其氣象觀測の如き、動植物研究の如き、或は地理・人情風俗の調査の如き學術的研究の外、更に最も組織的に大規模に行はるゝ事業として、玆に學校、孤兒院及殖民事業を擧げざるべからず。

四、學校の經營 その經營せる學校に、初等小學校・高等小學校・神學校の三種あり。初等小學校は各分會堂の經營に屬し、高等小學校は朝陽・平泉・赤峯の三箇所に設けられ、神學校は總堂所在地たる松樹嘴子に設けらる。而して初等小學校の秀才は高等小學校に入り、高等小學校の秀才は更に進んで神學校に收容せらる。學校の生徒は主として信者の子弟なるも然らざるものゝ子弟も亦收容せり。元來蒙古の如き邊僻の地に於ては、中國政府の敎育施設甚だ不備なるが爲めに農民の子弟は多く敎會堂の學校に通學しつゝあり。

五、孤兒院の經營 は敎會の事業として最も特色あるものゝ一にして凡て學校に併置す。而して此處には全く男兒を收容せずして女兒のみを收容しつゝあるは特に注意すべき點なり。敎會は此等の孤

しめたるに、爾來信徒も大に增加し新進の宣敎師も亦相踵いで來り、遂に今日の盛況を見るに至れり。現に赤峯の西方二百支里、馬廠子にある古色蒼然たる天主堂は、昔「ファテルロック」の建設したるものにして、同氏の墳墓亦其傍に在り、旅人をして轉々當年の辛酸を回想せしむと云ふ。



二、布敎狀況　蒙古人の喇嘛敎に對する信仰は堅固にして到底他敎の侵入を許さず。天主敎は專ら熱河蒙古を中心として中國人間に布敎せらるゝのみ。天主敎敎會は、內蒙古を朝陽區・平泉區・赤峯區の三敎會區に大別し、其本山とも稱すべき總堂は、朝陽の東方なる松樹嘴子にあり。各區の本部には會堂を配し、其下に七乃至八箇所の分

熊岳城	基督教初等小學校	熊岳城基督教新教會	大正三年九月	中國人女教師 一	小學	二二	修業年限四箇年の女學校一年二元の月謝を徴す
營口	基督教中學校	營口基督教新教會	大正三年一月	英人 一 中國人 二	高等小學及中學	四〇	
營口	天主堂附屬學校	營口天主教會	二十年前	佛人尼 三	小學	五〇	生徒には凡て孤女兒全部寄宿舍に收容す
吉林	育才中學校	英國人	大正二年	英人 一 中國人 二	中學	一六	
吉林	青年會附屬學校	吉林基督教青年會	大正二年			一七	夜學校にして主として英語を教ゆ
吉林	天主教會附屬小學校	吉林天主教會	二十數年前	男教師 四 女教師 三	小學	男子 八〇 女子 三〇	
吉林	天主教會附屬中學校	吉林天主教會		凡て佛國人		一八	牧師養成を目的とす

内蒙古に於ける施設 については、未だ世人の注意を喚起せずと雖　その施設の基礎鞏固にして永久的なる、教會は殆んど一王國たるの觀あり、左に農學士駒井德三氏の踏査報告により其一斑を記さんとす。

一、布教の沿革　蒙古に始めて天主教の布教せられたるは今を去る約七百年の昔西曆十三世紀の末、元の世祖の終期に於て、宣教師「モンテ、コルビノー」が羅馬法王「ニコラス」四世の命を承け印度方面より陸路中國を經て蒙古に來り布教に著手したるに始まる。是れ又恐らくは中國に於ける布教の濫觴ならん。其後、元の衰亡と共に布教も亦衰微したりしが、一八四四年淸の道光二十四年、即ち今より七十餘年前、羅馬法王は再び蒙古に「アベックハック」と稱する宣教師を派遣し、布教に努め

溪湖	天主教公立小學校	佛國宣教師	大正二年十月一日	中國人	一	小學	五	
	天主教公立女學校	同上	同上	中國人	一	小學	五	
蛤蟆塘	民立學校	丁抹人	明治四十五年二月	丁人・中國人	一・一	中學	二九	全部寄宿、果樹園を有す
安東	丁抹國病院所設小學校	丁抹國新教會	二年前	丁人・中國人	一・二	小學	男生 三九 女生 一四	月謝 男 一箇月 三角 女 二角
遼陽	文德中學	遼陽基督教新教會	明治三十九年一月	英人・中國人	二・七	小學	八〇	大部分寄宿す、文會書院に連絡す
	文育學堂	遼陽基督教新教會	明治四十二年一月	英人・中國人	一・二	小學	三〇	文德中學の豫備校
	才育女學校	遼陽基督教新教會	明治三十九年一月	英人・中國人	二・三	高等女學	一〇〇	生徒は過半寄宿舍に在り
	崇正學堂	遼陽天主教會	大正三年一月	中國人	二	小學	一二	全部寄宿、學費凡て支給せらる
	育嬰堂	遼陽天主教會	三十五年前	佛人・中國人	三・三	小學	一五〇	凡て孤女兒
	傳教所	遼陽天主教會	十二年前	中國人	三			聖書の講義を目的とす六箇月卒業
海城	天主教會附屬學校	海城天主教會	二十年前	中國婦人	三	小學	三〇	修業年限五箇年の女學校無月謝、無食費
	三育學堂	英國婦人	二十三年前	英人	一	高等小學	男生 一五 女生 一五	修業年限二箇年、凡て寄宿、寄宿費は月五元、月謝五元
大石橋	天主教會附屬學校	大石橋天主教會	明治三十九年	中國人	二	小學	男生 三〇 女生 六	凡て寄宿、且凡て信者
	新教會附屬學校	英國宣教師	大正四年三月	中國人	三	小學	三〇	凡て女學生
蓋平	基督教學校	蓋平基督教新教會	大正元年	中國人	一	小學	男生 三〇 女生 一七	寄宿舍あり、月謝一箇年五元

地名	學校名	所有者又は經營者	創立年月	教員數	教育程度	生徒數	備考
奉天	奉天醫科大學校	スコットランド合同自由教會	明治四十五年二月	英人二 中國人一〇	專門醫學	八〇	奉天醫院と併設す、生徒を全部寄宿舍に收容す
	重明女學院	英國人	十五年前	英婦人一 中國人三	特殊	三五	全部寄宿
	基督教女子師範學校	スコットランド合同自由教會	明治四十五年十月	英婦人一 中國人三	女子師範	四〇	全部寄宿
	文會書院	同上	十三年前	英人五 中國人四	高等專門	六七	全部寄宿・豫科・本科とに分ち本科に法・理・醫・工の四部あり
	神道學校	同上	數年前	英人二 中國人一		三一	牧師養成を目的とす、全部寄宿、學費一切支給せらる
	拉丁館	天主教會	十五年前	佛人一 中國人二		四〇	牧師養成を目的とす、全部寄宿、學費一切支給せらる
	天主會堂附屬女學校	同上		佛國婦人二 中國婦人二	小學	二〇	寄宿舍あり、初等・高等に分つ、學費生徒の自辨
長春	英華女學堂	愛蘭長老教會	大正元年七月	英婦人三 中國人四	小學及師範	初等小學五 高等小學一六 師範一三	寄宿舍あり殆んど全部收容、月謝一年十元、舍費四十元
	博文學堂	基督教青年會	大正三年二月	英人一 中國人一	同	四七	生徒は凡て寄宿に收容す
	天主堂設立學校	長春天主教會	明治四十五年春	佛人一 中國人一	小學	四六	男女兩部あり、寄宿舍あり
開原	文源學校	聖公教會	明治三十四年四月	英人三 中國人三	小學部 中學部 高等女學部	小學生三〇 中學生一五 女學生六〇	小學卒業者は中學に入る中學は奉天文會書院と連絡す、寄宿舍あり
鐵嶺	文航學校	英國宣教師	大正二年七月	英人一 中國人一	中學	四〇	寄宿舍あり、無月謝
	育英學校	英國宣教師	大正二年七月	英人一 中國人一	高等女學校	三〇	無月謝
本	德育學堂	英國宣教師	二十六年前	中國人一	小學	三三	
	德育女學堂	同上	同上	中國人二	小學	三三	

院及看護婦講習所等に寄附すること少なからず。之がため米國醫師の中國に來る者益々增加し、彼等は先づ北京に於て中國語を學習し、然る後各地に赴任すと云ふ。又該財團は中國の學生を米國に留學せしめ醫學を修めしめつゝあり。

新聞雜誌の發行　新聞、雜誌は文化宣傳の要具なり。中國に於ける外人經營の新聞が、如何に自國の對中國政策上中國人心を支配しつゝありや、如何に我邦がために筆禍を蒙りつゝあるやは、今玆に贅言するを俟たず。左に中國に於ける外字新聞を一覽すべし。

中國に於ける外字新聞一覽表　（第一七七頁參照）

第六　滿蒙に於ける外人の中國人啓發運動

本附錄第二五頁に揭げたる省別クリスト敎新敎分布比較表に據るときは、滿洲は中國全土中第四位を占む。然れども之を實際に徵するに、其分布はしかく顯著ならず。蓋し右の分布比較統計には、哈爾賓附近に於て、露國人の爲めに露國の經營せる敎會學校等を一括したるによるなるべし。左に滿洲に於ける外人施設の學校を表示すべし。

南滿洲に於ける外人經營の諸學校　（大正四年五月調查）

生に關する事項を調査し報告せしむるが爲に、一委員會が組織せられ、中國醫術調査委員會と命名せられたり。該委員は、間もなく任命せられて徧く中國各地を實査し、一の視察報告書を提出したり。同年、該財團は此報告書に基き、中國に於て醫療事業を實施すべき旨を公表したり。かくて、中國に於ける本事業を指導管理する爲に、本部に中國醫務局が設けられ、市俄古大學總長「ハーリー・プラット・ジャドソン」氏、紐育州敎育部長「フレデリック・ゲーツ」氏等その役員に擧げらる。中國には、一九一五年八月北京に其支部を置き「グリーン」博士之れが長たり。

一九一五年、本部より「グトリック」、「ウェルシュ」、「フレクスナー」の三博士中國に來遊し、中國各地に於て詳細に醫術界の事情を調査し歸國したるが、其結果先づ北京に模範的醫科大學を設立することゝし、從來英米所屬の敎會の協同經營に係る協和醫學校(Union Medical College)を二十萬弗を以て購入し、之を擴張せんが爲に、城内王井府大街に廣大なる土地を買收し、千萬弗を投じて校舍病院を建築し、工成つて一九二一年本月十五日その落成式を擧ぐべく、ロ氏の第二子遙に米國より渡來し財團を代表して其式に列したりと云ふ。

該財團は又山東濟南府の齊魯大學に建設費として十萬元、五年間の經常費として二十萬元を寄附し、又上海「ハーヴアード」醫學校を買收し、上海赤十字病院と併合して經營することゝし、湖南「エール」大學には、一九一五年以降五箇年間毎年三萬二千四百元を補助するに決せり。其他各敎會所屬病

言す。同協會は本部を上海に置き、各省首府に支部を設く。

醫療救濟事業　中國に於ける基督教の開祖利瑪竇が、澳門より深く中國内地に入り、北京に達することを得たるは、全く彼れが施せる醫術の賜に由る。爾來教會は布教の爲めに醫術を利用することを怠らず。

新教教會經營の醫療事業統計表（一九一七年未調　中國教會年報）

種別	管所	患者又は生徒
病院	三二〇	一一九、〇九七
施療所	三一八	一、四四〇、四六一
醫學校	二一	四五二
看護婦學校	六五	七一五
其他の慈善施設	六七	一、八〇一

中國に於ける外人經營の醫療事業として、特筆せざるべからざるは、彼のロックフェラー財團の事業なり。該財團は一九一三年五月、紐育州法に依り組織せられ、本部は紐育市に在り。其目的は「一定の基金を管理し、その利子又は元金の一部を以て、全世界人類の安寧福祉を増進せんとするにあり」ロ氏は之が爲めに一億弗を提供せり。一九一四年一月、中國に於ける醫學教育、病院の設立及公衆衞

教青年會の設立を見るに至れるなり。

されば其の創設より僅かに二十餘年に過ぎずと雖と、能く中國の要求に投じ、其發展の迅速なる、其社會的勢力を有すること、他の基督教會の數百年間の事業に匹敵するの觀あり。各地青年會の事業の內容は、我國に散在する同青年會館の施設を以て略其一斑を推することを得べし。即ち其事業の主なるものは講演・體育・遊戲・圖書閲覽等にして、會員には食堂・玉突・屋內運動場・圖書館・新聞縱覽室其他の娛樂機關を具へて、以て自然に中國人を招徠す。故に本會は頗る一般官民より歡迎せられ、嘗て吉林に於て本會講演の開かれたる時の如きは、知事自ら其司會者となり、高級官吏數多傍聽し、講演終れる後、會衆相謀り、此事業を省內凡ての大都市に普及せんことを決議したりと云ふ。

更に社會教育施設上注意すべきは少年義勇團協會事業なり。一九一三年の春、上海「パブリック・スクール」の校長「ケンプ」氏は中國義勇團を組織する目的を以て同好の士を糾合し、先づ之れを學校の生徒に試みたるに、此主唱は大いに中國上下の輿論を喚起し、遂に一九一五年五月、上海に於て開かれたる極東「オリンピック」競技會を機とし、之が委員會を開き、其決議に依り同年十月中國少年義勇團協會の成立を見るに至れり。其目的は、中國少年に軍事的訓練を施すにあらずして、全く教育的見地より體育・智育・德育の涵養を主旨とす。特に服從・自信の精神を養ひ、觀察を正確にし、愛國・同情の如き國家的世界的精神を喚起し、又諸種の實用的技能を體得せしめんとするに在りと宣

右の外敎會の設立せる大學に、湖南エール大學及厦門同文書院あり。湖南エール大學は、米國エール大學の分校にして、厦門同文書院は同地米國有志の設立に係り、米國總領事督辦となり、稅關長幇辦となり中國一流の紳商九名及米國人之が董事たり。中學及商業科を設け生徒三百餘名ありと云ふ。

敎育團體　基督敎會に於ては、各派自ら敎育事業を經營する外、各國敎會合同して學校、病院を經營し且つ各自の敎育事業の連絡統一を圖らんが爲め敎育團體を組織す。

中國敎育協會（The Educational Association of China. 上海）上海聖約翰大學總長之之が會長たり。會員は殆ど中國各省の外人及中國人の敎員を網羅す。本協會より學校敎科書及年四回「敎育評論」を發行す。この協會の支部として、東中國敎育協會（上海）・西中國基督敎敎育組合（四川省成都）・中部中國基督敎敎育組合（湖北省武昌）・陝西敎育協會・福建敎育協會・湖南敎育協會・江蘇敎育協會・廣東敎育協會・山東河南基督敎敎育會等あり。

社會敎育　社會敎育施設として、圖書館又は博物館は皆學校又は病院の附屬として經營せらる。湖北省武昌の文華大學公開圖書館・及山東省濟南府齊魯大學廣智院は其尤たるものなり。

玆に社會敎育上、將た一般に對中國文化施設上最も有力なる米國基督敎青年會の事業に注意するを要す。前にも述べたるが如く、中國中流以上の者は基督敎に接近するを潔しとせざるの風あるに因り、上層者の間に布敎するの第一歩として、先づ兎に角彼等を引付くるの必要を感じ、かくて此基督

科工科及醫科を置く。
米國の中國文化政策の根據は北京の淸華學校に在り。此學校は北淸事變賠償金の未償還額全部（一〇、七八五、二八六弗）の提供によりて設立せられたるものなり。當校は名義は中國外交部の直轄なれども、その實權は米國政府の掌握する所なり。米國は中國政府に右資金を提供する代償として、之を他の國費に流用することを許さず、悉く米國に留學する學生の費用に充當せしめんことを求め、中國政府は此要求を容れ、毎年百名の留學生を米國に派遣すると同時に、之が豫備學校として當校を創設し、其資金は全部米國官憲の監督を受く。かくて留學生は一九〇九年一回の派遣を見るに至り、當校は一九一一年五月開校の運となれり。
淸華學校と名付けたるは、當校はもと淸華宮とて、道光帝第五王子瑞親王の邸宅たりし處に設けられたるに因る。北京西直門外約四哩萬壽山に至る途上にあり。敷地十萬坪、苑內山水の配置幽雅にして稀に見る理想的の學苑なり。學科は中等、高等の兩部に分つ。中等科は中學程度、高等科は大學の豫備門なり。高等科には中等科の卒業者又は各省より省長の推選したる者を收容す。高等科卒業者は全部米本國に送くらる。此外中國全國より弘く試驗により男女若干名の留學生を募集し、直に米本國に派遣しつゝあり。敎員總數五十三名、內十三名は米國人なり。他の中國人敎員は殆んど米國敎會の設立に係る上海聖約翰大學其他の出身なり。

基督教會經營の學校は、未だ中流以上の中國人を滿足せしむる能はざるものあり。蓋し中國人の多くは基督教を以て邪教となし、貧民に非ざれば之を信ずるもの少なければなり。而して前にも縷々述べたる如く、列國の望む所は自國政策の遂行上自國を援助する有力なる人材に在り。是に於て、列國の設立する學校は漸次高等の程度に向へり。而も宗教的臭味を脱せんが爲め、列國は巧みに中國と共同經營の形式を取るに至れり。

最初、茲に著眼したるは獨逸なり。彼の青島特別高等學堂は即ち是れなり。次は英國の香港大學なり。當大學は、一九〇七年一商賈「エッチ・エヌ・モデー」氏の提唱に其萠芽を發し、遂に準備委員會の設立を見るに至れり。次で「バターフィールド・エンド・スワイヤー」商會は四十萬圓の寄附を申込み香港、廣東等の中國側よりも意外の寄附あり、寄附金募集は豫想外の成功を告げ、英本國に於ても中國協會の盛なる應援ありし爲、政府は敷地を與へて此計畫に多大の同情を表せり。中國側に於ては時の兩廣總督張人駿が熱心なる贊成者の一人として公文書を發して寄附を慫慂し、中國政府も亦寄附金を出し、中國委員の奔走により香港・廣東・厦門・西貢・牛莊・阜南・濠洲等に在住する中國人の之に加入するもの尠なからず。かくの如くして一九〇九年の終には寄附金の總額、實に百二十七萬弗に達し、前記「モデー」氏請負の下に一九一〇年盛なる上棟式を擧行し、同年六月「サー・チャールス・エリオット」氏は香港大學總長に任命せられ三名の教授と共に十月より授業を開始したり。文

中國省別基督教新教分布比較表

8. Statistics on which the Chart on Relative Christian (Protestant) Occupation of China by Provinces is based

	Population in Millions	Total number Missionaries	Chinise Pastors	Chinese Workers	Communicants	Elmentary Students	Secondary Students	Impatients
安徽 Anhwei.	17.3	145	30	400	3,835	3,435	185	2,374
浙江 Chekiang.	17.0	317	78	1,696	24,228	8,190	1.140	9'650
直隷 Chihli.	32.5	388	65	1,278	17,818	7,035	1,795	5,607
福建 Fukien.	13.1	403	170	3,077	29,917	24,429	2,734	19,859
河南 Honan.	25.6	320	14	724	8,074	3,703	319	5,772
湖南 Hunan.	23.6	327	9	837	6,978	5,058	545	4,782
湖北 Hupeeh.	24.9	352	41	1.018	10,309	6,575	968	7,469
甘肅 Kansu.	5.0	68	2	78	761	303	11	419
江西 Kiangsi.	14.5	209	28	544	4,785	3,068	306	555
江蘇 Kiangsuw.	17.0	752	88	1,646	14,113	9,025	4,224	12,389
廣西 Kangsi	6.5	59	5	164	3,568	435	95	784
廣東 Kwangtung	27.7	611	182	2,194	50,545	16,184	1,434	9,940
貴州 Kweichow.	11.3	39	—	107	6,330	825	27	—
山西 Shansi.	9.5	226	1	625	6,353	3'606	332	1,614
山東 Shantung.	29.6	453	64	2,002	32,129	14,241	2,493	4,242
陝西 Shensi.	8.8	117	3	334	3,825	1,388	284	462
四川 Szechwon.	66.1	496	18	1,206	8,947	18,006	612	6,072
雲南 Yunnan.	8.5	63	7	183	3,211	1,962	181	52
滿洲 Manchuria.	14.9	170	25	226	20,236	5,456	604	3,338

新教教會經營教育事業統計表（一九一七年末調 中國教會年報）

種別	學校數	生徒數	教員數
幼稚園	七五五	三、四九七	―
初等小學校	五、三三二	一三九、〇三六	六、六三四
高等小學校	五七四	二〇、九四三	一、八一〇
中學校	二二八	一三、〇四三	―
大學校	二九	一、七四五	―
師範學校及養成所	一三六	三、九〇五	―
神學校	四二	一、〇六〇	―
工業學校	三二	一、三七五	―
孤兒院	三八	一、一五八	―
教育に從事する外人職員	男 五八三	女 六八三	計 一、二六六
教育に從事する中國人職員	男 七、九五四	女 三、〇三九	計 一〇、九九三
教育に從事する非教徒	―	―	計 八五四

に關する消息は、統計報告の徵すべきもの少く、詳細には明かならざれども、中國全土に於て敎徒百八十萬を算すと稱せり。其最も勢力あるは「ラザリスト」及「ゼスエット」にして、之を始として、五萬以上の信徒を有する宗派十一に達す。而してその事業は概ね新敎に準ずるものゝ如きも、その活動大に之より劣り、寧ろ信仰に固著せるものゝ如し。

新敎の狀況に就ては、The China Mission Year Book あり、就て其詳細を究むることを得べし。

新敎敎會數	三、七六六
禮拜堂數	四、一二一
信徒	三一二、九七〇

學校敎育 學校敎育も亦基督敎會の經營に係るもの其大部を占む。蓋し其多くは淸末新學の勃興と共に世の要求に應じて顯はれたるものなり。

五、新聞及雜誌の發行

基督教の傳道　中國に於ける基督教の事實上の開祖たる「マテオ・リッチ」(利瑪竇・Mathеos Ricci 第十六世紀末)が、右手に十字架を捧げて説教に從事すると同時に、左手に珍奇なる方物書籍を提げ、以て當代士人の西洋科學に對する學究の願望をそゝれる以來、基督教の傳播と西洋文明の輸入とは密接離るべからざる關係を有す。左に一九一七年末に於ける統計に由り、中國信徒の數、及基督教會附帶事業たる教育、醫療及救濟事業の概況を窺はんとす。

マテオリッチ

基督教布教には、天主教と新教との間に儼然たる區別ありて其間何等の連絡あることなし。天主教

以上述ぶる所に依り、吾人は幾多の暗示を得たり。然れども獨逸の態度は餘りに侵略的、高壓的、自己本位的なり。而して吾人の所謂日中人共同生活に對する準備は何處までも相互的なり。兩者共通の利害により、互に自ら戒め他を導かんとするにあり。吾人が玆に、獨逸の對中國文化事業の計畫を提出したるは、獨逸の侵略的態度を學ばんとするの趣旨にはあらざるなり。

獨逸は著々前述の計畫に從つて進行せり。即ち先づ靑島に特別高等學堂を設け法制科・醫學科・工藝科及農林科を置き編輯局を附設したることは既に述べたり。又濟南府・天津・漢口等に於て獨華學堂を、上海には醫工科學堂を設け又中央協會を置き機關雜誌を發行せり。

三　外人の對中國文化施設概況

中國は文化事業に於ても列國の角逐場たり。吾人は玆に列國の中國に於ける文化施設の狀況を詳細に說明するの遑なし。左に統計に依り、其大勢を窺ふに止めんとす。

外人の對中國文化事業の種類概ね左の如し。

一、基督敎の傳道
二、學校敎育　附敎育團體
三、社會敎育
四、醫療及救濟事業

二、中國總輸出に對する獨逸の百分率
三、中國各省及開港場に於ける獨逸貿易の分布
四、英・米・日の對中國貿易の發達狀況、並に其各々の中國全貿易に對する百分率

(二) 獨逸貿易發達の可能程度

一、如何なる商業が最可能性を有するか
二、如何なる企業が成功すべきか、鐵道・材料・鑛山・染料・綿製品其他雜貨等

經費 本協會の施設事業に要する經費に付ては、各專門事項に關する研究委員を選定して豫算を審議せしめたるに、該委員の責任ある提案によれば、毎年所要經費左の如し。

費目	年額	用途
一、中央施設機關費	弗 二〇、〇〇〇	獨逸人監督、中國人役員、翻譯係、通信費、印刷、旅費、事務所費等
二、中國學生獨逸留學費	二五〇、〇〇〇	年々百名宛、高等工業又は大學に入學寄宿せしむる豫算
三、工業學校費	二〇〇、〇〇〇	廣東、長沙、成都、濟南へ各工業學校を建設し一校一箇年五萬弗の豫算
四、獨華中學校	一二〇、〇〇〇	上海、漢口、天津、北京、濟南、長沙、成都、廣東の八箇所に中學校を設立し各生徒百名宛收容し一校宛一萬五千弗とす
五、教會學校	四〇〇、〇〇〇	一校二十五名を收容するもの百校分設置、一省に十箇宛十省分とし一校に付一箇年四千弗宛とす
六、中國大學に對する獨逸教師	一〇〇、〇〇〇	中國高等學校に二十名の教師、内六名は北京に、十四名は地方大學に一名五千弗
七、中國新聞經營費	一五〇、〇〇〇	二萬五千部發行の一新聞一箇年分の經費
八、商品陳列館費	九〇、〇〇〇	上海、漢口、青島、天津、北京、濟南、廣東、長沙、成都の九箇所に設置し一箇所一箇年に一萬弗とす
合計	一、三三〇、〇〇〇	

五、漢堡に於ける東亞協會、其他同種の團體をして吾人の事業を援助せしむること

(二) 地方協會

各地方協會は獨立に經營し、且つ當該地方の情況に適應する如く措置するを要す。而も亦各地方協會は相互に援助することを忘るべからず。例へば自己の使用し終りたる材料、其他自己に不必要なる材料は他の協會に提供するが如し。此方法を以てすれば、同一の材料が反覆使用せらるゝが故に調査費を輕減するを得べし。左に特に注意すべき事項を揭く。

一、有力なる地方官吏、民間有力者、及商人間に勢力を扶殖すること
二、中國地方新聞を感化し、之を發達せしめ、特に獨逸工業及造船業の優秀なる能力につき宣傳せしむること
三、商品陳列館の開設
四、獨逸の圖書・諸器械・其他教授用具の播布を圖ること
五、獨逸語を解する凡ての中國人を誘導して講演會を開催し、活動寫眞、幻燈等を利用して獨逸の工業・商業・航空及工藝等に關する講演をなすこと
六、中國人との社交助長
七、獨逸人の使用する中國人に獨逸語の學習奬勵
八、獨逸人に中國語學習奬勵

貿易發展策　獨逸の對中國貿易發展策に關し、本協會は概ね左の事項を調査研究するものとす。

(一) 中國貿易

一、獨逸商業の發達狀況

每年若くは定期に報告書等を出版すること

イ、勢力扶殖事業の繼續は、從來の如く制限せられたる手段資力を以てしては到底不可能なるが故に、少くとも年々二百萬馬克の費用を之に充當せざるべからず。吾人獨逸人は眼前次の二箇の問題に逢著せり。即ち大資本を以て中國經營に當り、以て他の列國を凌駕するか、否らざれば中國商業に關して第一流の地位を放棄して、第二流の國家として英語の驅使に甘んぜざるべからざる是れなり

ロ、最も機敏なる手段を以て、必要の場合には外交的壓力を用ひて、獨逸語を中國中學校に採用せしめ、英語と同等の位置を得ることに努むること

ハ、獨逸語を、中國師範學校に於て必修科目たらしむること

ニ、中國大學の或分科に於ては、教授上絶對に獨逸語を使用せしむること

ホ、前掲第一中國に於て行ふべき事業の內、學校教育に關し取るべき手段の必要を了解せしむること

ヘ、中國高等學校に派遣すべき教師の人選に關しては、特に人格に重きを置き、永年中國に居住する意志を有し、自己の職業以外特に國家的觀念を以て活動し得る人材を選拔すること

二、獨逸本國の商工會社及大資產家をして中國に對して興味を起さしむること、之れが爲めには、新聞又は商業會議所其他之に準ずる諸團體の報告書等に依りて、中國は近き將來に於て大なる販路及原產地として頗る重大なる意義を有することを反覆宣傳すること

三、有力なる新聞をして常に其論說を以て、中國に於ける獨逸の任務を唱道せしむること

四、國會議員をして、吾人の努力に對し興味を有し援助を與へしむること

二、中國に於ける協會及其の他獨逸人の協同動作

三、獨逸勢力扶殖事業發展に關する事項及英米日等の對中國事業發展に關する事項の材料を、地方協會より中央協會に送らしめ且つ中央及地方協會の連絡に關する事項を週報として出版すること

四、親獨的傾向ある中國新聞を感化し、其社說に於て獨逸の事情及意圖を明かにし、必要の場合には、已に設置せる獨華中學校中に新聞記者養成科を設くること

五、學校教育に關し左の手段を取ること

イ、中國の中學及高等學校をして、獨逸語を必修科目として採用せしむること

ロ、前揭中國十省に百箇の教會學校を設くること

ハ、約百名の生徒を收容する大規模の獨華中學校を新に上海・漢口・天津・北京・長沙・廣東・成都に設立すること

ニ、獨華工業學校を、新に廣東・漢口・長沙・成都・天津・青島及濟南に設立すること

ホ、毎年約百名の中國學生を、三年の期間にて獨逸に留學せしむること
教會學校及中學校より、時々優秀なる生徒を選拔し、工業學校若は醫學校に入學せしめ、其内優秀なる者を更に獨逸に留學せしむること

ヘ、約二十名の獨逸人教師を中國高等學校に就職せしむること

ト、獨逸は、學校の數に於ては他國民と比肩するを得ざるを以て、其教育方法に由り他に打勝つの覺悟を有せざるべからず

第二 獨逸本國に於て行ふべき事業

一、獨逸政府當局をして、左の諸要求の焦眉の急なることを了解せしめんが爲め、先づ第一著手として詳細なる記錄を作る外、

ればなり。而して其活動範圍は、中國全省に亙らず、先づ經濟上密接の關係を有する左の十省に制限するを可なりとせん。

一、直隷省　天津、北京の大都市を有し而も政治の中心
二、山東省　青島を根據として北中國進入の門戸
三、山西省　銀行家有望の地且つ無煙炭の寶庫
四、河南省　豐富なる輸出原産地
五、湖南省　金屬及石炭の寶庫
六、湖北省　漢口を有し九省の中心地
七、四川省　最も富裕にして物資多き地
八、江蘇省　上海あり
九、江西省　中部中國知識階級及大商人の居所
十、廣東省　廣東あり

事業計畫　本協會は之を中央協會と地方協會とに分つ。其各々擔當すべき事業左の如し。

（一）中央協會

第一　中國に於て行ふべき事業

一、同種の目的を有する在中國獨逸協會に連絡を保ち此種協會の設立氣運の促進を圖ること。

事と資本とをして、適當なる時機に於て有爲の位置に在らしめざるべからず。獨逸は約十五年前中國全國の鐵道敷設を一手に引受くべき機會を握りながら、可惜之を逸せしが如き失敗を再演すべからず。若し中國を以て獨逸の市場となすことを得んか、將來獨逸の工事が、其人口の速かなる增加に伴ひ、原料の大輸入を必要とする場合に於て四億の人民吾人の利用に對し絕好の機會を提供するものに非ずして何ぞや。此大問題を解決せんが爲めには、苟も國家的觀念を有する獨逸人たる以上、之に對する共同動作は絕對的必要條件なり。

特に獨逸商人は、從來に比し一層の奮勵努力を以て本問題の遂行に極力盡瘁せざるべからず。他國人の遂行し得べき事業、焉ぞ吾人獨逸人に不可能なるの理あらんや。是を以て、吾々獨逸人組合は固く團結し、教會及獨逸文明の先驅たらざるべからず。而して地方各地に散在する獨逸人は、各々中央の機關と連結して、作業上の援助を圖らざるべからず。個人の獨立的行動は本事業に於ては許されざる處なり。官邊の相提携して努力すべきは論を俟たず。本事業を遂行するには、國家の有力なる當局者と施設を促進すると共に、又各種の方面に於て官邊の援助を仰がざるべからず。我協會は此主旨を獨逸本國に於て認識せられんが爲め、其手段を施すに當りては、各官衙の方針の範圍に於て適當の措置を取るを要す。

協會が事業を行ふに當りては、最も必要なりと認められたる問題に關するものに限り、夫れ以外のものは絕對に制止せざるべからず。是れ本協會の事業多岐に分れて、遂に其統一を缺かんことを惧る

獨逸勢力を伸張せんとするものにして、其方法として協會を組織し之を中央の本部と地方の支部とに分ち、(前者は上海に後者は各樞要都市に置く)又中國に於ける事務と、獨逸に於ける事務とに區別して、左記項目に從ひ其內容を詳細に列擧したり。

一、方　針
二、事業計畫
(一)中央協會
(二)地方協會
三、貿易發展策
四、經　費

方針　獨逸國の對中國經濟方針は、獨逸工業のため中國市場を大規模に獲得するに在り。而して吾人は英・米・日人が今日既に獲得せる地位に追及し、且つ之を凌駕せざるべからず。此目的を達成せんが爲め、獨逸語・獨逸文明及獨逸勢力を、中國人の知識階級並に商業階級の間に扶殖することに努力せざるべからず。而して是等中國の有識者をして優秀なる獨逸の文明を知らしむる樣、絕えず親密に吾人に接近せしめざるべからず。特に顧慮すべきは中國は今や新しき發達の初期に在るを忘れざることなり。早晩中國大陸は大なる鐵道網に依りて新販路を開拓せられんとす。此時に當り、獨逸の工

文化事業が國家的政策を包藏すること、必ずしも非難すべきにあらざること是れなり。或は言はん。自國政策の手段として、他國に對し文化事業を利用すること、國際的良心に恥づる所なきかと。然れども、世界的交通の頻繁なる今日に於ては、各國相互の理解は今や必要缺くべからざるに至れり。他より來つて我が文化を理解するを俟たず。進んで我れより他に向つて自國文化の宣傳を行ふ。是れ自國當然の權利なり。此權利たるや、國の文化の程度に由つて差別を附すべきにあらず又優等人種のみの特權にもあらず、世界各國凡て平等の地位に立ち、自他相互の理解を希望し、國交の增進を圖らんが爲めに行ふべき當然の權利なり。既に之れ權利なり。從つて他國の文化宣傳を受くべき義務も亦之に由て生ず。乃ち、國際文化事業は今や國際上の通義となれりと謂ふべし。

然るに、吾人は往々にして中國人啓發運動に對し反對を唱ふるの士あるを遺憾とす。然れどもその反對意見の內容を茲に管々しく開陳する必要もあらじ。吾人は進んで左に獨逸の對中國文化事業の計畫を提出し以て吾人の日中人共同生活に對する準備の參考に資せんとす。

二　獨逸の對支文化事業計畫

一九一五年日本が青島を陷れたる際、膠州灣獨逸政廳より押收したる祕密書類の中に、一九一二年十月、上海獨逸協會が、中國に於ける獨逸勢力發展計畫を記したるものを發見したり。その概要を述ぶれば、先づ上海在留の獨逸人を中心とし、在中國獨逸官民協力團結して本國の官民と連絡し、以て

農商部	四八人	交通部	四六人
大理院	四〇	陸軍部	三四
森林局	三二	教育部	二八

此等の留學出身者は日本に留學したる者を除けば、他は皆中國內地に於ける外人經營の學校卒業者にあらざるはなし。中國に於ける外人經營の大學として最も古き歷史を有する上海聖約翰大學の、一九一四年までの卒業者一五六名中外國に留學したる者實にその四分の一を占む。

以上、列國對中國文化政策として、四箇條を提出したり。然れども、洽ねく人の行爲を支配する文化啓發の效果が、唯以上の四五箇條に限らざるは言を俟たず。げに、列國は文化政策を以て政治外交經濟財政等あらゆる對中國政策の根本方策となす。

由是觀之、歐米列國の對中國文化事業は、其期待する所は、文化事業の直接の效果よりは、寧ろ之れより生ずる間接の國家的效果に存するが如し。然れども、吾人の提唱する日中人共同生活に對する準備としての中國人啓發運動は、その期待する所はその直接の效果にあり。換言すれば、吾人の要求は日中人の共同生活の爲めに直接の必要に出づ、間接の效果の如きはその必要條件にあらず、吾人の期待は直接の必要に存す。

一、**對外文化事業は今や國際間の通義**　玆に一言を費さざるべからざるものあり。何ぞや。曰く、國際

自國政策遂行の援助者養成　米國式教育を受けたる者必ずしも皆親米者なりとは謂ふべからず。日本に留學したる者の中排日者たるものも亦尠なからず。然れども、大體に於て親米、親日の傾向あるは爭ふべからず。外國の教育を受けたる者の價値は、其國の文明其國の勢力を背景とす。且つ教育を施したる國も亦之が爲に後援を怠らず。かくして自づから親米、親日、親英の色彩明瞭となり濃厚となり、遂に徒黨を生ず。現今中國政界の主要なる地位に在る者の大多數は外國留學出身なり。其中日本留學出身者は相倚りて一團を成し、歐米留學出身者は留學國別を論ぜず、協力して他の一團を成す。而して兩々相對峙し、政權を爭ふこと政黨に異らず。一九一七年北京の一外字新聞の報ずる所に從ひ、當時北京に在留せる外國留學出身者の留學國別を擧ぐれば左の如し。

日本	五二二人	白耳義	三八人
米國	一五四	墺國	九
英國	九九	露國	七
佛國	五二	西班牙	一
獨逸	四七	土耳古	一
計	九二〇		

此等の内、八百六人は政客とも稱すべき者なり。尚その就職者を政府各部に分類すれば左の如し。

し、以て中國農業の改良を扶助せんとするに在りと。

るものなり。本校に於て農林科を設置したる趣旨は獨逸の優越なる農業上の新知識を與へ、農政及農事試驗場に關與する者を養成

自國人の使用人養成　中國に於ける外人經營の銀行には中國人の買辦(Comprador)を見ざるなし。此買辦は現金の出納を掌り、貨幣及手形の良否を鑑定し、市況を視察し、取引先の信用を調査し、且つ中國銀行及商人に對して貸出の許否及利子の高低を定むる等一にその意向によつて決す。故に買辦は外國銀行に於ては頗る重要なる地位を占め、その人物手腕の如何は直に營業の盛衰に關す。蓋し中國に於ける貨幣手形の鑑定、信用の調査は外人に取りては頗る難事に屬し、買辦は必要缺くべからざるものあればなり。

此くの如きは獨り銀行のみに限らず、外人が中國に於て商業に從事し、或はその他何れの方面に活動するに論なく、必ず自己の補助者たる中國人を要す。中國人は中國に關し、數十年否數百年來自然と闘つて獲得したる傳來の經驗を有す。外人はこの貴重なる經驗を利用するに非ざれば、到底中國に於て成功を收むること能はざるなり。

此等の中國人は、第一自國語を解するものなるべからす。又身元確實ならざるべからず。且つ自國の事情に通じ、自國的生活に慣れたる者なるを要す。かゝる素養を有する中國人は、自國が特に設立したる學校を措て他に求むべからざるは多言を要せざる所なり。

置し、英國の香港大學には工科及醫科を設けたり。

列國の商工業家も亦中國人に自由式工業敎育を施すことの有利なるを了解せり。前に掲げたる「ドクトル・ザルトマン」氏は、獨逸の商工業家に向ひ、「英米商工業家の如く中國人敎育に對して資金を投じ、以て自己の利益を保護すべき」を警告し、「此投資は廣告料と見做すべきものなり」と喝破せり。又香港大學設立に際し、某米國商人は一手にて一切の機械を寄附せんことを申出で、利益の横取を企てたれども、英人之を許さず、競ふて各種の設備を寄附し、又太古洋行は三十萬弗、太古製糖會社は五萬弗、太古洋汽船會社も五萬弗の寄附をなしたりといふ。

產業の開發　青島が獨逸の領有に屬したりし當時、その青島特別高等學堂農林科の編纂に係る農學報に於て、農林科設立の趣旨を述べて曰く

「中國の對外貿易は逆境に陷り、年々七千餘萬圓の輸入超過を來たし、中國の正貨は日々外國に流出して已まず。此狀態を持續すれば中國は遂に財政破綻の厄を免れず。此逆境より脫せんには、輸入を減少するか、輸出を增加するか二途その一に出でざるべからざるも、輸入品の主なるものは工業上缺ぐべからざる機械類にして、中國現今の狀態を以てしては遽にその輸入を防止すること能はざるが故に、勢ひ輸出を增加する方法を取らざるべからず。輸出を增加するには、實業を振興して輸出品の主なる綿絲・茶・麥稈眞田・獸皮等の產額を增加せんことを圖らざるべからず。而して實業を振興せんには、外資を利用し、外國の智力を藉りて之れが經營設備をなすべく、又地方農業を改良し農民を富ましめて、その購買力を昂め、製作品の消費場を開拓するにあり。農業を改良する方法には種々あれども、交通機關の發達を圖り農政機關を整理し、農業組合を興し、農事試驗場を設くること最も緊要な

ども將來中國國運の進歩と共に必ず興起すべき鐵道、鑛山・製鐵・造船・造幣其他諸種の機械工業の經營者及技師が、或一國の工業上の知識技能を有するがため、所要の機械或は材料を其國より需むる場合に想到せば、貿易額は莫大なるべきこと推量するに難からず。茲に吾人の注意を要することは、英・米・獨の諸工業は各々其特色を有し其製作せる機械にも亦一定の典型ありて、假令それに關する原理を了解し、それを運用する技術を具ふと雖、直ちに以て他國の機械に應用すること能はざること是なり。例へば英獨の如きは根本に於て、尺度を異にし其差異は延いてあらゆる機械に影響し、機械の主要部分たる螺旋歯車の如き樣式にも變化を來たし、又は機械の原理は同一なるも其補助機に於て大差あるもの尠なからざるが如し。

然らば則ち、今に於て中國人に向ひ自國式工業に關する獨特の知識技能を授け、以て自國式工業の典型に鑄込まれたる經營者及技師を養成することは、即ち將來中國に於ける各種工業界を占領する準備にして、假りに數年の時日を費し數百人を養成する勞を取れる結果として、僅かに唯一箇處の工業會社の經營者を出し、其會社所要の材料或は機械を自國より供給し得たりとするも、それに由て利する所は其數年間に費したる勞費を償ふて餘りありと謂ふべし。

上述の如き理由により、列國政府は主に力を工業敎育に注ぎつゝあり。獨逸は靑島特別高等學堂に工藝科を設け、機械工業科・採鑛冶金科・電氣工業料の三分科を置き、上海の同濟醫學堂に工科を併

の市場として有望なるべきかは之を逆睹するに難からず。

外國殊に英米國は、此の如く有望なる市場を開拓すべき準備を怠らず。而してその方法に於ては實に驚嘆に値すべきものあり。炯眼なる石油王「ロックフェラー」氏は曰く「中國に於て石油の需要を增進せしめんとするには、數千のランプを極めて安價に賣るか或は無償にて配與せざるべからず」と。米國政府も亦この原則を踏襲し、一九〇〇年の暴動に依る中國の賠償金を還附して、毎年末百名の中國學生を米國大學に派遣せしむることを約し、又米人は米國の特質風尙を中國に移殖せんとし、一大資本を投じて米國趣味を帶びたる學校を中國に設置せり。是れ米人は米國の特質、風習を傳播する裡面に、米國物品の輸入增加を洞察したればなり。實に市場の準備に對しては、自國に關する知識を授け、自國の風習趣味を播布し、殊に自國の言語を注入する程、根本的にして有效なる方法はあらざるなり。蓋し中國人は文明及風尙の模範とすべきものを認めたる國より、物品を需むる傾向を有し而してその言語を理解し得る國より先づ購入をなすべければなり。自國の言語、風習及文明を外國に傳ふる最良の方法は學校なり。然れども外國に於ける學校に對し、自國の勢力を及ぼし得る國は甚だ稀なるも、中國に於ては之れと異り、現在の如く財政の窮迫せる時に當り、又教育に關する經驗の缺乏せる時に當り、學校の增加及改善に關する各國の援助は、中國政府の歡迎する所なり。

更に同氏は、前述の論文中教育の效果に對する證左を掲げて曰く

獨逸語の知識を有し、獨逸の影響を受けたる津浦鐵道の前社長は、同鐵道材料を獨逸に向つて數百萬圓の注文を發せんとしたりしが、其後任者は、英米の教育を受けたる者にして英米心醉家なりしかば就任するや直に前任者の獨逸に注文せんとしたる計畫を破棄して之を許さゞりき。而も其注文品に關する獨逸の見積は最安價なりしなり。

斯くの如く、一個人の向背が忽ち數百萬圓の貿易に影響したるが如きは其事例甚だ多からじ。然れ

第五　外人の中國人啓發運動

吾人の中國人啓發運動の目的は、日中人共同生活に對する準備として相互の理解を得るに在り。然るに啓發運動なる語を耳にすれば、世人往々にして之を政治的に解釋し、その背後に何等か政策的野心を包藏するなきやを疑ふものあり。吾人亦その疑惑の無理ならざるを思ふ。請ふ之を歐米列國の中國に對する文化事業の成迹に徵せん。

一　列國の對中國文化政策

通商貿易の增進　獨逸伯林商業會議員「ドクトル、ザルトマン」氏の東亞ロイド週報に寄せたる「獨逸國輸出の擴張に對する東亞市場の準備」と題する論文は、能く本問題を說明す。即ち左にその要旨を揭げ以て余の說明に代へんとす。

獨逸が工業立國の方針を取りてより以來、その生產を外國に輸出するの必要は、從來に比して一層痛切に感ずるに至り、他の列國も亦自國品の販賣を世界に求めんとしつゝありて、茲に劇烈なる競爭を惹起したれば、獨逸は勢ひ工業品の市場を、吾人の大競爭者に著大なる影響を及ぼさゞる地方に求むることは、目下の狀況に於て最大急務なりとす。而して中國は近來數千年來の宿夢を覺醒し、西洋文明を吸收するの氣運勃興し、社會の文物日に西洋の影響を受けつゝある有樣なれば、四億の人口を有する中國がその土地開拓せられ、農業改良せられ、工業發達し、生活向上し、消費力の增加する曉には、如何に物品の需要增加し、外國工業品

吾人は曩に、日中人共同生活の機會に就て述べたる所、概ね日本を主とし中國を從とし、日本の文化を中國に普及するの機會について、多くの言を費したるの嫌あり。然れども吾人の眞意は、決して日中人の間に主從の區別を設けんとするが如き偏狹なるものにあらず。日中人共同生活の要諦は、何處までも相互的にして、互に他を理解し、互に同情を以て相交はるに在りと信ず。約言すれば、日中人共同生活の要諦は、曰く相互的、曰く理解、曰く同情にあり。

從來邦人の中國人に對する態度について、吾人の慊らざるもの少なからず。「チャンコロ」の一言は如何に中國人の胸底に反響するや。原來何等輕侮の意を含まざる「支那人」といふ言葉さへ、既に輕蔑の意を以て受取らるゝに非ずや。然れども、個人としての邦人は、必ずしも、しかく中國人に誇り得べき美點を有せず、否、中國人の眼より見れば却て邦人に於て非難すべき點少なからず。是れ從來日中親善なるべくして、未だ親善なる能はざる所以にして、邦人にして中國人に對する從來の態度を改むるに非ざる以上、到底眞の日中親善は望むべからず。吾人の欲する共同生活の圓滿は遂に其實を擧ぐること能はざるなり。

是に於て、吾人が日中人共同生活に對する準備として、啓發に著手すべき方面を二つに分つ。即ち一は、中國人啓發運動にして、他は日本人啓發運動是れなり。

て生活を營み、日夕日中人の接觸交通の機會最も頻繁なり。而も共に小地域内に雜居す。その融合統一を圖り、共同生活の實を擧ぐる、必ずしも難きにあらず。然れども是れ亦前述の關東州の場合と均しく、現在に於ては、日中人必ずしも融和せず、統一したる社交機關もなく、邦語を能くする中國人も少く、中國語を解する邦人も亦稀なり。但し近頃發表せられたる地方諮問委員選擧制度は、附屬地行政上の一進歩なりと信ず。假令未だ自治組織たらずと雖、その内外人を論せず選出し得らるゝの制度は、他に其例を見ざる所なり。此制度の實施により日中人共同生活に對する準備の必要更に一段の緊切を加ふ。

滿洲各地に散在する我が居留地及中國自開商埠地は、日中人共同生活上附屬地と其軌を一にす。

最後に、日中人共同生活の機會として、文書に依る精神上の交通を擧げざるべからず。後にも論ずるが如く、歐米列國は各々其根據地に於て、自國の文化宣傳を目的として、新聞、雜誌又は其他の圖書を發行せざるものなし。殊に獨逸の青島に於ては、その特別高等學堂に於て、工藝科、農林科、醫科及法制科を設けたる外、別に編譯局を置き、自國語の書籍を翻譯し、之を中國に配布せり我が滿蒙に於て未だ此種の事業の實現せられざるを憾む。

第四　日中人共同生活の要諦

を附說するものは後に新聞、雜誌其他文書を以て日中人の精神的交通を圖ることの必要缺くべからざることを主張せんと欲すればなり。

第三　日中人共同生活の機會

偖て、滿蒙に於て、日中人共同生活の機會何處にありや。

曰く、第一關東州にあり。關東州の法理上の性質は暫く論せず、兎に角事實に於て日本の領土なり。然らば則ち此處に居住する日中人は須く最も圓滿なる共同生活の實を擧げざるべからず。然れども吾人寡聞にして、未だ特に其方法の講ぜられたるあるを知らず。從來關東州は中國人に對し、文化施設上消極的政策を採りたるやの觀あり。若し果して然らば、此消極的政策は自國領土權の確定せる殖民地に對してすら、今日に於ては旣に舊式の政策と稱せらるゝ所にして、況んや其地域の內部其ものゝ價値よりも、夫れを根據地とし廣大なる背後地の畫策に資する點に於て更に多くの價値を認むる租借地に於てをや。之を彼の香港又は靑島(獨領時代の)が、自國文化政策の策源地として、從來幾多の名士を養成し、之をして中國の重要なる地位を占めしむるに經營至らざるなきに比すれば、其政策の優劣同日を以て談ずべきにあらざるなり。

日中人共同生活の機會は、南滿鐵道附屬地に於て更に顯著なり。その日中人は凡て鐵道を中心とし

然れども、かゝる高遠の理想を實現するは、一朝一夕の能く成し得べき所にあらず。吾人は今此大事業の發程に登り、遙に前途を瞻望し、抑々吾人著手の處は何處に在るべきかを省察せんとす。

滿蒙の天地は、日中兩國人の共同して活動すべき舞臺なり。日中人の共存すべき地なり。決して邦人の獨占を夢むべきにもあらず、又中國人の排外を許すべきにもあらず、他の國民と雖來る者は拒むべきにあらず、要は主として日中兩國人が協力提携して其共榮を圖るべき處とす。滿蒙文化開發事業の成否は、一に懸つて日中人が能く提携の實を擧ぐるを得るや否やに存す。

乃ち滿蒙文化開發の事業は、先づ日中人の共同生活を如何にせば最も圓滑に進行し得べきかを講究するに在り。日中人共同生活に對する準備　是れ吾人が著手の處にして、吾人當面のモツトーたり。

吾人は玆に、所謂共同生活の意義を確め置くを要す、普通に共同生活と云へば、衆人の接觸に由り物質的或は精神的に、或種の結合の存する場合を謂ふなり。即ち衆人の接觸は、普通に謂ふ共同生活の一要件なり。然れども玆に吾人の所謂共同生活の意義は更に之を擴張し、必ずしも衆人の接觸を要件とせず、唯精神的結合のみ存する場合に於ても、尙ほ之を共同生活と稱せんと欲す。

是に於て、滿蒙文化開發事業としての日中人共同生活に對する準備は、其事業の範圍更に廣汎なるを致せり。

即ち衆人の共同生活に距離を度外視するを得ば精神的交通も亦一の共同生活となる。吾人の玆に之

附　録

日中人共同生活と滿蒙文化開發案の提唱

本篇は、滿蒙を根據として對中國文化事業を施設せんとする場合に關して、卑見の一端を披瀝したものである。本篇中本文の內容と重複する處もあれども、外人の對中國文化事業を大觀するには、本文よりも更に簡便なるを思ひ、此儘登載することにした。讀者諒之

第一　滿蒙文化開發と吾人の理想

滿蒙文化開發の事業は、之を永遠の理想の上より言はば、滿蒙の新天地に向つて、吾人人類の過去數千年間の精神的產物たる世界文明の精華を輸入し、且つ滿蒙の自然が包藏する靈資を發揮し、玆に滿蒙文明なる一大新文明を建設せんとするに在るなり。是れ吾人が究極の理想にして、苟くも足跡一たび此大陸に印したる者、必ずその天分に從ひ各々之れが實現に貢獻する所あらざるべからず。實に此理想と、此意氣と、更に恒久の努力とは、滿蒙文化開發事業の大眼目たり。

第二　滿蒙文化開發と著手の處

支那に於ける外人の文化事業論　終

はざるが如くなるのである。

此の如き例は一々枚擧するに遑がない。巴里に於ける中國講和使節の行動に關する小幡公使の警告に就いて見ても明かである。大正八年二月三日 North China Star 及 Peking Tientsin Times が突然「日本公使が中國政府に對して壓迫を加へ、巴里に於ける中國委員の行動を掣肘せんが爲に婉曲なる脅迫を試みた」旨の記事を發表するや、中國に於ける各種の宣傳機關は、得たりかしこしと針小棒大の記事と虚構に稱る報道とを以て盛に論難し、遂に「日本は巴里に於ける中國使節が與へられた獨立的地位を挽回し、極東に關する一切の發言權を日本に委ねんことを要求し、中國に對して最後通牒を發せり」など傳へ、甚だしきは「日本は二週間內に十萬の兵を奉天に出兵するを得べく、中國人は頗る恐怖しつつあり、英米人は中國を救はざれば危險なり」などと無根の煽動的言辭を弄するに及んで、中國の一部は之に呼應して理由なきに妄動し、或は唐紹儀・熊希齡の徐總統に致す電報となり、或は上海全國平和聯合會外二團體の運動となり、或は廣東國會議員の宣言、北京學生の反對運動となつたのである。

此くの如く一犬虚を吠へて萬犬實を傳へ、排日の思想は不知不識の間に中國國民の腦裡に浸透し、排日の空氣中國全土に横溢し、中國人をして凡て排日的國民たらしむるの概がある。

（本節は東方時論大正八年三月號日高進氏「列國の宣傳と支那の以夷制夷政策」を引用したる所多し、謹んで謝意を表する）

中傷讒誣至らざるなきに至つては、其正義に悖り、人道に反し、東洋の平和を害することを責めざるを得ない。

此等の新聞が排日を鼓吹して居つたことは昔からのことであるが、日露戰爭以後日本の東洋に於ける勢力の增大すると共に、益々排日の氣勢を昂めた。彼の大正四年の日支交涉が如何に彼等の言動によつて妨けられたか、又大正六年の日支軍事協定が如何に彼等に依つて猜疑せられたか、是れ今日猶世人の記憶に新たなる所である。要するに彼等の宣傳の目的とする所は、日本が中國に對して領土的野心を包藏し、中國を以て第二の朝鮮となさんとするものであることを中國人の腦裡に浸透せしめ、中國をして事每に日本を猜疑畏怖せしめて、日本の發展を阻止せんとして居るのであつた。

故に日本が日英同盟の條義を重んじ、彼等の母國と聯合して共同の敵に當つて居る間に、彼等は新たに Geaman in the East ―極東の新獨逸― なる標語を作り、曾て England in the East と稱したりし我が國に冠するに至つたのである。

米國新聞の排日　米國新聞の排日運動は更に盛である。彼の上海の Millard's Review を始めとし、他の米國系統の新聞は中國官憲と結托し、徹底的排日的態度を持し、每號滿卷、皆排日親米の記事報道ならざるはなく、其事實を揑造し、虛構の誣說を流布するの巧妙なるには驚かざるを得ない。此等の報道は又中國新聞の手に於て更に種々に粉飾せられ、識者と雖亦之を讀んで其眞實を信せざる能

力量ある人物を各國各地に配置し、恰も軍隊に於ける如く組織的に編成して、機密勤務に當らしめてあつた。故に歐洲戰爭の前後に亙り、此等獨逸の密偵が、或は佛蘭西に、露西亞に、或は亞細亞に、米國に、交戰國たると中立國たるとを問はず、陰密の間に活躍し、虛構の報道を散布して他國の行動を牽制し來つたことは世界周知の事實である。

獨逸の中國に於ける宣傳

獨逸は中國に於ても其新聞政策を利用するを怠らなかつた。中國に於ては、彼の南北政府交涉の際、電報戰爭とまで謠はれた如く、口舌文筆の力が兵力に比して屢々偉大なる効果を齎らし、輿論の理性に質たすよりは、群集の雷同性を利用する政策に訴ふる方が輕便で、且つ効能大なることを獨逸は能く了解して居つた。されば獨逸は早くよりフインク博士の如きを中國に派遣して、獨逸語及中國文の週報を發行せしめ、驚くべき廉價を以て之を配布し、又天津に獨逸日刊を創設し、漢口に於ては一英字日刊を操縱してあつた。之れのみならず獨逸は戰前に於ては他の布教學校・圖書館・其他本書の上來說明し來つた文化事業を組織的のものとなし、中國に對し自國主義の宣傳を計劃した事は本書附錄に詳說してある。

外人新聞の排日

近來中國に於ける外字新聞が打揃つて排日を鼓吹すること甚しくなつたことは寔に憂慮すべきことである。前にも述べた如く、自國の對中國政策の精神を表明し、其主張を公開することは各新聞當然の任務である。併し近來の外字新聞は故らに事實を揑造し、我邦の本意を虛構し

中國に於ける外字新聞は、皆各其本國政府の後援を有すると謂つてもよろしい。此等の新聞が如何に本國の對中國經營に貢獻する所あるかといふに

在中國外人に對する貢獻

第一、現在中國に在つて活動しつゝある本國人が、此新聞から受ける利益を考察するに、本國人が中國通として最も信頼する記者の論説、報道によつて常に起る本國及他列國と中國との國際關係、或は本國人及列國人の中國に於ける活動狀態、或は中國の政治や社會狀態の推移、或は日日に變動する爲替相場其他經濟事情等、中國に居つて活動する爲に一日も缺くべからざる知識を得ることが出來る。

本國人に對する貢獻

第二、遙に本國に居る中國研究者に對しても、亦前記の如き諸種の報道によつて、本國の中國に對する理解を助け、牽いて對中國經營を助くることとなる。

對中國政策に對する貢獻

第三、中國に對しては自國の對中國政策の精神を表明し、其主張を公開し、或は中國の言論界を操縱し、以て自國主義を宣傳し、自國の文化を普及し、以て彼我兩國人の親善に資することが出來るのである。

他列國の對中國行動を牽制

第四、は他列國の對中國行動を牽制することである。抑々對外新聞政策の組織的であつて、最も巧妙に濫用したのは獨逸であつた。獨逸は、近頃漸く世界の注意する所となつたプロパガンダ即ち宣傳事業が對外政策の最良の武器であるといふことを夙に觀破し、學識

中法新彙報L' Echo de China（佛文）	佛國	佛國	佛國加特力敎會	M. J. Beloit	中國事情研究に特色あり 五〇〇
Far Eastern Review（英文）	米國	米國	George Bronson Rea等米人	W. H. Donald	月刊英文雜誌の巨擘、近來態度を變じ親日
密勒氏評論報Millard'sReview（英文）	上海	同	Millard's	J.B.Powell（米人）	極東の政治經濟研究主として極力排日をなす 四•〇〇〇
公評週刊ChinaObserver（英文）	同	伊國	F. Parlaim（伊人）	Missrmer	伊國領事の補助を受く週刊 三〇〇
Lloyd's Weekly（英文）	同		G. F. Lloyd	同人	主として社會記事週刊 四•五〇〇
Shanghai Life（露文）	同	過激派	浦鹽の過激派より補助	G. & Hemeshko	大正八年八月創刊排日
楚報Central China Post（英文）	漢口	英人	下に同	Tohn Archbed（英人）	日刊、穩健 一•五〇〇
廣東時報Canton Times（英文）	廣東	無所屬	黃憲昭（米國歸化廣東人）	伍大符	日刊、軍政府より補助親米比較的公平
中國名（雙刺）Hongkong Dialy Press（英文）	香港	政廳	Chairnwright株式組織	同人	日刊一•二〇〇政廳より補助を受く
South China Morning Post 南華早報（英文）	同		株式組織	T. Petrie	日刊一•八〇〇株主は英、米、佛伊人親米日本に好感を有す
中國名（士蔑）Hongkong Telegraph（英文）	同	在留民擁護	Morning post	Alfred Hicks	夕刊、一•五〇〇 米國新聞の色彩あり
中國名（德臣）China Mail（英文）	同	主義ナシ	合資組織	G.W. C. Burnett	夕刊八〇〇週報 Overland and China Report を出す
ウオストーチナヤ、アジーヤ（露文）	滿洲里	進步主義	組合組織	バウエル、ニコラエウイチシテンフリユーデ	日刊 八〇〇

第二節　新聞と外國政策との關係

The Peking & Tientsin Times (英文)	天津	英國	Tientsin Press Ltd.	H.G.W.Woodlead	元週刊、今、日刊排日	九〇〇
China Illustrated weekly(英文)	同		同前	Miss K.H. Massay	週刊、排日	五〇〇
North China Daily Mail(英文)	同			R. Bate	夕刊、親日	五〇〇
North China Sunday Times (英文)	同		同前	同前	日曜新聞、親日	五〇〇
L'Echo de Tientsin (佛英文)	同	天津佛租界局	佛國商人合資	Marchal Garlais (佛人)	日刊、親日	三〇〇
North China Star (英文)	同	米國	英米佛支人合資	C. J. Fox	日刊、米領事館の補助を受く、排日	二・二〇〇
China Critic (英文)	同		North China Printing & Publishing	Vorrs Newsman Co. Ltd.	夕刊、家庭新聞	一五〇
Russian Daily News (英文)	ハルビン		ウイジー米人	同人	日刊	三〇〇
ウエスヘニックマンチユリー 満洲日報 (露文)	同	東支鐵道	同上	イ、ア、ドブロロフスキー	日刊、ハルビン日報の後身親日	八・〇〇〇
ノーウスメスチジーズニ 時事新報 (露文)	同		ペチャーチ出版會社	シエ井ンフエリトチエルニヤフスキー	日刊、猶太人會より補助あり、排日	三・〇〇〇
Chefoo Daily News (英文)	チーフ	英國	James dé Mullan & Co.	James Horney		三〇〇
The North China Daily News (英文)	上海	同	H. E. Morris	O. W. Gree.	一八一五年創刊、東洋最古の新聞	三・五〇〇
The Shanghai Mercury (英文)	同	同	社長 J. D. Clerk (英人)	同人	前者に次ぐ老報夕刊日本に對し公正又遲刊	一・五〇〇
泰晤士報 The Shanghai Times (英文)	同	同	社長E.A.Nolemgham(英人)	W. A. Danaldson	日刊、日本に好感を有す	一・五〇〇
大陸報 The China Press (英文)	同	米國	The China Press Incorporated	Herbert Webb	日刊、排日	三・〇〇〇
上海滬報 Shanghai Gajette (英文)	同	民黨	中國人シンヂケート	英國籍支那人 Collinth Lee	夕刊、排日	一・二〇〇

第四章　新聞

第一節　外人經營の新聞

新聞は最も有効なる文化宣傳の要具である。中國に於ける外人經營の新聞が、列國の對中國政策上中國人心を支配する上に於て最も有力なる働をなして居ることは言ふまでもない。吾人は先づ外人經營の新聞に關する狀況を一覽し、次に其對中國政策上の關係に就て卑見を述べる。

中國に於ける外字新聞一覽表

名稱	發行地	系統	持主	主筆	備考
Peking Daily News（英文）	北京	徐樹錚	同上	吳萊喜	日刊、排日、多少英國系色彩あり、發行部數三百
Peking Leader（英文）	同	梁啓超	刀敏鎌	Simpson（英人）	日刊、排日　一、〇〇〇
North China Standard（英文）	同	日本	鷲澤與四二	J.S. willes（英人）	外務省より補助、大正八年十二月十日創刊　一、二〇〇
La Politique de Pekin（佛文）	同	中國政府	Lé Shen Li	Mameitier（同人）	一九一四年創刊、週刊
Journal de Pékin（佛文）	同	佛公使館		Nanbaur	元露公使より補助を受け今佛之を讓受く、時々排日記事あり
North China Commerce（英文）	天津		Rassmussen	同人	月刊雜誌　二〇〇
China Advertiser（英文）	同	日本	松村利男	同人	元週刊、今、日刊唯一の邦人經營紙なり　三、四〇〇

校せられたマーレー夫人(Mrs. Murray)の盲人學校である。爾來中國各所に盲人學校の設立せらるゝもの相踵ぎ、現今に於ては有名なるもの十二校、生徒全員四百二十二人、卒業者四百人に達して居る。勿論此外に數人を一團として敎會內にて世話して居る者も尠くないのあでらうが、總てゞ五百人を超えないことであらうと思はれる。之を中國の全盲人に比較すると實に僅少な歩合であつて、二千人の盲者に對して一人といふ割合になつて居る。

此等の學校は大抵其設立者が本國から資金を仰いで維持して居るのであるが、中國官憲から補助を受けて居るのも尠くない。生徒は貧困ならざる限り食費は自辨で授業料は凡ての場合免除せられる。一般に生徒は卒業すれば家に歸るけれども、獨立生計する能はざる女生に對しては終生學校に在留することが出來る樣な設備がしてある。即ち此くの如き者の爲に別に工場を設けて此所で生活が出來る樣にしてあるのである。

學科目は大抵中國語・音樂及手工であつて體操科を設けて居る所も尠くない。中國語科の內容は各學校區々であるけれども、大抵は政府の定めた相當學校の課程に準じて居る。但し何所でも適當の敎科書なきに苦しんで居る。音樂はオルガン又は其他の樂器を敎へ手工は籃・ブクインド・蓆等の製造である。奉天九龍及廣東の盲人學校では編物を敎へ、又多くは其製品を其學校で販賣して居る。

の學生を米國に留學せしめて居る。

此くの如くロックフェラー財團は最初の計劃に從ひ、各敎會と連絡を取り、着々其事業の向上發展を圖りつゝある。眞に外人の對中國施設の一偉觀と謂ふべきである。

第六節　盲人敎育

中國には四百人につき一人の盲者

中國には四百人に就き一人の盲者ありと云ふことであるから、全國には百萬の盲者ある譯で、其等は大抵乞食となつて人の憐を乞ふに至る者であるから、中國に於ける盲人敎育は實に重大なる問題であると謂はなければならぬ。然るに中國政府は此方面に向つて未だ何等の施設をして居るから、現在に於ては中國の個人的設備に係る彼の同善堂の如きものを除いては、他は大部分外國の宗敎團體が此任に當つて居るわけである。

盲人敎育に最も早く手を染めたのはグッラッフ博士（Dr. Gutzlaff）である。同博士は廣東に於て六人の盲人少女を引き取り、二人はフイラデルヒャに、四人は英國の盲人院に送り、充分の敎育を受けしめ、其中一人は歸國して寧波に於て敎育事業を助けて居る。

一八四五年より同八年の間に於て、サイル氏Mr Syle は上海に於て貧困なる盲人を集め、小工場を起して職業的修練を與へんことを企てた。學校として眞の形態を具へたのは一八七四年北京に於て開

第四學年

前學期	後學期
看護學示說	公衆衞生看護學
神經學	

第五節　ロツクフエラー財團の其他の事業

ロツクフエラー財團は又齊魯大學にも校舍擴張其他設備費として十萬元を寄附し、又別に五年間の經常費として二十萬元を交附した。上海に於ては一九一六年ハーヴアード醫學校（The Harvrd Medical School）を買收し、上海紅十字病院と共に經營することゝなり、毎年三萬元の經常費を支出して居る。湖南のエール大學（Hunan Yale Medical School）に對しても、一九一五年三月の決議により、五年間毎年三萬二千四百元を寄附することゝなつた。其他各教會所屬病院及看護婦講習所等に寄附した額は少くない。之れが爲米國醫學士の中國に來る者益々增加し、其の多くは現に北京に於て中國語を學んで居る。

ロツクフエラー財團は以上の如く各種醫療事業に多大の財的援助を與へて居るばかりでなく、中國

藥學	外科學一般
臨床顯微鏡學	按摩術
病理學	中國文
細菌學	
中國文	

第三學年

前學期	後學期
小兒科學	產科學
婦人科學	耳鼻咽喉科學
英語	眼科學
中國文	食事療法
	英語
	中國文
	看護學示說

前學期 科目	時間(一週間)	後學期 科目	時間(一週間)
英語	五	英語	三
生物學（講義／實驗）	三／六	看護學歷史	二
化學（講義／實驗）	三／六	看護學理論	六
藥物	二	解剖學及生理學（講義／實驗）	三／六
病院經理	二	榮養及料理法（講義／實驗）	二／二
		中國文	二
		物理	一
		衛生學	一

第二學年

前學期	後學期
英語	英語
高等看護學	內科學一般

一　入學及編入

本所へ入學するには左の資格が必要である。

一、獨身者

二、滿十八歲以上

三、中學校卒業或は同程度以上の英語の素養ある者

有資格者は試驗の上入學を許されるが、其前に操行を主とした一切の身分上の信任狀が提出せられねばならぬ。此の信任狀は北京協和醫學校當局を知つて居る責任のある人からの手紙の形式で提出せられてもよい、亦當校の卒業者の證明書でもよい。入學試驗は英語のみである。

上級への編入は規定學科を完全に修めたもので、試驗の上許可せられる。

二　授業學科及配當時間

各學年に於ける授業學科及配當時間は左の如くである。尤も第二學年以上の教授は未だ開講されないから、唯授業豫定學科のみを擧げる。

看護婦養成所教授科目

第一學年

水	木	金	土
解剖學（神經學）九—一二	解剖學（神經學）九—一二	解剖學（神經學）九—一一 中國文 一一—一二	細菌學講義 九—一二
藥物學講義 一—二 細菌學講義 二—三 臨床講義—病理對照 四—五	細菌學 二—五	英語 一—二 生理學 二—四	
藥物學 九—一二	生理學 九—一二	生理學 九—一二	
病理學試問 一—二 寄生虫學 二—四 臨床講義—病理對照 四—五	佛語（獨語）一—二 寄生虫學 二—五	英語 一—二 生理學 二—四	
病理學 九—一二	病理學 九—一二		衞生學 九—一二
治療學 一—二 理學的診斷 二—四 臨床講義—病理對照 四—五		英語 一—二	

第三　看護婦養成所

看護婦養成所は一九二一年九月二十八日の開校で、四年制である。講義及實習は外國で教育を受けた教師に依つてなされる。實習は北京協和醫學校附屬病院の外來患者は勿論、入院患者について內科・外科・婦人科・小兒科に就て行はれる。

看護婦宿舍は實習室の外、幼兒保護に必要なる現代的設備がしてある。亦看護婦專門の圖書館も醫學校の横に建てられ斯學の書籍は豐富に集められて居る。

火	水	木	金
組織學 九—一二	生理學 九—一二	生理學 九—一二	組織學 九—一二
解剖學 二—五	解剖學 二—五	解剖學 二—五	英語 一—二 解剖學 二—五
醫化學 九—一二	醫化學 九—一二	組織學 胎生學 九—一二	
英語 一—二 解剖學 二—五	醫化學 一—二 解剖學 二—五	英語 一—二 解剖學 二—五	解剖學 二—五
醫化學 九—一二	佛語 九—一〇	生理學 九—一二	生理學 九—一二
獨語 一—二 醫化學 二—五	英語 一—二 中國文 二—四	生理學 二—五	獨語 一—二 生理學 二—五

第二學年時間割

學期		月	火
第一學期	學科		
	學科	細菌學 二—五	細菌學 二—五
第二學期	學科	藥物學 九—一二	藥物學 九—一二
	學科	病理學講義 一—二 病理學 二—五	病理學講義 一—二 病理學 二—五
第三學期	學科	藥物學 九—一二	病理學 九—一二
	學科	藥物學講義 一—二 藥物學 二—五	藥物學 一—五

第一學期 學科	時間（一週間ニ付）	第二學期 學科	時間（一週間ニ付）	第三學期 學科	時間（一週間ニ付）
神經學	八	英語	一	藥物學	一一
藥物學	一	生理學	八	病理學	九
細菌學	一四	藥物學	九	佛語又ハ獨語	一
英語	一	病理學	五	衛生學	三
中國文	一	寄生虫學	一	治療學	二
	二五	佛語又ハ獨語	一	理學的診斷學	二
計	二五		三三		二八

第一學年時間割

		月
第一學期	學科	組織學 九緒一二
	學科	英語 一一―一二 解剖學 二―五
第二學期	學科	組織學 胎生學 九―一二
	學科	解剖學 二―五
第三學期	學科	佛語 九―一二
	學科	獨語 一一―一二 醫化學 二―五

られたるもので、其の處理は北京の管理者に一任されて居る。

五　授業時間數と時間表

醫科に於ける一九二一、二二兩年に亙る一箇年の配當授業時間數及時間表は左の如くである。

第一學年

第一學期 學科	時間(一週間ニ付)	第二學期 學科	時間(一週間ニ付)	第三學期 學科	時間(一週間ニ付)
解剖學	一五	解剖學	一五	生理學	一二
組織學及胎生學	九	組織學及胎生學	九	英語	二
生理學	六	英語	二	醫化學	九
英語	二	醫化學	七	佛語又ハ獨語	三
				中國文	二
計	三二		三三		二八

第二學年

つた上決定許可せられるのである。

一、入學資格十分なる者

二、認可學校に於て一年以上或は數箇年在學の上醫學科成績優秀の證明書を提出したる者

三、入學試驗に合格したる者

又別に條件付入學と言ふものがあつて、入學試驗に一科目のみ不良なる者は、入學許可條件が最も都合よき場合には假に入學を許可し、一學年の最終試驗成績で佳良なれば始めて正式に入學を許可されるのである。

三　學位の請求

醫科五箇年の課程を完全に卒へた者は、其の請求によつて合衆國醫科大學會認定の Doctor of Medicine 及民國政府教育部認定の醫學士の學位が授與される。

四　研究生

各科に於て研究生の爲めに特殊研究が行はれる。研究は講義實驗及病院の外來患者診療で、時期は科目に依つてそれぞれ定められるものであるが、現在は中國の新年期と夏期とが提供せられ、一九二一年に於てはレントゲン科と眼科が開かれた。

研究生中或一定數は特待校友給費生として學費を補給せられる。此の給費生は中國在住の醫師に限

五、生　物　學　十二時間　（實驗室實習六時間を含む）
六、化　　學　二十四時間　（同　上十二時間を含む）
七、物　理　學　十八時間　（同　上六時間を含む）

以上の内實習を要するものは實驗室に於ける筆記帳を以て證明することゝし、筆記帳が不充分ならば入學資格はない。

二　入　學

本校豫科卒業生は無試驗を以て入學を許可されるが、他校卒業の有資格者は何れも入學試驗を要する。入學試驗は毎年九月北京及上海に於て施行さるゝが、募集人員不足の場合には他の地方に於ても臨時試驗を行ひ得る。而して入學志望者は左の各項のものを九月八日迄に學生募集係に提出し、受驗許可を受けねばならぬ。

一、中學校卒業證明書、同等の學力を認定せられたるものは其の證明書
二、修得學科目の時間數及修學程度の學校當局の證明書
三、實驗を要する學科は實習筆記帳
四、資格を得る爲めに特に受けた試驗あるときは其の成績竝に内容記載書

而して入學は民國教育部の認可したる條件内に於て左の各項に當るものを審査し、之を教授會に諮

醫科入學資格はニユウヨウク州立醫科大學入學資格を基礎として規定されたもので、詳言すれば合衆國に於ける醫科大學會の入學資格及民國敎育部の指定せる醫科大學組織の醫學專門學校入學資格を基として規定せられたものである。

一、官立中學校卒業者及同等の學力を有するものと認定せられたる者（此の中學校は民國敎育部中學校令に依つて設立されたもので、三箇年の高等小學校を卒業したるものを入學させる四箇年制の中學校で、英語四年、中國文學四年、代數は二次方程式迄、平面幾何、生物學、化學、物理學、中國史、西洋史、圖畫を課したるものである）

二、中學校程度の學校を卒業し尙三箇年間專門學校敎育を修了したる者で、半箇年或は十六週間より少なからざる一學期に於て、授業時間が百二十時間より少からず、又中等程度の學校にて授業さる〻國語數學及科學が授業時間表に於て百九時間より少からぬ者である。

尙之を詳述すれば資格を得るための國語數學及科學の一學期間の最低時間數は左の如くである。

一、英語	二十時間	
二、中國文學	二十時間	
三、英語以外の語學	十時間	（一箇國語につき十時間宛）
四、數學	五時間	

職員・學生のために每年一名或は二名の優秀な科學者を招聘し講演を乞ふことになつて居る。

一九一九―二〇年の兩年に亙りワシントンのスミスソニアン研究所(Smithsonian Institution)のアルス、ハルドリツカ博士(Dr Als Hardlicka)が組織學及解剖學に就て、學生のみならず、一九二〇年二月北京で組識された中國基督教醫學協會のためにも講演された。

一九二〇年から二一年に亙りモントロールのマツギル大學(Mcgill University)のエー・ビー、マツカルム博士(Dr. A. B. Macallum)は生理學及藥物學に就て講演された。

一九二一年の秋にはハーバード醫學校のフランシス・ピーボデー博士(Dr. Francis W. Peabody)が一般醫學の臨床的實驗竝講義をされた。

第二　醫科入學卒業學位及授業科目

醫科は一九一九年十月一日から開講せられ、本校の豫科卒業生又は之と同等の資格を有するものに入學を許される。

學科の修業年限は五箇年で、內一箇年は病院又は實驗室に於て特殊研究に從事するもので、其卒業生には醫學士の學位が與へらる。此等の內容を詳述すれば左の如くである。

一　入學資格

九　宗敎的及社會的事業

學生が宗敎的信念の下に社會的事業に興味を持つことは、其の將來に對し最も必要なことであるので、本校では基督敎信條を有する學生の團體と其の事業とに補助をして居る。

此團體は敎會とは全く獨立したもので會員は正會員と准會員とに別れ、前者は信者殊に學生を主とし、後者は求道者聖書研究者及社會的奉仕の精神を有する學生である。會員には男女の區別のないのは勿論である。

其の事業の一として毎日禮拜を行つて居るが、之れは敎授或は學生に依て司會される。次には北京及全中國に於て布敎又は基督敎的事業經營者の講演を聞くことである。

次には宗敎的精神の下に育兒院又は貧民救濟事業中の病院又は施療に關し定期的に從事することである。

看護婦も亦同樣の組織の下に基督敎協會を作つて居る。然しながら其用語は中國語を以てして居る。

次に學生の希望するものは公會堂で、之は禮拜堂と異なり、學生の會合のためにも讀書のためにも便利なるのみならず亦倶樂部ともなり得るので、恐らく近き將來に於て學生の期待通り實現を見るといふことである。

一〇　特別講演

ンハム博士は一九一四年十一月四日死去された。

三、ウォールター・エ・ハレー氏の奬學資金　カリフォルニヤ州サンタバルバラのハレー氏に依つて一箇年一五〇墨弗の割合にて數年間提供されたものである。然し同氏は最近死去せられた。

七　スクールボーイ

本校では學校內の簡易な勞働——例へば圖書館・實驗室又は硏究室の掃除整理などの作業に依つて報酬を得て學資の一部分に充當することを得る所謂スクールボーイを一定數だけ募集することになつて居る。

此の權利は既に學校に籍を置いて居る學生にのみ與へられて居るが、之がために奬學資金を受くる資格は制限さるゝことはない。

八　學生の作業

學生の修業課程は全學科の試驗に合格したる後所謂特殊硏究に依ての論文を作ると共に、此の期間に於て一面には患者診療の實地經驗を行ひ、或は病院勤務見習をやることになつて居る。

又寄宿では出來るだけ衞生的ならしめるために、炊事場・食堂・寢室の醫學的檢査を學生自身にやらして居る。

學生に規則的な運動は努めて奬勵し、屋外運動の設備は種々備つて居る。

なつて居る。

寄宿舍は使用料として醫科豫科の別なく年額銀十元を徵收して居る。其の納期並に分納方法は授業料と同一である。

寄宿舍は電氣を以て一切の動力並に燃料として居る。而して現代的な鉛管裝置の灌水浴さへ設けられてある。學生には普通二人に對し一室を與へて居るが、何れも寢臺机簞笥等を含める道具が貸與せられて居る。賄料は一箇月銀六元である。

然らば學生が一箇年に要する費用は幾何を要するかと言へば、被服費・旅行費の如き個人的差異のあるものを除いて、上記の諸費及書籍代並雜費を加えて、銀二百弗乃至二百五十弗である。

六　奬學資金及賞與

本校の奬學資金及賞與は左の三種である。

一、評議員の奬學資金　各學級の最高平均點數所有學生に一箇年間の奬學資金を與へる。此の資金は翌年の授業料を以て充てる。

二、ウェンハム氏の賞與金　數年間、以前の本校附屬病院のために鋭意盡力され且評議員會の中心人物であつた故ウェンハム博士の紀念事業として五千上海兩の資金を以て創設されたもので、此の利子が一箇年二百八十墨弗あるが、それを每年一人乃至數人の學生に與へられるのである。因にウェ

三　建築と設備

本校の新建物は一九一九年に完成を告げたが、之の内には各分科敎室並に病院も含まれて居る。此の建物は最も進步した現代的のもので、最新の醫學を敎授するに些の不都合を感じない充分なる設備と幾多の特色を備へて居る。臨床方面に於ても特別の治療を要するものには適宜に室を設くることを得るまでの注意が拂はれて居る。

豫科敎室寄宿舍職員の住宅は何れも此の建物に接して建設されて居る。

四　敎授用語

本校に於ける敎授用語は一切英語を以てして居るが、中國に於ける醫學の眞の發達は中國國民自身の國語に依るを要するのは勿論であるから、特に中國文學に重きを置いて居る。之れは外國の醫書を中國語に飜譯するにも緊要なことである。

五　授業料及一般經費

本校の授業料は醫科豫科何れも一箇年北京銀の百元を、醫科は三期に分納し、豫科は二期に分納する。その期日は何れも學期始である。

本校では學生の實習費としては別に徵收して居ないが、銀五元每年學期の始めに納入せしめて、其の期間に於ける學生の使用する材料の實費に當て、若し學年の終に於て殘額あればそれを戻すことに

尙看護婦養成所を附設して居るが、これは一九二〇年九月二十八日に開設したのである。

二　沿　革

本校の濫觴は一九〇六年ブロキサー氏(Broxer)が、基督敎會を背景とした醫學校を創設し、米國海外傳道師委員局(The American Board of Cominissioners for Foreign)合衆國長老敎會海外傳道師局(The Board of Foreign Misson of Prespiterian Church in the United States of America)ロンドン傳道敎會(The London Missionary Society)メソヂスト敎會北京大學(The Peking University-Methodist)福音宣傳敎會(The Society for the Propagation of the Gospel)ロンドン醫學傳道協會(The Medical Missionary Association of London)及該醫學の發達並に經營につき生れたる幾多の團體の協力に依つて一九一五年迄維持されたが、同年七月に至り、同校の管理經營を掌つて居る評議員會を改造し、總數十三人中六人を従來の經營者たる敎會團體から、他の七人をロックフヱラー財團中國醫務局から選出することを條件として、ロ氏財團中國醫務局の手に委ねられたのであつて、一九一六年の始めに於ける評議員會に於て實際的事業に關する內部組織の改造を紐育州立大學長へ一任することにして、始めて新北京協和醫學校の經營は其緒についたのである。

爾來內部の改造は徹底的に行はれ、之に伴ふ校舍の新築は著々進捗し、一九一七年には豫科を、一九一九年には醫學部の開講を見るに至つた。尙一九二一年秋には新病院も完成を告げた。

常置委員の爲に適當なる事務所を設置し、北京を以て其本部所在地とする。
以上の報告書に基き、一九一五年本部よりブトリック、ウエルシユ、フレクスナーの三博士が中國に來遊し、中國各地方に於て詳細に醫術界の事情を調査して歸國したが、其結果、先づ第一に北京に模範的醫科大學を設立することとなつて、從來英米所屬の六個の敎會が協同して經營して居つた協和醫學堂（Union Medical College）を二十萬弗を以て購入し、內城內の王府井大街に廣大なる土地を買收し、一千萬弗を投じて校舍病院等の建築したのである。左に此協和醫學校の概要を述べる。

第四節　北京協和醫學校概要

第一　組織

一　學制

北京協和醫學校は醫科及豫科の二部から成り、醫科は五箇年制で、其の最終の一箇年は特に選定せられた敎室又は病院に於て特殊の研究に從事し、論文を作成し、始めて校門を出ることになつて居る。豫科は三箇年制で醫科に進むべき一切の豫備敎育を施すものである。
學生は男女共學であるが、女學生に對しては特別の宿舍を設け、女子監督委員を置いて、一切の保護と注意を拂つて居る。

者も生ずるであらうか、兎に角中國人の卒業生をして其醫術を惡化せしめざるか爲めには、永く病院と接觸せしめ置くこと最緊要なることである。

以上何れの方法に依る場合と雖、外國人醫師の監督の下に其學術を修得せしめなければならぬ。

外國人着護婦の俸給に關する條件――病院には多數の外國人看護婦を必要とすべきが故に當財團より之が補助をなすを要す。此等の看護婦は教會之を指名し當財團の承認を得なければならぬ。蓋し優良なる看護婦を派遣することは、病院の設備を改善し善良なる組織を有せしむるに最も主要なるものであるからである。如斯は亦教會か資金の缺乏より看護婦の不足を訴ふるの困難を排し得べきものである。

設備――中國に於ける凡ての病院をして相當の設備をなさしめんとするが如き企畫は到底實行せらるべきものでないけれども、或病院を完全に設備せしめ、特に當財團が補助し居る醫學校と聯絡せる病院の設備を完成せしむる事は最も必要である。固より唯一名の醫師を有するに過ぎざる如き病院に對し補助をなす事は必要でない。

十四　支那に於ける常置委員

當財團を代表するが爲に中國に常置委員一名を置くを要する。常置委員は當財團に關する一切の事務及補助に係る一切の施設を管理し、報告をなし、又は其他推選をなすものである。

當財團に依て補助を與ふる醫學校に附屬する病院は、先つ其設備を整頓し規模を擴張することを要する。又事情の許す限り他の病院に對しても補助を與へ之を整頓せしむることを要する。依て左記の事項を提議する。

外國人醫師の增聘――傳道團體が更に外國人の醫師を增聘するときは、其增聘せられたる者の俸給を當財團より支拂ふこと、其他の場合に於て當財團の承認を經て增聘したるときも亦同し。而して此等の醫師は單に增員として既設の病院にのみ聘せらるゝものなる事は言を待たない。

本制度は一面に於ては敎會が醫師を聘することを容易ならしめ、他方に於ては敎會の資金の缺乏により優良なる醫師を聘する能はざるの困難を除去するものなると同時に、醫學校を卒業した者に臨床實習を爲さしむるの適當なる設備を病院に有せしむるの便宜を供するものである。

病院に於ける中國人醫師の俸給に關する條件――病院に於ける中國人醫師は、當財團に依て承認せられたる學校を卒業したる者で、且つ中國に於ける當財團の代表者の承認に基いて任用せらるゝ者でなければならぬ。

中國人醫師の俸給に關しては二つの意味に於て大なる價値がある。即ち其一は病院職員として全力を注がしむると、他の一は中國人の卒業生の多數に一定年限の間病院生活を繼續し得るの機會を與ふることである。固より以上の中國人の或者は全く病院に勤務し、或者は半日丈病院に勤務する

相當補助せしむるか如き形式に出づるを必要とする。

十一　模範的肺療院

中國に於て二つの模範的肺療院を設立するを要する。其位置及組織設備等に關しては專門家の意見を徵するを要する。

而して其位置としては楊子江河畔に於ける皷嶺及北京、保定府間に横はる西山脈中に選ぶを可とする。

吾人は中國到る處に於て肺病の甚だ猖獗を極むる事を認めた。而して學生中にも亦甚しく傳染して居るやうである。

既に北京附近に於て療養病院設置の計畫をした者がある。

十二　奬學金

前記の醫學校の事業と相關聯して、一定の條件の下に一定の人員を限り、深く醫術を研究せんと欲する者にして學資に乏しき者の爲に奬學金の制度を設け、此等篤志の者に補給するを可とする。而して其人員は一九一五―一六年に於て十人を選び、次年に亦十人を選び總數五十名に達して止む。其經費は初年七百五十弗とし其後亦之に比例して増加する。

十三　病院の擴張

依て當委員等は左記事項を推奬する。

(一) 上海に設置せらるべき學校は、米國紐育州の法律に依りて特許せられたもので、其名稱は上海醫科大學(Shanghai Medical College)とするか、否らざれは各種の關係者の認容すへき名稱を用ゐること。

(二) 上海及其附近に於ける現在の醫學校を夫等學校に有利なるべき條件の下に合同し、且下流楊子江畔に於ける凡ての醫學敎育施設及主なる病院を、上海を中心として共同せしむるやうにすること。

九 廣東に於ける醫學敎育

廣東に於ては醫學敎育に關する廣東基督敎大學(Kuang Tung Christian College)の計畫に對し補助するを可と認める。

但し補助に關する具體的條件は廣東病院に關し或懸案事項あるを以て目下直に協定することが出來ないのであらう。

十 長沙に於ける醫學敎育

長沙に於ては同所に於ける「エール・ミッション」(Yale Mission)の醫學計畫に補助を與ふるを可とする。當委員等の見る所を以てすれば、此補助は湖南省人の利害に直接し、且つ湖南人よりも

織を以て中國を援助すべき時期に達して居らない。

六　研究所の設立

醫學研究所を設立することは之を推奬することが出來ない。蓋し現在に於ては中國に於ける國立の研究所を設立するの時期でないと認められるが爲である。斯る研究は醫學校と聯合してなすに於て其目的を達し得ると信ずる。

七　北京に於ける醫學校

醫學教育事業の第一歩として、先つ北京城内に一醫學校を設立するを可とする。若し適當なる條件の下に爲し得るものとしたならば「ユニオン・メヂカル・カレージ」(Union Medical College) と合同經營するを可とする。

八　上海に於ける醫學校

人口、富及其地位の便宜等の關係上第二の醫學校は上海に之を設置するを可とする。

當委員は上海に於て何れも米人の保護の下に、共に英語にて教授する二つの醫學校の存在を見るに至らんことを好まない。又當委員は上海及南京の兩方に宏大なる醫學校を設立するは宜を得たるものでない、寧ろ下流の楊子江畔に唯一箇の宏大なるものを置くに如かずと考へる。而してかゝる施設は比較的大なる都市に在るを適當であると信ずる。

二　傳道團體の施設との協同

斯る事業を經營するに當つては、既に過去に於て中國に斯る事業を經營して居る現在の傳道團體の施設と協同するの必要がある。

三　醫學敎育の程度

當財團の關係する限り、其醫學校育は程度は須く高くして且實際的のものでなければならぬ。而して如斯は現在に於ては、米本國に於ける高等學校程度の學校を設ければ、丁度其需要に應し得るやうである。而して其學校には英語・中國文・物理學・化學及生物學を敎授する。修業年限二箇年の豫備校を附設するを要する。

四　敎育の主たる媒介語としての英語

當財團の關係する限り、醫學校に於て醫學を敎授するには、現在及將來に於ては英語を以て主たる言葉としなければならぬ。只或學科のみ中國語を以て之を敎授することが出來る。固より凡ての學級に於て中國語を以て說明する事强ち不可能ではない。

五　公衆衛生

當財團は目下は公衆衛生に關し大なる計畫をなすの時期でないと信ずる、蓋し現在に於ては公衆衛生に關し訓練せられたる技師の缺如せること、及其他種々の原因があつて、公衆衛生に關し大組

ロックフェラー財團秘書　ゼローム・グリーン
國際衛生委員會長　ウイックリッフ・ローズ
青年會國際委員　ジョン・アール・モット
教育部秘書　ワーレス・ブトリック
ロック・フェラー醫學研究所長　シモン・フレックスナー
ジョン・ホプキン大學總長　フランク・テー・グードノー

中國に於ては一九一五年八月北京に支部を置きグリーン博士之れが長となつて居る。

中國醫術調査委員會報告摘要　中國醫術調査委員會の提出した報告書は浩瀚なものであつて、能く中國現今の醫術の缺陷を指摘して居る。左に其要點を掲げる。

中國醫術調査委員會報告書摘要

一　中國に於ける醫學事業の現況

當財團は中國に於て醫學事業を起すの必要がある。委員の見る所を以てすれば、此必要は豫想外に緊要且大なるものがある。此施設の爲に各方面に進步を齎すべきもの蓋し大なるものがあるであらう。

投ぜられて居る。

中國醫術調査委員會 一九一四年二月中國に於ける醫學教育、病院の設立及公衆衛生に關する事項を調査し報告せしむる爲に、一委員會が組織せられ、中國醫術調査委員會と命名せられた。該委員は間もなく任命せられて、調査に從事し、偏く中國各地の醫療事業を踏査し、中國に於ける基督教青年會の醫學傳道局員、中國の中央政府及各省の主なる官吏、並に歐人及中國人の重なる人と會合して一の會議を催し、其結果該委員は一の視察報告書を提出した。同年ロックフェラー財團は前記報告に基き、當財團は中國に於ける醫療事業を實行すべき旨を公表し、該報告書の計劃は事業の進行又は其他の經驗に依つて變更すべきこともあるべきも、兎に角之れを基として事業に著手すべきを以てした。

中國醫務局 かくて中國に於ける本事業を指導管理する爲に、本部に中國醫務局（The China Medical Board）なる名稱の補助機關を設置し、左記の者を役員に任命した。

市俄古大學總長	ハーリー・プラット・ジャドソン
紐育州校育部長	フレデリック・ゲーツ
ハーヴァード醫科大學助校授	フランシス・ピーボデー
ロックフェラー家	スター・モルフイ
ジョン・ホプキン大學病理學教授	ウヰリアム・ウエルシコ.

前清王族の御下家敷で、一度は賣物として、我が滿鐵會社などにも話を持込まれたこともあるといふやうな話を聞かせられると、更に一層感慨を深くする。

此協和醫學校の建物は西洋式と中國式との萃を集めて造られたものであつて、此建築にたづさはつた一技師のサービン氏は「此建築に使はれた中國の職工は昔の中國の宮殿でも造るやうな敬虔と欣喜とを以て從事した」と言つて居る。

さて此協和醫學校は、ロックフエラー財團の中國に於ける醫療事業の一として第一に着手せられたものであつて、ロックフエラー財團の中國に於ける事業は、外人の文化事業として、特に大書しなければならぬものである。吾人は先づ左にロックフエラー財團について述ぶる所あらねばならぬ。

財團醫療事業の目的

前節に於て述べた如く教會經營の醫學校が其資金に於て十分なる能はず、經營意の如くならざるに當り、之か援助を目的とし、尙廣く中國に於て醫術普及を圖らんとして起つたのがロックフエラー財團の中國に於ける醫療事業である。

財團の目的

ロックフエラー財團（Rockfeller Foundation）は一九一三年五月紐育州法に依り組織せられたものであつて、本部は紐育市に在る。其目的は其寄附行爲に示せる如く、「一定の基金を保管維持し、其利子又は元金の一部を以て、全世界人類の安寧福祉を增進せんとするに在る」。ロ氏は之れが爲に一億弗を提供し、一九一四年に於て米本國の醫學校及醫學研究の爲に約千七百萬弗が

の程度に於ても此等多くの學校では大概其校則に於て高等學校を卒業した者を入學せしむる規定を設けて居るけれども、實際に於ては殆んど勵行されて居らない。又設備に於ても敎會設立のものは一概に言へば不完全であると言はざるを得ない。

共同經營の醫學校　是に於て近來各敎會が共同して醫學校を經營するの傾向が生じて來た。蓋し近來一方に於て醫學敎育の必要が刻々に迫ると同時に、一方に於て他國政府設立の醫學校との對抗上、從來單獨經營の小規模の醫學校を以てしては中國人の注目を惹かず、其設備學科程度等に於て大に遜色あるを免れない爲に漸次小異を捨てゝ大同に就くの方針を取り、敎會の聯合經營の傾向を促進するに至つたのである。例へば前章に掲げた齊魯大學の如き其著しき例である。

第三節　ロツクフエラー財團の醫療事業

北京協和醫學校の宏壯　北京を訪問して歸つた邦人の土產話として、第一に話頭に上るのは、ロツクフエラー財團の事業として、北京に建設された北京協和醫學校病院と我が同仁病院との對照である。北京城內の目拔の場所列國公使館區域の交民巷に程近き三府井大街に、數千坪の廣大なる敷地を領し一千萬圓の巨資を投じて建てられた中國宮殿風の莊麗なる建物と、僅に五十坪の狹陋なる我が同仁病院との對照は、常に列國士人の眼に觸れる場所柄だけに、いとゞ邦人に深い印象を與へる。此敷地は

第二節　醫學敎育

醫學敎育は第二章敎育事業中に述ぶべきであるが醫療事業に關聯する所大なるが故に、特に本章に於て述べることにする。

醫學敎育概況

一九一六年末に於て醫學敎育を施す學校は左の如く二十六箇所ある。

杭州	二	北京	三	天津	二
福州	一	長沙	一	武昌	一
濟南	一	成都	一	上海	二
蘇州	三	廣東	六	奉天	二
香港	一				

前表の學校を設立者に就いて分類すれば、二十六校の中十四校は敎會設立で、他の十二校は外國政府の設立に係る。其敎會經營の十四校に關係せる敎會を國別にすれば、英國敎會十、米國敎會八、和蘭敎會一となる。

醫學校の經營狀況

以上各學校の經營狀況を通覽するに、其修業年限學科程度等千差萬別である。修業年限の如き英國經營のものにあつては五箇年なるに反し、米國經營の學校は四箇年である。入學

第三章　醫療其他救濟事業

第一節　醫療事業

醫術は布教の手段

中國に於けるクリスト教の開祖とも云ふべき利瑪竇が、澳門より深く中國内地に入り北京に達することを得たのは其醫術を利用したお蔭である。（第一一頁參照）それ以來後世の宣教師は凡て布教の手段として醫術を利用するに至り、現今の中國に於ける外人經營の醫療事業は凡て敎會に關係のないものはないのである。（邦人經營の病院の如きは其唯一の例外である）

外人醫術の概況

今外人の醫療事業の概況を述べると、外人醫師にして中國人に醫療を施す者三百六十人、之に外人看護婦其他中國人醫師の如き外人の經費を以て醫療に從事する職員を擧げると、總數約二千人となる。病院の數は、福建の四十一を筆頭として總數約二百五十に達し病床數約一萬を算する。

此等の病院にては目下年々約十萬人の入院患者と、約三百萬人の外來患者とを治療して居る。經營方法は勿論慈善的であつて、治療費は頗る低廉で、北京の婦嬰醫院の如きは診察料僅に二仙、又齊魯大學附屬病院の如きも同樣である。概して診察料は五仙を越えず、藥價も只實費を徵するに過ぎない。而して極貧困なる者は全く免除せらるゝが通例である。

となり、或は諸種の事業の共同經營を助くるなど、直接間接に對中國外交上經濟上に稗益する所大なるものがあるであらう。

同情の途を講じなければならぬ。相互の理解あつて始めて此に意思の疏通感情の融和が生じて來る。而して此に同情親善の念が起つて來るのである。理解と同情とは言語の相通事情の了解に如くものはない。是れ諸外國が齊しく其國語の普及を重んずる所以である。

國語普及の效果

國語普及は自國的敎育を施すに當つて、智識の方面に於ても、感情の方面に於ても、最も有効なる方法であつて、自國的敎育即ち自國語敎授なりと言つても敢て過言でない。凡そ一國の言語は其民族心理發達の歴史であつて、血液が一國民の物質上の共通要素である如く、言語は精神上の共通要素である。而して他國人が其國語を學ぶ場合に於ても、國語の蘊蓄する國民的精神及言語に伴つて發露する感情が不知不識の間に其心情を陶冶し、玆に兩國民の思想感情の融合共鳴の素地が出來るのである。試に之を我邦の語學者に就て見るに、彼の獨逸語學者には沈毅質實容易に打解けない人多く、英語學者の中米國流の學者には渡世の道に長け損益の打算に巧みなる人多く、又英國流の學者には心術行爲我邦の武士の面影ある人が多い樣である。

若し夫れ上述の如き言語固有の力に由つて中國人を敎育し、自國に對する友誼的感情を養ひ、自國の文物制度の眞相を授け、自國文明の特色を知悉せしめ、以て兩國提携の必要なる所以を悟らしむることが出來たならば、此くの如き敎育を受けた人材が中國各方面の要路に立つ曉に於ては、彼等は中國の先覺者として、或は自國の風尙・趣味の鼓吹者となり或は輿論を指導し、或は兩國々交の調節者

教員（大多數英語教師）	六三人	醫師	一九人
外人商店員	一五	鐵道會社員	一〇
牧師	九	工業會社員	三
外務部員	三	在學中	三
在外領事	二	官吏	二
税關吏	二	其他	二五
計	一五六		

之に由て此等卒業者は大部分外國の對中國事業に關係する者であることを知ることが出來る。

第五　彼我兩國の親善

親善と通商　列國は其長い海外經營の經驗によつて屬邦たると外國たるとに論なく、其地との通商貿易を隆盛ならしめんとするには、其地の住民の、我に對する好感を持續せしめざるべからざることを了解して居る。住民は我が商品の消費者である、得意先である。商賈が得意先の感情を尊重せざるべからざること言ふまでもない。

理解と　而して彼我の間に好感を持續し、兩者の親善を保たんとするには、先づ互に他を理解する

四、其他——銀行重役及行員二二、工場及商店の經營者及使用人三八、新聞記者及通信員二、圖書館管理員二、社會及宗敎事業二一

計　五九六

英國から歸朝した者左の通りである。（一九一六年末調）

農業	三	建築師	一	美術家	七
化學	一〇	商業	八	醫師	五〇
冶金家	六	軍學家	二	鑛業家	二二
自然科學家	八	工學者	四二	飛行家	四
地質學者	一	法律及經濟學者	四七	皮革業	一
海軍建築技師	五	保姆	四	準備中	六七
新會學者	二	無線電信技師	二		

計　二九二

外人經營の學校卒業者の內外國に留學するに至らず、其儘中國に留まり、各種の職業に就いて居る者と雖、亦直接間接に當該國の對中國政策を援助して居る。上海聖約翰大學卒業者の前記百五十六名の就職狀況を調べると左の如くである。

農商部	四八人	交通部	四六人
大理院	四〇	陸軍部	三四
森林局	三二	教育部	二八

此等の留學出身者は我が國に留學した者を除けば他は皆中國內地に於ける外國人經營の學校卒業者である。中國に於ける大學として最も古い歷史を有する上海聖約翰大學（第八二頁參照）の一九一四年までの卒業者百五十六名中外國に留學した者、米國に四十三名、英國に四名、獨逸に二名といふ有樣である。

中國政界に於ける列國勢力の消長が留學出身者の數によつて其一斑が窺はれるものとすれば、自國の留學者を得ること、對中國政策の遂行上重大なる問題である。米國の淸華學校設立の眞意も之に因て略々推察することが出來る。

苟に北京淸華學校から出版された游美同學錄によると、米國から歸朝して現に實職に就いて居る者は六百人あつて、其細目は左の通りである。（一九一九年末調）

一、敎育――管理員三八、敎師一九七
二、政治――行政官（外交官及領事を含む）一二九、立法官三、司法官四
三、工程及實業――建築師四、工程師九五、辯護士六、醫師三五

色彩明瞭となり次第に濃厚となつて、遂に黨派的のものが生じて來る樣になる。現今中國政府の重要な地位に在る者の大多數は外國留學出身であるが、其中日本留學出身者は相倚つて一團となり、歐米留學出身者は留學國別を論せず協力して一團となり、兩々相對抗して居るやの觀がある。先年歐米留學出身者が特に會合して排日鼓吹の方法を講じた時に、日本留學出身者は一人も加入しなかつたといふことである。

一九一七年北京の一外字新聞の報ずる所により、北京に在留する歸國留學者中其留學國別を擧げると次の如くである。

日本	五二二人	米國	一五一人
英國	九九	佛國	五二
獨逸	四七	白耳義	三八
墺國	九	露國	七
西班牙	一	土耳古	一
計	九二〇		

此等の中八百六十八人は政客とも稱すべきものであるといふ。尙政府各部に奉職して居る者の中明瞭なる者を擧げると次の如くである。

んが爲に、茲に一例として顧維鈞氏出世の徑路を揭げる。

顧維鈞氏は上海聖約翰大學堂中國部を卒業し、米國に赴き紐育の州立高等學校に入り、次でコロンビヤ大學に移り、一九〇九年卒業 B. A. を受けたるも尙同大學に止まり、國際法を專攻し、遂に M. A. 及 Ph. D. の學位を授けられた。一九〇八年唐紹儀氏が淸國特派大使として華盛頓に駐在した時、軍機大臣袁世凱は唐氏をして留學生中の秀才を物色せしめた。唐氏歸朝し當時尙在米中の顧氏を第一に推薦した。一九一二年民國政府萃りに顧氏に向つて速に歸國し任に總統の秘書に就かんことを命じ、其の歸るや直ちに內閣秘書兼總統秘書に任じた。時の總理大臣が辭職した際顧氏は外交部參事に轉じ、後內閣顧問代理となり、尋で更に內閣顧問となり、常に樞機に參與して居つた。外務部奉職中條約改正委員として其假議長となり、或は海牙萬國平和會議に參列し、或は海關改革案調査會及民國憲法起草委員會の爲に盡力した。一九一五年七月墨西古駐劄特命全權公使に任ぜられ、未だ任に赴かざる中に駐米公使に榮轉したのであつた。

外國留學者は其國を背景とす　米國式學問を受けた者必ずしも親米者とは言はれず、日本に留國した者の中で排日者たるものも少くないか、併し大體に於て親善の傾向あるは爭ふことが出來ない。外國の敎育を受けた者の價値は、其國の文明其國の勢力を背景として居るに在る。且つ敎育を施した國も亦直接間接に自國の敎育を受けた者を援助する。かくして自のづから親米者・親日者・親英者の

傳來の經驗を有つて居る。外國人は此貴重なる經驗を利用するでなければ、唯自己の科學的知識・文明的思想だけでは完全なる活動は出來ないのである。

此等の中國人は第一自國語を解する者でなければならぬ。又身元の確實なる者でなければならぬ。銀行の買辦の如きは其地位の重要なるだけそれだけ私曲を營む餘地も多くある。外國人は常に其奸曲に惱まされ買辦を使用しないで中國人と直接に取引することを主張して居る者もある位である。

かゝる使用人は自國的素養を要す

又此種の使用人は自國の事情を知り、自國の禮儀・作法・習慣等自國的生活に慣れた者の方が凡てに於て便利である。

かゝる素養を有する中國人は自國が特に養成した者でなければ、他に得ることが出來ない。乃ち自國の經營する學校は此方面に於ても頗る重要なる任務を有つて居る。

第四　自國政策遂行の援助者

顧維鈞氏出世の徑路

著者が本書の起草に著手したのは大正八年の二月であつた。時恰かも列國の講和委員巴里に會合して樽俎の折衝中であつた。俄然中國委員顧維鈞氏日中密約を暴露し、爲に我が使臣頗る苦境に陷つたといふことを聞いた。而して邦人は多く同氏を目して、親米者の錚々たるものとなし、其背後に某大國の援助あるかと疑つた。中國に於て外國留學者の重用せらるゝ有樣を記さ

列國は其海外政策として通商貿易主義を採り、其發展の手段として産業開發主義を採り、更に産業開發の手段として文化政策を採つて居るのである。

第三　自國人の使用人養成

外國銀行と買辨

中國に於ける外人經營の銀行には必ず中國人の買辨（Comprador）を使用して居る。此買辨は現金の出納を掌り、貨幣及手形の良否を鑑定し、又市況を視察し、取引先の信用を調査し、且つ中國銀行及中國商人に對しては其貸出の許否及利子の高低等は一に其意向に依つて決する。故に買辨は外國銀行に於ては頗る重要なる地位を占め、其人物手腕の如何は直に營業の盛衰に關係する。蓋し中國に於ける貨幣及手形の鑑定をなし、又は中國銀行及中國商人の信用を調査することは外國人に取りては極めて難事であるから、買辨は外國銀行には必要缺くべからざる一機關と謂ふべきである。

彼等傳來の經驗を利用

此くの如きは唯銀行のみに限らない。外國人が中國に於て商業に從事し、或は其他何れの方面に於て活動するにしても、必ず自己の補助者たる中國人を使傭するを要する。下は日常屋內雜役に使役するボーイ階級の者から、上は支配人顧問の如き者に至るまで、あらゆる階級の者を夫々の途に使傭するを要する。中國人は中國に關し數十年來、否數百年自然と鬪つて獲得した

つた。啻に自己發展の必要上止むなく他の領土を侵略するに至つたのみならず、自己國家の虛榮心より他國を領有するに至つたものさへあつた。伊太利のトリポリに於ける如き其例である。富豪の別莊に於けるが如く、別莊を有せざることが何となく富豪たるに缺くる所ある如く感ぜらるゝと同樣に、國家として殖民地を有せざることが何となく强國たるに缺くる所あるが如く感ぜられたのである。

此くの如く列强が爭うて領土獲得に力めた結果は遂には新に寸地尺土を得るにも容易でなくなつた。贏ち得たる土地の價値は其爲に費した所を償ふに足らなかつた。かくて列强の海外政策は變して平和の裡に國利の增進を圖る方法を取るに至つた。即ち通商貿易主義是れである。

然しながら此通商貿易主義も、唯に商品の優劣、價格の高低だけでは競爭することが出來なくなつた。恰も商賈が其得意先を爭ふ如く、列國は其販路擴張の必要上永久的に市場を設定する爲に特種の方法を講せざるを得ざるに至つた。是れ即ち產業開發主義の顯はれた所以である。

獨逸の山東に於ける例

獨逸の山東に於ける其一例を述べて見るに、獨逸は山東鐵道を利用し、其敷地の一隅に麥畑を作り、人造肥料を施したものと施さないものとを併栽し、沿線中國人をして肥料の效能を實地に就いて比較觀察せしめ、自國人造肥料の輸入を圖つて居つた。乃ち獨逸が中國の農業開發を助くる背後には自國の人造肥料を賣込まんとする企も伏在して居つたのである。

なる研究書を示された時に、同校の任務が啻に中國子弟を教育するに在るのみならず、又中國を科學的に研究し、以て中國開發に貢獻する所大なるものあるを感じてあつた。

教會學校と農業奬勵

宣教師が中國人の農業耕作を指導し其改良を圖つて居ることは、前章第一節に説いた所である。此農事改良の思想は彼等が經營して居る學校を通じて普及すること最も捷徑である。乃ち教會の經營する學校では近頃漸次農業科を設ける傾向がある。

左に南京大學の一例を擧げて見れば、同校では從來農業教育を施し來つたのであるが、一九一四年別に農業及造林科の分科大學を起し、修業年限を五箇年とし、卒業者には B. S. の學位を授ける。北京政府より毎年多額の補助金を受け、江蘇・江西・山東・安徽・雲南・貴州各省の地方政廳よりも補助せられ、學生は十八省中十四省の地方から集合して居る。右の外同校では養蠶試驗場を設け、時々養蠶の講習をなし、嘗て春季に於て十週間と夏季に四週間の講習會を開催してあつたが、春季の講習會には十二省より七十三名、夏期には十省より六十名の傳習生が集つたといふことである。

産業開發は通商貿易を助く

産業の開發は又牽いて通商貿易の發達を助けることゝなる。即ち通商貿易の發達を圖らんが爲に産業を開發して、其國の國本を培養し、以て其國民の購買力の增進を圖り自國市場を永久的に設定せんとすることは近頃列國海外政策の中心となつて居るのである。

列强の海外政策は

抑々十九世紀前半に於ける歐米列强の海外政策は、領土獲得主義が中心となつて居

にありとし、是に由て農業改良の必要を説き「或者の説によれば中國の農業は最も發達せるものにして、更に改善の餘地なしと雖も、是れ汽車旅行者の一過の觀察に過ぎず、甚だ誤れるものなり」とて一々引證して之を駁し、更に進んで「農業を改良する方法は種々あれども、交通機關の發達を圖り、農政機關を整理し、農業組合を起し、農事試驗場を設くる事最も緊要なるものなり」と。かくして農林科設立の趣旨を説き「獨逸の優越なる農業新法を敎へ、農政及農事試驗場に關係する者を養成して以て中國の農事改良を扶助する所あらんとす」と述べて居る。以上論ずる所は正當なる議論で中國の爲めに計つて忠實であり、毫も自己の利益を企圖するの野心を包藏し外面を虛飾したる言論とは思はれない。實際中國の爲に計つて忠實なるは亦自己の爲に計つて忠實なる所以となるのである。

人の爲めは自分の爲め

そは何故であるかといふに、中國の產業を開發し特に自國製造工業の原料品となるべき如き物資の生產を增加し、或は自國の缺如する食料品を此地より需むることが出來る樣にしたならば、啻に中國の爲に有益であるのみならず、又自國の爲にも有利である。即ち中國の爲に計つて忠實なるは又自己の爲に計つて忠實なる所以となるのである。そこで獨逸は山東省に於て或は落花生の栽培法を改良し、或は麥稈眞田の製作法を敎へ、或は山東牛の飼育を奬勵するなど、中國の產業を開發し因て以て中國と自國との經濟關係を密接にする方法を講じてあつた。著者曩に靑島が獨逸の領下にあつた當時、特別高等學堂を參觀し、同校農業科の敎員から山東省の特產物に關する浩瀚

を申出で、利益の横取を企てたけれども、英國の工業家は我れ先にと設備の寄附を申し出で、又太古洋行は三十萬弗、太古製糖會社は五萬弗、太洋汽船會社も五萬弗の寄附をしたといふことである。

第二　産業開發上の目的

青島高等學堂農林科設立の目的

青島特別高等學堂農林科の編纂に係る農學科報に於て、中國農産增加の必要を論じたる次第を摘記して見ると、先づ「現今中國の對外貿易は逆境に陷り、年に七千餘萬圓の輸入超過を來たし、中國の正貨は日に外國に流出して已まざる」を説き、「此狀態を持續すれば中國は遂に財政破綻の厄に瀕せん」事を警告し、「此の逆境より脫却せんには輸入を減少するか、輸出を增加するか、二途其一に出でざる可からざるも、輸入品の主なるものは工業上缺く可からざる器械類にして、中國現今の狀態を以てしては遽に其輸入を防遏する事能はざるが故に、勢ひ第二の方法、即ち輸出を增加する方法を取らざる可からず。輸出を增加するには實業を振興して、輸出品の主なる綿絲・茶・豆・麥稈眞田・獸皮等の產額を增加せん事を圖るにあり」と說き、以上の輸出品の各々に就いて現在の狀態を述べ、「今に於て生產法を改良するに非ずんば、次第に衰退を來たさん事」を警告し然る後實業振興策を講じて曰く「實業を振興せんには外資を利用し、外國の智力を藉りて之れが經營設備をなすべく、又地方農業を改良し農民を富ましめて其購買力を高め、製作品の消費場を開拓する

鐵道或は礦山等に其機械材料を供給し技師を派遣する利權を得んが爲めに、現今の如く之れを外交上の問題となし迂餘曲折の交渉を重ねる如き繁煩なる手段を用ふる必要がなくて、自然に上の如き利權を獲得するの方法として敎育事業は實に顯著なる效力あるのである。

列國は工業敎育に力を注ぐ　上述の如き理由によつて列國は主に工業敎育に力を注いで居る。獨逸は靑島特別高等學堂に工藝科を設け機械工業科・採礦冶金科・電氣工業科の三分科を置き、上海には同濟學堂に工科を併置し、英國の香港大學に於ては工業科及醫學科を設けて居るけれども、最も力を注いて居るのは工藝科で其器械室・標本室に備へてあるものは悉く自國商店の機械の模型標本或は設計圖である。

列國が工業敎育の外に力を注ぐ所のものは、醫學敎育で、其效果として期待する所は仁術傳授に對する感謝の辭を受けたる上に、更に醫療器械及藥品の購求を受け得ること、恰も我國の醫學と獨逸のそれとの關係の如くならしめんとするのであらう。

列國の商工業家も亦中國人に自國式の醫工業敎育を施す事は、自家に取つて有利なる事業なることを了解して居る。前に掲けた如くドクトル・ザルトマン氏は獨逸の商工業家に向ひ、英米商工業家の如く中國人敎育に對して資金を投じ、以て自己の利益を保護すべきを警告し、此投資は廣告料と見做すべきものなりと喝破し、又香港大學設立に際し、某米國商人は一手で一切の機械其他を寄附せん事

であつたから、就任するや直に前任者の獨逸に注文せんとした計劃を破棄して之を許さなかつた。而も其注文品に關する獨逸の見積は最も安價であつたのである。』と

斯くの如く一個人の向背が忽ち數百萬圓の貿易に影響した如きは、其事例甚だ多くあるまい。併し近き將來に於て、中國國運の進步と共に必ず興起すべき、鐵道・鑛山・製鐵・造船・造幣其他諸種の機械工業の經營者及技師が或一國に關する智識技能を有するがため、所要の機械或は材料を其國より需むる場合に想ひ到つたならば、其事例は例令多からずとも、其金額は實に莫大のものとなるであらう。玆に吾人の注意を要する事は、英・米・獨の諸工業は各々其特色を有し、其の製作せる機械にも亦各一定の典型があつて、其れに關する原理を了解し、其れを運用する技術を具へて居つても、直ちに以て他國の機械に應用する事出來ない事である。例へば英獨の如きは根本より尺度を異にし、其差異は所有ゆる機械に影響し、機械の原理は同一なるも其補助機に於て大差あるもの尠くない如きである。

然らば則ち今に於て、中國人に向ひ自國式工業に關する獨特の智識及技能を授け、以て自國式工業の典型に鑄込みたる經營者及技師を養成する事は、即ち將來中國に於ける各種工業界を占領する準備となるもので、假りに數年間の時日を費し、數百人を養成せるの勞を取れる結果僅かに唯一個處の工業會社の經營者を出し、其會社所要の材料及機械を自國より供給し得たりとするも、それに因て利する所は其數年間に費したる經費及勞力を償ふて餘りありと謂ふべきである。果して然らば中國に向ひ

右の表に由て觀れば、輸入總額に於ては革命前後に於て大差なく、而して列國の多くは一九一二年は一九一一年より却て減退せるに反し、獨り我邦は旭日隆々の勢を以て進みつゝあることがわかる。是れ蓋し革命の警鐘は中國舊來の宿睡を覺醒し、日本趣味の一時に傳播せる結果遂に經濟上に多大の影響を與ふるに到つたのである。斯かる事例は又吾邦の維新以後の思想の變遷と物質界の變化との關係を回想すれば、其理自ら明かとなる。吾邦が數百年來の鎖國の禁を解き、門戸を世界に開放して以來、西洋の文物駸々として進入し、爲に舊來の風俗習慣は打破せられ、文學美術其他百般の技藝に至るまで、一も改新せられざるはなく、從つて物質界に於ても小は個人の身邊の物より、大は社會の諸般の設備に至るまで、全く其面目を一新し、悉く西洋風尚を具へたる物貨を以て飾らるゝに至つたのは、全く西洋趣味傳來の然らしめた所に外ならないのである。

列國は自國の智識趣味の注入によりて自國の一般製作品の販路を擴張し得べき事を信じて居るが、就中列國の特に目指す所は日用品の如き零碎なるものよりは、鐵道・礦山・電氣業・造船等の如き大工業に使用せらるゝ諸機械及材料である。

ザルトマン氏見解の證左　ドクトル・ザルトマン氏は前記論文中敎育の效果に對する證左を掲げて曰く

『獨逸語の智識を有し、獨逸の影響を受けた津浦鐵道の前社長は、同鐵道材料を獨に逸向つて數百萬圓の注文をしてあつたが、其後任者は、英米の敎育を受けたもので、英米心醉家

國際經濟上に及ぼしたる效果を考ふるときは實に其の肯綮に中るを覺ゆるのである。

文化の輸入と貿易の關係

中國が以前吾國に盛に留學生を派遣し或は我が國の敎師を招聘して我が國の文明を吸收するに力めた結果、一度革命の烽火擧り、清朝斃れ、南北の妥協成立し、中國は稍少康を得てより以來我邦との貿易殊に隆昌を加へた。試に左に第一革命(一九一一年十月)を中心とし前後の年に於ける列國の中國に對する輸入狀態を比較せんに、

中國輸入額國別

年次	一九一二年	一九一一年	一九一〇年
輸入總額	両 四七三、〇九七、〇三一	両 一七一、五〇三、九四三	両 四六二、九六四、八九四
香港	一四七、八〇一、三六三	一四七、八〇一、三六三	一七一、四六五、九七四
英吉利本國	七四、五八六、一九六	八九、九九七、〇五一	七〇、九四九、一三七
獨逸	二一、一二九、九四七	二二、一二九、九四七	二一、三六七、七四八
佛蘭西	二、九三二、三七三	三、〇一八、三四三	二、七六〇、九三三
露西亞	二一、二三二、一六九	一七、二六五、六七一	一六、一四六、七四三
北米合衆國	三六、一九七、六七一	四〇、八二二、八五三	二四、七九九、四九四
日本	九一、〇一六、六五三	七九、五〇六、二七六	七六、七五五、五五九

を理解せり。獨逸政府は、既に中國に於ける、吾人の貿易を保護奬勵する爲め靑島に數千萬圓を投じたるも、尙商業上の基礎を確實ならしむる爲に、多くの資本を投ぜざる可からず。換言すれば中國に於て新たに生ずる需用に直接利害を有する吾人の工業及商業家は將來の利益を透視して、尙は多額の投資をなすの必要あり。此の多額の投資は廣告料と見做すべきものにして、將來多大なる利息を生ずること明瞭なり。

中國市場の現狀よりすれば、獨逸の製作品の位置は未だ基礎不定たるを免れず。吾人の子孫は、此の大なる市場を開拓し之れを英米の爲すが儘に委せざるの覺悟と、責任とを有せざるべからず。吾人は日本が異數の發達をなせる間、日本に對し着手を怠れり。斯る前轍のあるあり以て後車の戒めとなし、以て中國の發達に對して大に鑑みる所なかるべけんや。再言す、吾人は吾人の生產物を販賣する市場を準備する爲に資金を投ずる事を忘る可からず。

と述べ其論を結んである。

凡そ敎育とは一國内に於て、其國民を國家の要求するが如く陶冶する作用なりと考へて居る吾人に取つては、敎育が更に其權威を擴張して他國民に及び、之に因て他國民の心情は自國の要求するが如く涵養する如き國際間の作用として重要視せられ、而も其效果は經濟上に期待せらるゝといふに到つては或は奇異の感を起す人もあるかも知れぬ。けれども熟々外國の事情の傳授、風尙・趣味の播布が

て有效なる方法はあらず。蓋し中國人は文明及風尙にして模範とすべきものと認めたる他國の製造したる物品を需要する傾向を生じ、而して其言語を理解し得る國より、先づ第一に物品の購入をなすべければなり。外國の言語・風習及文明を一國に傳ふるの最良方法は學校なり。而して學校に對する勢力の關係は同時に又人民に對する勢力關係なり。然れども外國に於ける學校に對し自國の勢を及ぼし得る國は甚だ稀なるも、中國に於ては之を異なれり。中國政府及西洋文明の輸入に依て其開發を必要する中國の有識者は、開發の基礎は學校ならざるべからざる事を覺知し、第一に學校を建てざるべからざるを知れり。現時の如く財政狀態の窮迫せる時に當り、又教育に關する經驗の缺乏する時に當り、學校の增加及改善に關する各國の援助は中國政府の歡迎する所なり。而して學校の發達に對する援助は啻に中國に對する贊幣たることを意味するのみならず且つ援助國民の自己の利益に歸するものなり。

と、氏は更に進んで列國の施設に係る宗教學校の盛況なるを略說して、獨逸が他列國に比して、甚だ遜色あるを慨し、唯青島特別高等學堂の設立は、能く時機に適したるを賞賛し、尙ほ中國國中到る處に、獨逸學校の設立せられん事を希望し、最後に

此目的を達せんには戰爭と同じく幾多の巨資を要す。英國及米國には數百萬圓の私金を投ずるものあり。英米の商工業家は、中國の教育に向つて、大資本を投じ、以て自己の利益を保護すること

て、茲に劇烈なる競爭を惹起したれば、獨逸は勢ひ工業品の市場を吾人の大競爭者の著大なる影響を及ぼさざる地方に求むることは、目下の狀況に於て最大急務なりとす。斯くの如き土地としては主として南米及東亞、特に中國を擇ばざるべからず。而して中國は近來數千年來の宿睡を覺醒し、西洋文明を吸收するの氣運勃興し、社會の文物日に西洋的影響を受けつゝある有樣なれば、四億の人口を有する中國が其土地開拓せられ、農業改良せられ、工業發達し、生計昂上し、消費力の增加する曉には、如何に物品の需要增加し、外國工業品の市場として多望なるべきは逆睹するに難からず。

外國殊に英米國は斯くの如く有望なる市場を開拓すべき準備を怠らず。而して其方法に於ては實に驚嘆に値ずべきものあり。烱眼なる石油王ロックフェーラー氏は曰く「中國に於て石油の需要を增進せしめんとするには、數千のランプを極めて安價に賣るか、或は無償にて配與せざるべからず」と米國政府も此の原則を踏襲して、一九〇〇年の暴動に依る中國の賠償金を還附して、每年百名の中國學生を米國大學に派遣せしむる事を約し、又中國の發達に影響を及ぼす米國の特質風尙を中國に移殖せんとし、米人は一大資本を投じて米國趣味を帶びたる學校を中國に設置せり。是れ米人は米國の特質風習を播布する裏面に米國物品の輸入增加を洞察したればなり。實に市場準備に對しては、自國に關する智識を授け、自國の風尙趣味を播布し、殊に自國の言語を注入する程根本的にし

第一　通商貿易上の目的

青島高等學堂設立の目的

青島特別高等學堂設立の目的を見ると「此學校に於て養成したる中國青年をして、將來獨逸的觀念を以て世界を觀察せしめ、彼等の從來夢想だも爲さゞりし獨逸文明の進步を窺はしめ、他人の叙述を俟たずして自ら獨逸の事情を探窮せしめ、(前段)且新たに獲たる此等の智識に依りて、漸次增進する中國國民の物質的需要に對し、獨逸の市場を紹介せんとするにあり(後段)。」としてある。

前段は自國的の敎育を施したるに因りて齎らし得べき當然の結果として、何人も首肯する所であるけれども、後段の「且新たに獲たる智識によりて漸次增進する中國國民の物質的需要に對し獨逸の市場を紹介せんとす」といふ、效果に對しては世人の未だ多く注意せざる所であると思ふ。是れ即ち敎育の力によりて、對中國貿易の振興を圖らんと欲するものである。此點に就て、稍詳細に說論したのは、獨逸伯林商業會議所員ドクトル・ザルトマン氏の東亞ロイド週報に寄せた「獨逸國輸出の擴張に對する東亞市場の準備」(一九一二年)と題する一論文である。左に其の要旨を記す。

ザルトマン氏の見解

獨乙が工業立國の方針を取つて以來、其生產品を外國に輸出するの必要は從來に比して一層痛切に感ずるに至り、他の列國も亦自國品の販路を世界に需めんとしつゝあり

に約五千人に達すといふことである。

第六節　教育事業と列國政策との關係

教育施設と列國の競爭　歐米列國は中國に於て教育事業の施設で互に競爭しつゝあるが如き觀がある。英國が香港大學を起さうとかゝつたのは一九〇七年であり、米國が北淸事變の際の賠償金を提供しようと言ひ出したのは一九〇八年であり、又獨逸本國議會で青島特別高等學堂の設立案を議決したのも同じく一九〇八年である。又列國は敎會立學校に對して補助金を與へて居るばかりでなく、上に述べた如く直接政府の關係によつて學校を設け、年々多額の費用を投じて居る。

これから以下列國が箇程までに敎育事業に熱心であるのは何故であるか—如何なることを目的として敎育事業を施設するのであるかといふ問題を考究して見たいと思ふ。

政治的目的は時代錯誤　今から考へると隨分古臭い考ではあるが、或人は政治的に之を解釋して、中國人に向つて自國的敎育を施すことは政治的領土獲得の準備である、敎育といふ永續的作業に因て漸次に中國人の心裡に自國國民の性格を移植し、精神的に自國に同化せしめ、祖國を抛つて却て我に悅服せしむるが如く彼等を敎化懷柔するのであると思つて居つた人もあつた。今更領土侵畧主義を振り廻はすなどは所謂時代錯誤で、愚の甚しきものである。然らば列國の期待する所は何處にあるか。

公開圖書館の一例として湖北省武昌にある文華大學の附屬公開圖書館を擧げる。

本館はウッド女史（Miss M. E. Wood）が一八九九年當地に來り、諸處奔走して資金を集め、一九一〇年に至り開設したもので、現に英書七千部、中國書九千部合計一萬六千部を藏し、無料で一般中國人に縱覽を許し、尙此外地方巡回文庫の制を設けて二十二箇處を順次巡回せしめて居る。

濟南齊魯大學廣智院

公開博物館の白眉として山東濟南府の齊魯大學の附屬廣智院を擧げなければならぬ。

本館の目的は「中國をして西洋文明の誤解を去り、クリスト敎信仰の眞性質を知らしめ、個人的及國民的生活の改良に資せんとするものであつて、特に中國を開發し、衞生保健の智識を進め、東西の親睦を計り、相互の理會をなさしめんか爲に、各國產業の如何なる狀態にあるかを知らしめ、又各人類の文明道德を明かにし、人類生活の狀態に通せしめんとするに在る」と標榜して居る。

陳列物は博物標本・地球儀・歷史掛圖・模型・地文・地質・天文・海運・交通・科學應用の圖書・標本模型・病理衞生・世界人類・敎會模型・病院模型等であつて、其大部分は當院長手づから製作したもので、其黃河鐵橋橫斷面・森林有無の結果・模範林・病氣の原因などを示す爲の直觀設備の如きは無學の者でも、直ちに科學の威力の恐るべきことを了解することが出來る。觀覽人員は一九〇五年以來約三百四十萬人で、每日六百乃至千人の入場者あり、學生も年々一萬五千人も來觀し、日本人も年

其目的とする所は、中國少年に軍事的訓練を施すといふのではなく、全く教育的見地から體育・智育・德育の涵養を目的とするに在る。特に服從・自信の精神を養ひ、觀察を精確にし、愛國・同情の國家的世界的精神を喚起し、又諸種の實用的技能を體得せしめんとするのであると宣言して居る。

全協會を本部及支部に分ち、本部は上海に支部は上海・廣東・南京・漢口・北京・天津・蘇州の七箇處に置いて居る。本會の趣旨に贊成する者は何人でも入會することが出來る。一九一五年に於て總人員千二百人に達し居る。

上海支部は全國中最も活氣を呈し、總員五百三十四名あり、廣東支部は三百三十四名を有して居る。北京支部は淸華學校及クリスト敎青年會が其編成に斡旋し、北中國に於ける模範となつて居る。漢口支部は博學書院（Griffth Jonn College）之が中心となり、武昌は文華大學（Boone University）が中心となつて居る。南京支部は蘇州大學が中心となつて活動して居る。

圖書館及博物館

外國人の經營して居る圖書館・博物館は獨立したものは一つもなく、凡て敎會の學校或は病院に附屬したものである。大きな學校では大概兩つとも設けて居る。中には自分の學校の生徒ばかりでなく一般に公開して居る所もある。

武昌文華大學開公圖書館

同會の寄宿舍に居る者は殆んど聖典科に出席して居る。一九一六年に於て全國各青年會の經營する學校に在籍せる生徒は約五千四百人に達し、其內晝間學校に屬する者約二千八、夜學校に屬する者約三千四百人あつたといふことである。

五、體育奬勵　各地青年會に體育部を置き、國民の體育を奬勵し、强健なる國民を養ふを目的とし體育に關する講演をなし、又「柔軟體操」「體操釋明」の二書を發刊して其普及に力めて居る。現今は先つ專ら體育專門家を養成し、體育の普及奬勵に當らしめんとし、目下上海の江蘇省敎育會內に體育傳習所を設け、各縣より二名宛選拔し養成しつゝある。

六、各地青年會幹事養成　上海の本部に各地青年會の幹事に當る者を養成せんが爲め「中國クリスト敎青年會幹事養成專門學校體育科」を設け、其修業年限を四箇年とし、一九一六年までに二百名の卒業を出して居る。

中國少年義勇團協會

一九一三年の春上海の「パブリック・スクール」の校長ケンプ氏は中國少年義勇團を組織する目的で同好の士を糾合し、先づ之を學校の生徒間に勸めて見た所が、此主唱は大に中國上下の輿論を喚起し、遂に一九一五年五月上海で開かれた「極東オリンピック競技會」の開會を機として、之が役員會を開き、其決議により同年十月に至り玆に中國少年義勇團協會の成立を見るに至つたのである。

二、圖書雜誌の出版　青年の智德を進め人格の修養に努むる目的を以て圖書雜誌の編譯出版をして居る。旣刊書籍は聖經硏究・傳記・體育・信仰及修養等の類で、一九一六年出版種類二十餘種・部數約十九萬、頁數約七百五十萬に達してゐる。

此外月刊雜誌「進步」（道德・科學・敎育の雜誌）、「中文靑年」（宗敎書）及「英文靑年」の三部を發行して居る。

三、學生の指導　上海の總務部に學生部を設け、各地の學校及靑年會の聯絡を圖り、又は各地を巡回視察して之を指導し、又留學生に關する事務を掌つて居る。全國に於ける學生會の數は一九一六年に於て百四十三に達し、此等は大部分クリスト敎學校と連絡を取つて居る。各地靑年會の寄宿舍は大槪此等學生及歸朝留學生の寄宿舍となつて居る。

又近來歸朝又は留學する學生數益々增加するに由り、其便益を計り留學せんとする者には豫備敎育を施し、或は旅行免狀取得の世話、旅裝準備、留學先の學校への紹介等をやつて居る。一九一六年中に斡旋した留學生は百三十六人に達すといふことである。

四、敎育事業　全國二十九箇處の內、九箇處は晝間學校を、十九箇は夜學校を經營し、其晝間學校は普通の敎會立學校と同樣であつて、其夜學校は殆んど凡て英語敎授を主として居る。但し若干の處では一般の希望に從ひ、英語の外商業及理科をも敎へて居る。又別に隨意科として聖典科がある。

知事自ら其司會者となり、高級官吏數多傍聽し、講演終つた後彼等は會議を開いて、此教育事業を省內の凡ての大都市に普及せんことを依頼せんと決議した位である。從つて其勢力の發展も頗る迅速で創立以來二十餘年の間に中國全國で會員は二萬八千人に達し、上海だけでも千六百名を有して居る。會館は左の二十九箇所にある。

北京・天津・保定・奉天・安東・岫巖・吉林・濟南・威海衞・芝罘・開封・太原・南京・上海・福州・興化・杭州・武昌・漢口・長沙・西安・成都・香港・雲南・廣東・厦門・汕頭・南昌・廣州

次に此青年會の事業の主なるものを述べる。

一、講演　講演部を設け之を敎育・農林・衞生・圖像・理科の五科に分ち、科學機械及幻燈等を備へ隨時に講演會を開き、敎育科に於ては世界各國の敎育を比較して敎育の重視すべきを說き、農林科に於ては全國の農林事業を奬勵し、天災地變に備へ、民衆の恒產を增すの趣旨を普及し、衞生科に於ては標本及幻燈を以て衞生思想を皷吹し、圖像科に於ては圖解・幻燈其他の實物を以て智德體育上の講演をなし、理科に於ては航空術・無線電信・高溫・電氣及磁氣などと云ふ題目で理科的思想の普及を圖つて居る。

一九一六年に全中國に亘り五百十四箇處で講演し、十六萬五千餘人の傍聽者を吸收したといふことである。

恐るべきものがある。其事業の種類は、圖書館・博物館・講演・圖書雜誌の出版、新聞の發刊等で此等は布教とか學校とかに附帶してやつて居るのであるが、主として社會教育を主なる目的として活動して居るものがある。それは中國クリスト教青年會（Young Men's Christian Society of China）及中國少年義勇團協會（China Boy Scouts Association）である。

中國クリスト教青年會　事務所上海

一體クリスト教會へは中國の中流以上の者は寄り付くことを潔しとしない。併し教會の方から云へば教化の效果は下層の者よりは上層の者に於て大なるべきこと言ふまでもない。そこで上層者の間に布教する第一歩として、兎に角先つ彼等を自分の方に引附けなければならぬ。其引附策として此クリスト教青年會は重大なる任務を有つて居る。

本會の目的とする所は、各教會と共同してクリスト教の傳播を補助し、中國青年に熱烈なる信仰心を喚起せしむるに在りとしてあるけれども、實際は本會には宗教教育を强ひない凡て隨意としてある。且つ本會の事業の主なるものは講演・體育・圖書閱覽等であつて、會員には會食・玉突・屋內運動場・圖書館・新聞縱覽所其他諸種の娛樂機關を具へて、自然に其會館に出入せしむる機會を作り、又一般市民の爲めには時々通俗講演會・幻燈會等を催し市民に好感を與へて居る。

それであるから本會は一般官民の氣受頗るよろしく、嘗て吉林で本會の講演が開かれた時の如きは

といふことである。

其後海外に派遣した留學生が漸次歸朝するに從つて外國人敎師も漸次減少して、現今では敎育方面では一、二人陸軍の學校に居るばかりで、殆んど居らぬと云つてもよい位である。然し他の海關とか、政治顧問とか、工業上の技師とかはまだ澤山居る。參考の爲各方面の傭聘外國人數(一九一三年)を擧げて見ると、

英國人	一、一〇五名	佛國人	一、〇〇三名
獨逸人	五三三	日本人	二〇七
米國人	二七四	白國人	一七一
伊太利人	七五	墺國人	五九
其他	一七一		
計	三、九四八		

で其内中國海關に居る外國人數は三九九名である。

第五節　社會敎育

外國人の經營して居る社會敎育事業も殆んど皆クリスト敎傳道の附帶事業であるが、なか〳〵前途

第四節　傭聘外國人教師

日露戰爭後中國が大に覺醒をして外國の文明を學ばうとし、範を我が國に取らうとした時、一面に於て海外に留學生を派遣し、一面に於て外國殊に我が國より多數の教師を傭聘した。其當時が傭聘外國人教師の最も多い時代である。其時天津の北洋師範學堂に招聘されて居られた現早稻田大學教授の中島半次郎氏の編纂せられた「日清間の教育關係」に依り、一九〇九年の調査に係る傭聘外國人教師數の統計を掲げると、

日本人	三一一人（男 二八八 女 二三）
英米人	三六
獨逸人	三（男 二 女 一）
佛國人	三
露國人	一
瑞典人	一
丁抹人	一
計	三五六

の發達を圖るに在る。會員は直隷・山東・陝西・安徽・湖北・湖南・江西・四川・浙江・福建・廣東及滿洲の敎會學校の外國人及中國人の敎師から成つて居る。本協會から學校敎科書及年四回の「敎育評論」が發行されて居る。

東中國敎育協會（East China Educational Association）事務所上海

前記中國敎育協會の一支部であつて、本會に關聯して英語敎授聲音學研究會がある。會長は南京金陵大學總長ボーエン博士で、毎年二月上海・漢口・蘇州・南京の中の一に會合することゝなつて居る。

西中國クリスト敎敎育組合（West China Christian Educational Union.）事務所四川省成都

本組合は前の中國敎育協會と同じ組織のものであるが、唯四州省のみの敎育者の會合である點に於て違つて居る。關係諸學校の各種事業を斡旋し、又中國政府敎育部の方針に合致せんことを勉め、屢々會報を發行して敎育事業に關する重要なる事件に就て組合に報告することゝなつて居る。

中部中國クリスト敎敎育組合(Central China Christian Educational Union)事務所湖北省武昌

河南・湖北・湖南・江西・安徽のクリスト敎敎育家によつて組織せられ、本會の目的は關係諸學校の敎科課程を作製し、又毎年卒業生徒の檢定試驗を行ふに在る。

右の外同樣の性質を有する地方的の會合には陝西敎育協會・福建敎育協會・湖南敎育協會・江蘇敎育協會・廣東敎育協會・山東河南クリスト敎敎育會がある。

聞く所によれば前清政府より一箇年三千兩の補助があつたと云ふ。露國の中國人教育に對する施設は甚だ微々たるもので、嘗て東清鐵道の從事員を養成する目的を以て北京に建てられてあつたものと、哈爾賓に露支兩國人を同一學級に收容する商業學校があるばかりである。

第三節　教育團體

緒言の末に掲げた學校表に載せたものは、歐米各國の多數の教會によつて設立せられたもので、此等の學校の教育問題については、もと各教會單獨に研究しつゝあつたのであるが、近來は、各國各教會互に協同して其教育事業の統一を圖らうとする運動が起つて、玆に多くの教育團體が組織せられた。現今此種團體の問題となつて居るのは、小學及中學の學科課程の統一、及諸學校に對する視學制度の設置などであつて、又或團體では、其關係學校の發行する卒業證書及學位免狀に中國政府教育部の押印を得んとする運動などもある。此種教育團體の內、最も多くの地方を網羅するものは中國教育協會である。

中國教育協會（Educational Association of China.）（事務所上海聖約翰大學）同大學總長ポット博士（F.L. Hawks Pott, D. D.）其會長となつて居る。本協會の目的はクリスト教教育は其接觸する人間にクリスト的性格を陶冶するを本旨とし、本會員は此本旨を體し、互に和親協同して中國に於ける教育

（一）豫科は醫科及工科に入る豫備門で、修業年限四箇年である。學科目には普通中學課程の外に獨文及羅甸語を加へて居る。

（二）醫科　修業年限は五箇年で、始の三箇年は醫學・薬學に關ずる講義を課し、其後の二箇年は附屬同濟病院で臨床實習に當らしめる。

（三）工科　修業年限は四箇年で、機械科・電氣科・鐵道科の三科に分つてある。

（四）教員及學生　現在の校長はフォン・シャープ博士(Prof. Von Schab)で、其下に醫科に十八人・工科に八人・豫科に一人の專任教師を置き、講師として隨時上海在住の獨逸人を囑託する。生徒は此次の歐洲戰爭勃發當時は三百六十九人あつたといふ。

第四　佛露政府の設立學校

佛國政府の中國に對する教育事業は唯だ北京に法文學堂（中國にては佛國を法國といふ。法文學堂を日本的に言へば佛文學校となる）を設けて居るばかりである。同學堂は佛人吉善の設立する所で、千八百九十一年の開校に係る。一九一二年の調査に依ると、當時校長は吉氏で教員は佛人八名・獨人一名・中國人七名で、學生三百餘人あり、卒業生五百人以上を出したと云ふ。學科は小學・中學・大學の三等に分たれ、小學・中學は普通科である。大學と稱するものも、高等普通科で專門科ではない。

に缺くべからずして、二者の普及に就ては我獨逸人の任務大なりとす。

此任務を實行せんが爲め、我獨逸人は四年前上海に醫學堂を設立せしが、入學の希望者は年々其數を增し其成績頗る良好なるに乘じ、余は中國に最も缺乏せる技師養成を思ひ立ち、之を醫學堂內に設立する事とし、中國の靑年をして自國領土內に在りて歐洲專門學校に留學すると同じく、工業に關する總ての學科を根本的に學修するを得せしむる計劃なり。

新設工科の目的は中國の靑年に必要なる技術を授くるに在りて、科目は機械・電氣及鐵道建設なりとす。入學生は先づ獨乙語及普通學の學修を要するを以て之に三年を配し、習熟後一年間は學生の爲めに特設したる最近進步の諸機械を備へたる工場に入り、各種の機械構造及其の組立に就き受持敎師より學理的及實地的說明と運用とを授けらるべく、又學生自身をして敎師指導の下に小機械を製造・組立運用せしむべし。其後猶二年間（一週一回宛實習所に於て實習せしむ）此等の學科に就き更に高尙なる學理を敎ふ。本校に於て重きを實習に置くは、東洋學生の通弊として學理に長じて實地に短に、學校を卒業して何等運用の技能なきが故なり。本校卒業期限は前後六年なるも、獨乙語普通學科の外各種の技術に就き學理と實地とを兼修し、中國現代の要求する最も有用なる適材を養成せんとするは、これ決して長期と云ふべからずと。

三、學科にはに豫科・醫科及工科とある。

は學校の設立に關し、中國政府と交渉する際、學校の目的は中國青年をして獨逸化せしむるものにあらず、反つて獨逸の事情に通曉せしむると同時に、祖國の文明・學問及其國體を尊重するの氣風を涵養するにある、換言すれば近世的敎育を有する愛國的中國人を養成するを目的として經營する實證として、前記學校内に於ける布敎禁止の規定を學校設立規則中に特筆する外、中國文及中國自體に關する敎育を施し、其施行事務は一切之を中國側に委ねて毫も之に干渉しなかつた如きは、以て他山の石となすべきである。

乙　同濟德文醫工學堂（Deutsche Medizin und Ingenieur S.）上海佛租界

一、沿革　其創立は一九〇二年で、創立當時は醫學堂ばかりであつたが、一九一二年から工科を新設した。

二、設立の趣旨　當學堂長フォン・シラアルフ博士（Prof Von Schuarff）は左の趣意書を發表した。

泰西の學術中最も中國人の興味を有する學科は醫學及技術の二者に若くものなし。苟くも中國の開發に志ある者は、中國人は先づ此の二學を根本的に學修するを必要とするに一致せり。醫學の普及は、年々中國に傳播流行して夥多の生命財産を奪ふ肺結核・ペスト・虎列刺・癩病其他の惡疫を驅逐撲滅するに缺くべからず。技師の養成は目下中國の各方面に隆盛なる鐵道の建設、鑛山の開掘

者に至つては枚擧するに遑あらざる有様であつた。此等大官の子弟及地方關係者の子弟で當校に入學する者は頗る多かつた。

五、教育の方針　當校は上述の如く一人の中國學務監督があつて、常に學事を監督するのみならず、山東省又は北京學務部は臨時に出張監視し、又北京學務部は代表者を派遣して臨席試驗せしめ、其卒業證書には學校長及學務監督の連署を要するなど獨逸側は讓歩する所頗る多く、爲めに獨逸人の一部に於ては其餘りに屈讓に失するを慨嘆し、政府の措置に對して批難の聲高かつたが、當時膠州灣政廳職員中中國通の白眉として中國人係の事務官たりしドクトル、シユラーマイヤー氏は對中國策の秘訣なる「事なかれ主義」を持して名を捨てゝ實を取ることの有利なるを切に勸告したから、政府當局者も論者の批難に耳を貸さず、學校設立規則に關する協約を締結したのは獨逸外交の一成功たるを失はない。上記の承諾を中國に與へた報酬として、中國政府は特に此學校を公認し、其卒業生は從來英米宣教師の設立せる各種專門學校卒業生に賦與されなかつた特權を有つて居る。即ち高等科卒業生は進んで北京大學に入學することを得、又大學卒業後は一定の稱號を受け、而して同大學に入學する事能はざる者又は之を欲せざる者は稱號を受くる事能はざるも、官吏に採用せらるべき資格を有つて居る。又學校規則は學校内の布教を嚴禁して居る。これ中國當局者は宗教學校は中國の國民道德を破壞し、祖國の舊慣を打破するものと認めたのによるのである。是に於て獨逸政府

湖南省	一八人	一一人
江西省	三人	八人
廣西省	二人	—
貴州省	三人	—
山東省	九六人	三七人
浙江省	三一人	一三人
計	三四〇人	一〇二人

良家の子弟で且つ天禀優秀なる者を選擇する方法は、前述の外更に有力なる一法を取つて居つた。それは革命亂以來、或は一身を托すべき好個の避難地として、或は安全なる政治上の策源地として、靑島に來集せる中國大官の子弟の入學を慫慂し、尙此等大官を介して中國各地に於ける其關係者と連絡を取り、以て英才の糾合に務めつゝあつたのである。試に當時靑島在住の大官の名を擧げると恭親王　周馥(舊三東巡撫)・趙爾巽(東三省總督)・趙爾華(趙爾巽の弟)・徐世昌(軍機大臣)・徐世光(徐世昌の弟)・張人駿(兩江總督)・李經義(雲貴總督)・李經邁(李鴻章の相續人)・吳郁生(軍機大臣)・呂海寰　外務大臣)・陳夢龍(直隷總督)・于式枚(獨逸憲政視察大臣)　楊度日本留學生監督)・李家駒(日本憲政視察大臣)・陸潤庠(宣統帝師傅)・周學熙(財政總長)等で。此等の亞流たる

實業家等で、此會合に於て獨逸の中國人教育に關する重要問題を協定し、其結果に據り一致協力して生徒の募集其他に盡力して居つたのである。又中國重要の都市例へば北京・天津・濟南・漢口・南京・上海等に設けられてある獨華學堂は、一面には此學校の豫備校たる役目をなし、此等の學校に於て優秀なる學生を選拔し青島に送ることになつて居つた。試に千九百一〇年及千九百一二年に於ける同校生徒の出身地を擧げると左の通りである。

	一九一二年	一九一〇年
安徽省	一〇人	四人
河南省	二人	一人
湖北省	一一人	三人
江蘇省	三四人	七人
廣東省	七七人	五人
東三省	五人	一人
四川省	一三人	六人
直隷省	一七人	一〇人
福建省	一八人	六人

名の師範學校卒業生の外は悉く博士又は學士である。中國人敎員は上述の學務監督の外に中國文・中國倫理・中國歷史及地理を擔任する敎師八名・通譯員八名（專任七名・兼任一名）譯書局員（兼任）二名である。此等は皆山東省敎育司の選任に係る。獨逸政府は特に材能ありと認むる中國人を敎師に推薦することを妨げないけれども、其任命に先ちて中國政府は其資格を審査し採否を決定するの權利を保留して居る。而して其俸給は當校より支辨する規定である。

四、學生　生徒入學條件は豫備科入學者は年齡十三歲以上、高等小學校の課程修了者中より山東省敎育司或は他の學務公署之を推薦する。獨逸官憲が生徒を推薦せんとする時は、山東敎育司に於て其學力を詮考し、高等小學卒業と同一の學力ありと認むる場合に限り入學を許可する規定であるけれども、此れ名義のみで實際は獨逸側の爲すがまゝに放任して居つた。

高等科入學者は豫備科又は他の中等學校卒業者で入學試驗に及第した者たるを要する。然れども其高等科生たると豫備科生たるとを問はず、其出身地に制限なく、成るべく廣く各省の人材を吸收せんことを務めつゝあつた。其吸收策としては、各地在住の獨逸官民は一致して之に盡力することとし、又これが爲めに、中國各地に設立せられてある中國人敎育の諸學校を連絡統一するの必要ありとなし、一九一三年中國人敎育評議會なるものを新設しその第一回を上海に、第二回を青島に開いた。議員は皆中國各地在住の有力者、例へば領事・中國政府に招聘せられたる軍人、敎育者又は大

三年で他は皆四年である。學科課程は吾邦に於ける相當の高等專門學校に類し、敎授用語は中國に關する學問のものは中國語を以てし、其他の學科目はるべく成獨逸語を以てすることゝなつて居た。下級に於ては通譯附で敎授をして居つた。其校名に特に冠するに「特別」の二字を以てした所以は、中國各地に於ける高等學堂と其程度資格を異にせるを標榜せるものである。

實習所は工藝科の爲には海軍造船所・鐵道工場及鑛業會社工場を以て之に充て、醫科の爲にはハーバート病院を以て、農林科の爲には山林局の試驗場及當校專屬の農事實習場（靑島を去る五哩の李村に在る）を以てする。高等科・豫備科の外速成科を設けて居る。これは中國側中學校卒業者にして獨逸語の素養なきものに一箇年間獨逸語を授け以て高等科入學の資格を作らしむる所である。又學校內に譯書局が有つて、當校監督の事務を助け又獨逸語の敎科書或は其他一般に有益なる書籍を中國文に譯成して學校敎授用に供し、或は一般中國人間に獨逸學を普及せんとする所である。

三、職員組織　學校長は獨逸政府の任命する所で、學校の事務全般を總理する。此外中國側に於て任命する學務總監督があつて、其任務は學校の事務執行が果して兩國間に協定せられた同校設立規則に適合するや否やを監視し中國政府に對して之に關する報告をなし、中國人敎師を監督し、學生の品行及成績を調査するにある。其他の獨逸人職員は專任十五人、兼任十一人（此中、譯書局職員二名あつて其他は政廳の裁判官・事務官・技師及軍人等である）で專任者の資格は豫備科敎師たる五

一、沿革　青島は獨逸が中國經營の根據地として每年巨額の費用を投じ海陸諸般の設備をなすと雖も利する所は失ふ所に及ばざる有樣であつたから、其經營方法に關しては官民の間に論議せらるゝこと多かつたけれども、獨り青島特別高等學堂のみは全中國に於て最も成功せる事業の一として獨逸官民の擧つて賞揚する所であつた。千九百〇八年春、當校設立案が獨逸帝國議會に提出せられた當時に於ては、特に調査委員を派遣して實地にこれを審査せしめた後始めて可決せるなど頗る愼重の態度に出で（此時設立準備に要する費用として五萬麻の支出を可決した）、在中國獨逸人は又此設立の報道に接して盛に本國政府の不明を歎息攻擊して止まざる如き有樣であつたが、越えて翌年千九百〇九年に至つては當局者も曩に豫算に計上した經費の餘りに過小なりしを自覺し、改めて一時金六十四萬麻及經常費二十萬麻とし、在中國獨逸人も亦其對中國經營上事宜を得たるものなることを諒解するに至つた。

當校は獨淸兩國政府の共同經營で、淸國政府は創立に際して四萬麻を支出し、尙爾後十箇年間每年四萬麻を支出し、それ以後の事は追て協議するといふ約束であつた。

二、學科は別つて高等科・豫備科の二科となし、豫備科の修業年限は五年で中等程度の課業を授け卒業の後高等科に入る。高等科は分つて法政科・醫學科・工藝科及農林科の四分科となし、工藝科は更に建築學門・機械・電氣工學門及採礦・冶金學門の三門に分たれ、修業年限は法政科及農林科は

清華學校の外宗教に關係なき學校にして米國人の設立に係るもので厦門同文書院がある。一八九八年の創立で米國領事督辨となり、稅關長幇辨となり、中國一流の紳商九人及米國人董事たり、中學及商業科を設け學生三百餘人あるとこふことである。

第三　獨逸政府設立學校

獨逸の中國經營は曩の歐洲大戰爭によつて一時頓挫を來した。青島も我が國に占領せられ、當時設立した青島特別高等學堂も廢校となり、其校舍は我が山東鐵道營業部の事務所に充てられた。されば今に於て獨逸政府設立の學校殊に此青島特別高等學堂を說くのは不必要の感があるが、併し本書は學校施設の現狀其ものよりは、其施設の目的を考究するのが主眼であるから、獨逸が戰前如何なる目的を以て當學堂を施設したかを考究するには、此學堂は最も貴重なる資料である。且つ當學堂は廢校になつたけれども、當學堂の趣旨は其儘移して上海の同濟德文醫工學堂に併合されたから、形式は無くなつたけれども精神は今尙昔の儘保存されてある。（此の同濟德文醫工學堂も中國參戰以來閉鎖された）かゝる理由によつて當學堂のことは比較的詳細に述べることにする。

甲　青島特別高等學堂（Tsingtao Spezifische Höchere S.）

閲書室等採光採煖に注意し、中國に於ける模範たらしめんとするやの概がある。藏書の如き我新設の大學までは到底及ばないといふことである。

體育場　體育は本校の最も重要視する所で、體操場・競走場・テニスコート・野球グラウンド・フットボール、グラウンド等より、游泳場・浴場・器械體操場等一として備はらざるなき有樣である。又構外所屬の野原では、乘馬・氷滑・童子軍演習等をする便宜を與へて居る。

其他博物館があつて諸種の參考品を陳列し、病院は特に學生の爲に診察所・病室を設備し專任の醫師を置いて、隨時學生を診察せしめて居る。學資監督及貯金銀行の制を設け、學資の收支を監督すること恰も官廳の會計の如くし、餘裕あれば必ず中華學生貯蓄銀行に預け入れしめる。

學生自治會を組織して學生生活を自治制により訓練し、種々の社會的事務に當らしめ、他日米國の社會に入るの準備をして居る。卒業者の間には同窓會を設けて居る。又學報・季報・週報を發刊し學生各自の所見を自由に發表せしめると共に、米國の事情及思想を紹介して居る。

又プリンストン大學敎授マクエルセイ氏を始めとし米國の諸大學の講師との間に交換敎授を行ひ、米國の新思潮を注入するに力めて居る。

乙　廈門同書院

高等科　國文講讀・文學史・閱書・作文・英文・英文修辭作文・數學・倫理學史・化學・法制史・手工・體育を必修科とし・物理・米國史・地理・佛語・獨語・拉丁語・を隨意科としてある。

高等科を卒業した者は米本國の大學に入學し得るは勿論であつて、此中等・高等及米本國の大學は一つの米國の大學系統を成して居る。敎授用語は大部分は英語で、中國文の如きは一週二三時間に過ぎない。其他敎員組織及寄宿舍の如き、本校諸般の施設は一に中國に於て米國式敎育を施すといふ方針から出たものである。

三、敎員及學生　校長は周詒春氏、副校長は趙國材氏で共に上海聖約翰大學卒業後米國に留學した人である。外國文部敎員三十三名中十五名の西洋人は凡て米國人で、其半數は婦人である。而して大部分は米國著名の博士である。他の十八名の中國人敎員は米國大學又は上海聖約翰大學の出身者である。

現在生徒數は五百六十三名に達し、内中等科三百三十名、高等科二百三十三名ある。本校友（卒業生さ同一の待遇を受くる者）で米國に留學して居る者二百六十七人ある。内十九名は女子である。

四、本校施設の大要　本校の設備は到底我が國に於て見る能はざる程完備したものである。

圖書館　米國最新式の設計によつて建てられたもので、保存上・檢索上・運搬上最も便利を極め、

との二案を立て、米國政府の承諾を得、翌年一九〇九年八月北京に於て嚴重なる試驗を行ひ、六百三十八人中より四十八人を選拔し、十月第一次の留學生を派遣したのである。豫備學校の方は、創立委員長として周自齊、副委員長として唐國安、范源濂及其他の委員を命じて其設立に當らしめ、一九〇九年より此淸華學校を開始することに決定したのである。所が校舍の建築工事が延引した等の事情によつて、愈々授業を開始したのは一九一一年の五月であるから、本校は此時に創立されたとするが本當である。

淸華學校といふ名稱を附けたのは、本校が元と淸華宮といつて、道光帝第五王子端親王の邸宅のあつた場處に設けられたからである。北京西直門より約四哩、萬壽山に至る中途にある。西直門外の京張鐵道停車場より汽車に乘り約十五分で到著する。學校の敷地は約十萬坪、苑內池あり小山あり莊麗ある淸華宮を以て之に配し、眞に理想的の學苑である。

二、學科及教育方針　中等高等の兩科に分ち、修業年限は共に四箇年である。中等科は卽ち中學程度で北京附近の學生が入學して居る。高等科は大學の豫備門で中等科を卒業した者、又は各省から弘く省長の推薦した者を收容して居る。學科目は、

中等科　修身・國文・講讀・作文・習字・歷史・地理・英文・數學・博物・圖畫・體育・兵式體操・童子軍・講演

此學校は中國外交部の直轄であるけれども、其實權は北米合衆國政府の掌握する所である。其故は米國が彼の北清事變賠償金の未償還額全部千〇七十八萬五千二百八十六弗を中國政府に提供する代償として之を他の國費に使用することを許さず、悉く米國に留學する學生の費用に充當せんことを約し、中國政府は此約束に依つて年々米國に留學生を送ると共に、之が準備學校として本校を創設し、其資金は全部米國官憲の監督を受けて居るのであるから、本校は形式に於ては中國政府の學校であるけれども、實質に於ては米國政府の經營に屬し、米國大學の豫備校を以て目すべきものである。左に同校の概略を述べる。

一、沿革　一九〇八年七月十一日當時の中國駐在北米公使ロックヒル氏から當時の外務大臣慶親王に宛て手紙を以て「此度米國政府は北清事變の賠償金として受取るべき二千四百四十四萬七百七十八弗の内より、既に受取つた千三百六十五萬五千四百九十二弗を引去り、其剩餘金を全部中國に返還す」といふ次第を正式に通告した。因て慶親王より其月の十四日直に回答を發し「從來中國から米國に送つた留學生の結果は甚た良好であつたから、中國は此度の米國の提議を受くるを名譽とし、爾後其金を以て中國から米國に留學生を送る」といふことを申送つた。かくして中國政府は留學生を派遣する方法として、第一に各省より適當なる人物を試驗の上選拔し、最初の四箇年間は毎年百人づゝ、第五年目からは毎年五十人づゝ派遣すること、第二に留學生の豫備教育の學校を設くるこ

四、中國文
五、純粹數學
六、應用數學
七、經濟理論及統計學
八、經濟史及憲法史
九、商法及商業實施（簿記及商業組織を含む）
十、記載的經濟學（農業・商業・工業・運送・銀行等）
十一、財政學及行政學
十二、國際法及法律學

因に當大學の設備に關し、某米國人は一手にて一切の機械其他を寄附せんことを申出であつたが之を聞いた英國商店は我先にと設備の寄附を申出でたといふことである。又某英國人は創立當時既に其卒業者若干名を採用せんことを申込んだといふことである。

第二　米國政府設立に準ずる學校

甲　清華學校（北京西直門外約四哩の處に在り）

燃料試驗室　　電氣工學實驗室
Viker 實驗室（材料强弱）　　蒸氣實驗室
應用器械學實驗室　　技師工場
動水學實驗室　　物理學實驗室
木工場
化學實驗室

である。實習は地方商館と交渉し、夏季休業中商館の工場を利用して行ふことになつて居る。

（三）文科　一九一三年八月始めて設置せられたもので、官吏又は商人たらんと欲する者を養成する目的である。修業年限は三箇年で卒業者には B. A. の學位を與へる。

學科目は豫備學科として英語・漢文・數學・史學・法制・經濟・物理・化學を必修とし、更に官吏たらんとする者は、左記の學科目の内二、五、六及一（又は四）を、商人たらんとする者は一、三四及二（又は六）を必修することになつて居る。

一、英語
二、史學
三、經濟學及政治學

長は、何れも職權に依り委員會及評議員會に出席する權利を有つて居る。是れ實に大學も政廳も合體し、大學の敎育方針を永遠に確定せしむるものである。學校長は副總長で評議員會の會長である。

四、學科　學科は醫科・工科及文科に分たれてゐる。

（一）醫科　醫科は元の香港醫學校を繼紹したものであつて、香港醫學校は三十年間繼續し來つたものである。醫科の修業年限は五箇年で、卒業者にはB. S.の學位を授ける。尙此上に高等研究科があつて貳箇年修業者にはM. S. の學位を與へる。更に五箇年以上研究した者には試驗の上M. D. の稱號を與へる。解剖室・實驗室等の設備は全部完成し臨床講義は市立病院トン・ワー病院（Tung Wah Hosqital）ニーザーソール病院（Nettersole Hospitul）で受けることになつて居る。

（二）工科　工科は更に土木・機械及電氣工學に分たれ、修業年限は共に四箇年である。卒業者にはB・S. の學位が與へられる。

實驗室には英國諸種の工業會社より寄附した諸機械頗る豐富で、學生の使用し得る實驗室が十四ある。即ち

發電室　內燃機械實驗室

Ampthil 實驗室（電氣機械）　電氣引力及器械實驗室

右は中國學生が他日公務に從事する場合に極めて必要であるから、此提案は出來得る限り採用する事とし、次に學位の授與に關しては、香港大學の與ふる學位を英國各大學に於て與ふる學位と同一の價値あることに決定した。（此學位に付ては寄附金を募集するに當りても英國の大學と同一の學位を授與することを條件とし、張人駿の如きも其學位に付て之を保證せしめた位で、後に大學委員會の決議に依り之を許可した）尙ほ生徒の品性を向上發達せしむる爲、生徒は全部寄宿舍に收容し、評議員會の指定せる道德堅固の僧侶を以て指導監督の任に當らしめ、生徒と職員との間の融和親睦を圖る爲に連合遊戲の如きを奬勵し、香港政府に於ても近日特に其目的の爲に廣さ四百呎、幅二百呎計りの地面を寄附した。而して中國青年の海外に留學する者は、何れも未曾有の自由を享有するも、香港大學に於ては最も嚴格なる敎風の下に立たしめて居る。

三、組織　香港大學は左の會議に依りて校務を處理する。

（一）委員會　終身委員・名譽委員　職權に依りて委員となつたものを以て組織し其人員四十名。

（二）顧問會　一部分は委員會にて選擧し、一部分は大學敎授會にて推薦し、一部分は職權に依り當然顧問會に出席する權能ある官吏を以て組織し其人員十七名。

（三）大學敎授會　大學總長及敎職員並に香港政廳敎育部長を以て組織する。

香港大守は職權に依る大學名譽總長であつて、香港政廳醫務總監・土木課長・敎育部長・登記所

澳門・西貢・牛莊・厦門・阜南・濠洲等に在住する中國人の之に加入する者數を知らず、英國政府は年三千圓を寄附し、之を以て英人の專門敎師を雇ふ費用に充てた。

斯の如くにして千九百〇九年の終には寄附金の總額實に一百二十七萬九千一百六十四弗に達し、モデー氏が工事請負の下に千九百十年盛なる上棟式を擧行し、同年六月サー・チャールス・エリオット氏は香港大學總長兼學監に任命せられ、三名の敎授と共に十月より授業を開始した。校舍は本館及敎授住宅、寄宿舍、解剖室等より成り、敎室十八・實驗室八あり。圖書館・生徒控所・委員室・事務室・ボーイ室等皆備はらざるはない。

二、設立の主旨　香港大學の設立趣意書を見るに同大學敎育の綱要とする處は、學術・技藝の進歩を圖り高等の敎育を授け學位を授與し、生徒は何種族・何國・何宗敎だるを問はず一律に之を收容して、其品性の向上發達を期し、併せて中國及び中國近隣諸國と好感情を維持せんとするにある。而して其學術技藝中、醫學及理工科は殊に現時の老病狀態より中國を救出し、其鐵道を開通し、其鑛山の富を發掘し、其洪水の氾濫を防止する等に最も適切であるといふて居る。

此等の根本目的の外に在港の中國側より左の諸學科を授くべきことを提案した。

經濟原論・統計學・經濟史・憲法史・經濟學各論・商法・商業實賤・簿記學・商業學・行政法・財政學・英語・中國文・物理學・化學・數學。

一、沿革　千九百七年、時の香港太守たりしサー・フレデリツキ・ルガードは香港大學設の計畫を發表し、同時にエツチ、エヌ、モディ氏は直ちに十萬弗にて大學全校舍の建設を引受けん事を申出で、更に三萬弗を寄附した。翌千九百八年香港大守を委員長に其他委員十五名を擧げて調査した結果、該大學には醫科及工科を設くる事とし、校舍建築はモデー氏の説に從ふ事となつた。然るに之に對して遽然反對する者現はれた。其説に曰く、香港大學を僅に十五萬圓の少額にて建築せんとするが如きは誤つて居る。此の如き大學を建設せんには少くとも百萬圓以上の寄附を募集しなければならぬ。又諸般の設備費とし更に十萬圓を要すると、此反對論は誠に正當であるとして委員會其他の容るる處となつて、之が擴張に決定した。後間もなく、バターフイルド・エンド・スワイヤー商會は四十萬圓を寄附し、香港・廣東等の中國人側よりも意外の寄附あり、寄附金募集は豫想外の成功を告げ、英本國に於ても中國協會の盛な應援があつた爲、政府も委員會の申出た敷地を與へて此計畫に多大の同情を表した。中國側でも時の兩廣總督張人駿が熱心な賛助者の一人として此計畫の中國に利益であるを切に感得し、公文書を發して寄附を慫慂し中國政府も寄附金を出し、中國人側委員何氏以下三人の奔走により香港等の中國縉紳の寄附を申込む者百餘名に上り、香港以外にても廣東・

別高等學堂を、米國は北淸事變の賠償金を提供して中國外交部をして北京淸華學校を建てしめた。此等の學校は皆特に宗敎に關係ないことを聲明して居る。

第一　英國政府設立學校

甲　香港に於ける施設

英國は香港を根據地として中國に向つて諸般の經營をなし、敎育事業に於ても亦早くより施設に著手した。一九一四年の調査によれば香港政廳立の學校にして中國人を敎育する處凡十五校あり。就中規模の最も大なるはクインス、カレッヂであつて、生徒五百名を有し、卒業生にはオックスフォード大學の地方試驗を受け得る資格を附與する。最近に於ける卒業生の狀況は卒業後直に職を得たる者百十三人あつて、其內三十一人は書記生となり、十一人は中國官吏に三十一人は商會に入り、四十人は外國に往つたと云ふことである。其他の學校の內ヴイクトリア・ブリチシユ・スクールは十三歲以下の女兒を、九龍英語學校は十三歲以下の男兒を收容するを本體とし其他は皆英語學校である。此等の學校出身者は中國到る處に散在し、官衙に商界に重要なる地位を占むる者多く、延て英國の對中國經營に貢獻する處尠からざる有樣であるが故に、更に一層高等の敎育を施すべき大學の必要を感じ、遂に香港大學の設立を見るに至つたのである。

一、學校の名稱には某敎會設立の文字を用ふるを得ず。

二、學校の用地は敎會の地域と明確に之を區分すべし。若し敎會地域内に於て學校を開設せんとするときは、其學校の專用する部分に就て、學校の借用又は賃貸借の方法を採るべし。

三、學校の經費として敎會の義捐に出づるものは之を寄附金の一種となし、敎會の負擔する經費又は補助金となすことを得ず。

四、學校に關する一切の方法は總て敎育部より發布したる法令及北京學務局（北京以外の地は當該地の學務局）の假規程に準據して之を處理すべし。

五、學校内に於ける敎授の課程は一切宗敎上に涉るを許さず、又宗敎上の儀式を用ふるを得ず。

六、學生は宜しく一般より募集すべく、單に敎徒中のみより入學せしむるを得ず。

七、敎會に入らざる學生に對しては之に入會を勸誘又は强ふることを得ず。

列國政府施設の動機

かういふ樣なわけで、敎會立學校は其數の多い割に列國の對中國政策に對し思ふ樣な效果を擧げて居らぬ。列國の希望する所は後にも說く樣に、自國政策の遂行上自國政策を援助してくれる樣な有力な人物が欲しいのである。所が敎會設立の學校は多くは初等か中等の學校で大學程度のものがあつても其生徒は大多數貧民の子弟であつて餘りたよりになる者がない。そこで列國は宗敎に全く關係のない專門程度の學校に著眼するに至り、英國は香港大學を、獨逸は靑島特

中學校	六　三五一
神學校	一　三四
師範學校	一　六四

此中には上海に於ける德華醫工學堂及青島に於ける特別高等學堂等を含まず。

第二節　列强政府の設立及之に準ずる學校

クリスト教學校に對する淸朝の態度　クリスト教會經營の學校がまだ中國の要求を滿足することの出來ない點がある。それは前にも言つた通り中國人はクリスト教其ものを卑下し、貧民でなければ之を信じないといふ所から、中流以上の子弟は貧民と伍して教會の學校に入學することを潔しとしない。且つ政府に於ても此宗教學校の生徒は中國自體の思想に遠ざかり、祖國の倫理道德より離れる傾向があるとして、前淸政府は窃に之を憂慮し、其結果一九〇六年學部は令を發して「外國人の經營する學校は一切政府に於て公認しない。其卒業生は官吏に採用せらるゝ資格がない」とした。

民國政府の態度　現在中華民國政府のクリスト教會設立の學校に對する方針を見るに「宗教學校は絕對に之を認めない」從つて凡そ「次の七條件の一に觸れるものは其設立を認可しない」としてある。

廣東神學校	（敎派關係ス）	五〇
山東大學	（同）	二七四
成都共立女子大學	（カナダ・メソヂスト）	四九
西中國共立大學	（同）	三九九
重慶共立中學	（同）	一二四
奉天滿洲基督大學	（長老會）	四一
同　醫學校	（同）	九六
同　神學校	（同）	二一
厦門神學校	（同）	八
保寧神學校	（內地會）	一一

附、獨逸敎會設立學校一覽表

外人敎師 男 四七 女 一二　中國人敎師 男 二五〇 女 九〇〇

	校數	生徒
初等小學	一八七	五、九九九
高等小學	二二	六二二

乙　英米教會聯合設立學校一覽表

		生徒總數
北京聖書研究女學校	（倫敦會）	三三七
北中國共立聖書學校	（同）	六一
同　上女子大學	（同）	二二
北京大學神學科	（同）	三〇
同　文科	（同）	一四八
同　同豫科	（同）	五八
北中國共立外國語學校	（同）	三八
福州共立醫學校	（安立甘）	二四
同　神學校	（同）	七五
福建大學	（同）	九〇
福州幼稚園研究所	（同）	三
廣東女子師範學校	（惠師禮）	八

逸は他の列國に後れて敎育事業に著手したから、新進氣鋭の勢で急劇に獨逸的敎育の普及に努力した結果、英米側は之に對抗する必要上共同提携して獨逸の青島に於ける高等學堂を凌駕する一大學校を濟南に建立した、次に述ぶる齊魯大學は即ち是れである。

甲　齊魯大學（The Shangtung Christian University）山東省濟南府

一、沿革　原と山東省には多くの敎會併立してあつたが、一九〇四年に至り米國長老會及英國浸禮敎會とは各々青州及濰縣に於て經營して居つた學校を廢して敎育的聯合を形成し、山東クリスト敎大學を設立せんとした。此計畫が發表せらるゝや、英國山東クリスト敎會・加奈陀長老敎會・米國傳道局敎會及南長老敎會の四敎會も此聯合に加入し、此等敎會は遂に濟南府に一大學校を建設するの議を決し、先づ米國長老會經營の青州神學校・英國浸禮敎會經營の濰縣文科大學を移轉して神學科及文學科を設け、又一九〇八年以來徐々に發達し來つた醫科をも合せて之を齊魯大學と稱するに至つたのである。

二、敎員及生徒數　校長はバーゲン氏であつて、英國人の醫學科長の下に外人敎師十人・中國人敎師二人居る。文學科長は米國人で、其下に外人敎師五人、中國人敎師十二人である。神學科は文科敎師の兼任である。生徒は醫學科約百二十人・文學科約百人・神學科約三十人で全部寄宿する。

初等小學	三、〇二八	七九、四六三
高等小學	二九三	一二、九五七
中學校	一四九	八、〇一〇
師範學校	四八	一、三九五
神學校	九	八〇
實業學校	一四	四九三
大學程度の學校	一四	六六〇
醫學校	七	一一五
孤兒院	一四	四五二

第三　英米教會聯合設立學校

聯合の氣運を誘致したる理由

中國に於ける學校の設立は各國各派教會の間の競爭となり、而も初等學校よりは中等、中等よりは高等と漸次程度の高い學校を要求する形勢となつて來たので、各派單獨の力を以てしては中國人の注意を惹くが如き大規模の學校の經營は困難となり、玆に兄弟教會の聯合經營を現出するに至つたのである。殊に歐洲大戰前山東省の如きは獨逸の勢力範圍であつて、獨

人の大學生と二百二十二人の中學生とを有し、總計四百八十五人となる。

四、卒業生　一八九五年本校始めてカレージの卒業者を出して以來、就職せる者左の通である。（一九一七年末調）

教師	一二五人	醫師	三七人	牧師	二〇人
官吏	一五人	商工	二〇人	鐵道	八人
計	二二五人				

此外目下米國留學中の者約百名、外に英國に留學せる者少數ある。

今當校卒業者で要職に就ける者を擧げると、北京の清華學校長（米國より北清事變の賠償金を提供して設立した學校第九八頁參照）漢陽兵器廠處理・英國駐剳中國公使・米國中國留學生監督・外交部書記官長等其主なるものである。以て如何に當校の卒業生が漸次重要の地位を占めつゝあるかを察することが出來る。

乙　米國教會設立學校一覽表（一九一七年）

外人教師	五五六（男　二〇六　女　三五〇）	
中國人同	六、五三三（男四、五七四　女一、九五九）	
幼稚園	七四	二、三〇一

トッの學位を授ける。

（二）理科　修業年限は四箇年とし中學卒業者を收容する。學科目は物理・化學・英語・數學・圖畫・語學・宗教・政治・測量とし、卒業者にはバチェラー・オブ・サイインスの學位を授ける。

（三）神學科　修業年限は三箇年以上とし、文科の二科を修業した者を收容する。學科目はクリスト傳・教會史・比較宗教・哲學・理科・教育・語學及聖書研究である。

（四）醫學科　修業年限は五箇年とし、入學資格は本大學の文科若くは理科の卒業者を入れる。最初二箇年は基礎醫學を課し、後の三箇年は臨床研究を主とし、聖路可（セントリユークス）病院及エリザベス病院で實習をさせる。本科卒業者にはドクトルの學位を與へる。

（五）中國文學及歷史科　他科より兼修する制度で一週十時間位である。

（六）研究科　バチェラーの稱號を有する者二箇年間研究の後論文を提出し、及第すればマスターの稱號を受くることが出來る。

（七）中學科　大學の豫備科であつて修業年限は四箇年である。普通の中學の學科を教へる。

三、教員及生徒　校長はポット博士（F. L. Hawks Pott D. D.）であつて、十數年間當校の經營に任じて居る。教員は米國人各學科目の主任となり。其れに中國人教師を配し總員約五十八人に達する。生徒數は文科百五十八、理科九十二人、醫科二十九人、神學科四人、研究科二人、合計二百七十七

一、沿革及敎育要旨　本學堂の沿革は一八四五年上海第一代の僧正ブーン（W. T. Boone）氏の創立に係り、米中兩國の官紳を說き、資金を集めてカレーヂとなし、一八九二年に至り遂に上海より蘇州河を遡る五哩の現在の地に移轉しだのである。

一八九五年本學堂より始めてカレーヂの卒業者を出し、爾後漸次校舍敷地を擴張し、一九〇〇年には略々現在の形態を備ふるに至つた。

是に於て同年米國コロンビヤ州に於ける法律によつて聖約翰大學堂の認可を得、米國と同一の學位を受くるの特權を得るに至り、大學堂の基礎益々鞏固を加ふるに至つたのである。

要するに本校は創立當時僅に一棟の建物を有するに過ぎなかつたのであるが、序を追うて漸次發達し現今に於ては三十六エーカー（約十五町步）の敷地と二十二棟の建物を有するに至り、圖書館博物館の如き一として備はらないものがない位である（口繪參照）。

敎育要旨は健全なる西洋式敎育を施すと共に、中國固有の國粹精神と中國文學とを保存し、同時にクリスト敎主義に依る道德に由つて人格の完成を期するに在りとしてある。

二、學科　本大學には豫備科として中學校を附設し、大學は之を六分科に分つ。

（一）文科　修業年限は四箇年とし中學卒業者を入る。學科目は歷史・物理・英語・數學・宗敎・化學・哲學・政治・生物・語學・天文・地質・敎育・倫理とし、卒業者にはバチエラー・オブ・ア

中國人教師　三、三一三（男二、三六七　女九四六）

校名	校數	生徒數
幼稚園	三五	一、一一九
初等小學校	一、八〇六	四五、〇一一
高等小學校	二一一	六、四八七
中學校	七七	三、二七三
師範學校	三六	一、二四三
神學校	一七	三三一
大學程度の學校	三	五二
實業學校	一〇	二五七
孤兒院	一七	五六三
醫學校	五	三三

第二、米國教會設立學校

甲　聖約翰大學堂（St. John's Uniuersity）上海蘇州河上流

を掲け、今も尙生徒に敬意を表せしめて居るとのことである。

二、學科　學科は分つて豫備科、中學科、大學科となし小學初級より大學卒業まで十二箇年を要し、中學を卒業した者は大學に入學することが出來る樣になつて居る。

豫備科は即ち中國法令の定むる國民學校で其修業年限の四箇年も學科課程も共に國民學校に準じて居る。唯外に英文を附課して居るのが違ふばかりである。

中學科も亦中國の中學校規程に準じ修業年限は四箇年とし、學科課程は外に聖經及英文を加へて居る。但中國の制度に據れば中學校へは四箇年の國民學校を卒業した上に尙ほ三箇年の高等小學校を卒業して入學する規定であるが、當書院は速成の爲め上の如く變更を加へて居る。

大學科の修業年限は中國の制度の三箇年又は四箇年なるに反し、當大學科では各分科を通して四箇年と一定してある。分科には文學部、理學部、工學部（土木工學、機械工學、電氣工學に分つ）化學部の四つある。卒業者にはバチェラーの學位を與へる。

三、敎師及生徒　院長は赫立德氏で、敎員は外人六人、中國人六人、講師八人、書記三人で生徒は約四百人內寄宿生約百人を有して居る。

乙、英國敎會設立學校一覽表（一九一七年）

歐人敎師　三二四（男一五〇　女一七四）

同　メソヂスト女學校	同	―	―寄	二〇一二五	一五六	―	女一	三
大理　女子小學校	內地會	一九一三	―	一六	三六	一	女一	―
同　男子同	同	一九一三	寄三八〇	―	―	三―六	男一	三
雲南府　青年會夜學校	青年會	一九一三	一七五	―	二〇一四	二〇一三	男三	七

第一節　敎會設立學校

第一　英國所屬敎會設立學校

甲　新學大書院（Anglo-Chinese College）天津英租界

一、沿革及敎育要旨　本院は一九〇二年倫敦敎會保護の下に創設せられ、北洋に於ける英國人經營の代表的のものである。一九〇四年には博物館を開き、爾後袁世凱等朝野の紳士の賛助により漸次增築せらるゝと共に大學部の開設となり、體育場、寄宿舍、實習工場及物理實驗室等諸般の設備完成し稀に見るの大書院である。

本院の目的は中國學生に英國式の敎育を施して、中國を開拓し新時代の人材を養成し以て中國を覺醒せしむるに在りとし、特に實業敎育に重きを置いて居る。特に注意すべきは袁世凱の賛助大に本院の完成に貢獻する所あつたのによつて、講堂の正面に英國皇帝の肖像と相並べて袁世凱の肖像

雲南省

同	高等學校	同	一八九一		一二四	｜	一三四	寄學	一二六	女男	一一	八
同	廣益中學	公誼會	一八九一	全	寄七〇	｜	二〇四		六五	女男	一一	八
涪州	基督小學校	英美會	一九一四		一三〇 七	｜	一五	寄學	一五二	男	二	一
仁壽	カナダメソヂスト學校	同	一九〇六		｜ 寄	一二七 五九	一四		五	女	一	五
同	實業學校	同	一九一五	寄	五六三 一	｜	一四		｜	男	一	｜
綿州	女學校	英聖公會	一九〇七		｜ 全	寄四六	一八〇		三	女	二	三
保寧	小學校		｜	寄	一二〇 三〇	｜	一九七	寄學	一〇五	男	一	六
同	天主堂神學校	カソリック	一九〇三		一三	｜	｜		｜	男	三	｜
敍州府	モンロー、アカデミー	公理會	一九〇八	全	寄六八	｜	一七		二七	女男	一一	六
遂寧	廣益高初男學校	公誼會	一九〇五	寄	二五三 二	｜	一八六	寄學	一八二	男	一	三
同	女學校	同	同		｜	二五	一四八	同	上	女	一	三
潼川	同中西學校	同	一九〇四	全	寄六四	｜	一八四	學	六	男	一	七
自流井	華英高等小學校	英美會	一九一四	寄	四五 四一	｜	一八二	寄學	一四一	女男	一一	四
雅州府	雅州學校	公理會	一九一五	寄	七五 六〇	｜	三一〇	寄學	一六四	男	二	四
照通	ミッションスクール	偕我會	一八九七	寄	二〇 三三	｜	二三 二〇		｜	男	一	三

濰縣	ポイント、ブリーシ學院	同	一八八三	全寄一〇八	—	二〇一四	三〇	女男	一一	二
同	文美女學校	同	一八七九	— 全	寄三三	二一四	三三	女	二	五
威海衛	萃英教堂	英聖公會	一九〇一	四〇	—	三三一四	二六	女男	一一	四
同	チオチタン學校	C.M.M.L	一九〇三	— 寄	三四五六	二〇一四	四	女男	一	三

陝西省

西安	バプテスト英學校	英浸禮會	一九一四	— 寄	一三〇四〇	二〇八	三〇	女	二	六
同	青年會夜學校		—	—	—	—	—	男	一	—

四川省

成都	加奈太メソヂスト女學校	英美會	一九一四	— 全	寄三三	三一四	三五	女	三	三
同	同小學校	同	一八九三	— 全	寄六六	二〇七	二〇—二五	女	三	四
同	ユニオン中學校	各派合同	一九〇九	全寄二三	—	一六	五〇	女男	一三	三三
同	華英學校	英美會	—	寄三五八〇	七	八七	寄學一五二	男	一	七
同	美以美女學校	美以美	一八九八	— 全	寄七〇	二一四	三五	女	二	七
同	協合師範女學校	各派合同	一九一五	— 全	寄一七	二〇	五五	女	三	三
同	華西協合大學校	同	一九一〇	寄三〇五三五、	—	二〇一七	五〇	女男	二六四	不明
重慶	淑德女學校	美以美	一九一四	— 全	寄五五	一七九	三〇	女	一	五

同	華英女學校	同	一九〇八	｜ 寄	五〇三三	二四六	寄 一八	女	一	四
棗陽	バプテスト女學校	同	一九一九	｜ 全	寄三二	｜	｜	女	一	三
同	ボーイス、アカデミー	同	一九一四	寄 三〇三四	｜	二〇	無	男	一	三
臨清州	育英學堂	公理會	一八九〇	寄 三〇三五	｜	二〇八	寄學 二四八	男	一	四
蒲臺	鴻文學校	英浸禮會	一九〇四	全 寄四八	｜	一八一四	寄學 二四	男	二	三
泰安	育英學校	英聖學會	一八八八	寄 三〇三五	｜	二九	無	男	一	七
同	同女學校	同	同	｜ 寄	二〇三三	二九	三	女	一	六
同	萃英高等學校	美以美	一八九八	寄 四〇五〇	｜	一八二一	學寄 五一〇	男	一	七
同	同中學校	同	一九〇五	全 寄八九	｜	三〇五	學寄 三〇二〇	男	一	七
德州	ポーター、アカデミー	公理會	｜	全 寄九〇	｜	二三六	寄 二等一等 二四三〇	男	二	七
濟南	濟美中學	北長老	一八九四	寄 六八七〇	｜	一八	學寄 二七六	男	一	四
同	基督教齊魯大學	各派合同	一八六四	全 寄三三六	｜	｜	學平均 三	男	四七	三
同	青年會夜學校	青年會	一九一三	一八	｜	三〇四	一期 二五	男	二	八
青島	明德中學堂	北長老	一九一二	全 寄四六	｜	一八	二四	男	一	二
同	アメリカ學校		一九二〇	｜	｜	｜	｜		｜	｜
濟寧	Kenerden School	北長老	一九一〇	｜	二五	二〇三	六〇	女男	二一	四
同	華美中學校	同	一八九二	寄 三四〇	｜	一八	二六	男	一	四

太原	浸禮會中學校	英浸禮會	―	―	―	―	―	男	一	―
運城	神學校	瑞典教會	一九〇七	全寄二〇	―	三	一〇	男	一	五
同	同附屬學校	同	同	五一	―	―	―		―	一

山東省

宏駕莊	萃英高等小學	美以美	一九一三	全寄三〇	―	一六	三〇	男	一	二
芝罘	Charles Rogers Mills Memorial Sc. for Chinese Deaf	北長老	一八八七	男女全寄四〇	―	三	六〇	女	二	七
同	ボーイス、アカデミー	南浸信	―	二〇	―	一五	―	男	一	一
同	Hunter Corbett Academy	北長老	一八六五	寄四五八	―	一五	四ー六	男	一	五
同	烟臺實益學館	同	一八九七	寄二三五一八〇	―	一九八	寄學日四五〇	女男	一四	九
同	ウヰリアム、メモリアル女學校	南浸信	一九〇七	―	寄四五四二	二〇三	寄學二〇四	女	二	四
周村	光被學堂	同	一九一〇	全寄五〇	―	一六	寄學二四六	男	一	四
黃縣	カーター女學校	同	―	―	全寄五六	三五九	寄學三無	女	一	五
同	崇實中學校	同	一八九三	寄九〇七〇	―	二一五	寄學三〇一〇	男	一	一〇
同	エーリン女子師範	同	一九一五	―	全寄七	二〇	無	女	一	二
沂州	高等女學校	北長老	一九〇七	―	寄六六三六	一五	三三	女	一	二
同	經文學校	同	一九〇七	寄四八四三	―	八	寄學二〇四	女男	一一	二
萊州	ポイスアカデミー	南浸信	一九〇一	寄三〇二〇	―	―	一期二	男	一	一

同	聖士提反學堂	英聖公會	一九〇三	寄一四〇四三	—	一三 二五	學一五〇 寄三三〇	男	六	七
同	同上女學校	同	一九〇六	—	七〇	五 二〇	學一〇〇 寄二二〇	女	四	四
同	工業學校	官立		男女六〇〇	—	一七	一期六	女男	一三	一〇
同	神學院		—	—	—	—	—		—	—
同	灣仔官學校		—	二五〇	—	一四 一八	三〇	男	一	九
同	英設學校	倫敦會	一九一四	寄一五三三三	—	一二 二〇	六〇	女男	一三	五
九龍	ヴィクトリヤホーム	英聖公寄	一八九〇	—	寄一四〇一三	一三 一八	學一三 寄二六	女	二	八

貴州省

	ミツションスクール		—	—	—	—	—		—	—

安順府に內地會經營（男宣教師一名）の小學校あるのみ

山西省

太原	山西大學	官立	一九〇二	五〇〇	—	—	無	男	四	三五
同	明淵（?）中學	伊太利教會	—	—	—	—	—		—	—
汾州	明意（?）中學	公理會	一九一四	全寄六五	—	一五 一三	學寄一〇五	女男	二一	七
洪洞	普潤學校	內地會	一九〇六	全寄五八	—	一五 二五	同上	男	三	五
霍州	高等女學校	同	—	—	—	—	—	女	一	—
太谷	山西銘賢學校	公理會	一九〇七	寄一〇七八五	—	五 二四	學寄二三 三〇	男	三	三

同	女學校 Light-Laying	同	—	—	四三 寄三二	六三	二七	女	一	一
小計										
香港	香港大學	官立	一九一二	全寄 三三〇	—	三〇	五五〇	男	三三	四
同	女學校 Belilios		一八九〇	—	四六五	八六	一二〇	女	八	二
同	男學校 Diocesan		一八六九	寄 三〇〇 一〇〇	—	—	—	女男	五九	五
同	同女學校		一九〇〇	—	—	—	三〇〇 三五〇	女男	九一	—
同	女學校 エリス、カードリー	官立	一九一五	—	四九〇	五〇	二四	女男	二一	—
同	伊太利學校	カソリシク	一九一六	一〇五	—	五一〇	二四	女男	二一	—
同	モリソン英語學校	ベントミツシヨン	一八九三	一〇五	—	一八	五〇 四〇	—	—	三
同	モリソンホール	香大附屬	一九一三	—	—	—	一二〇	男	一	—
同	ク井インスカレッヂ 公仁書院		一八六一	七〇〇	—	一二五	六〇	女男	六 一〇	三
同	附屬師範學校		一九〇四	二〇	—	—	—		—	—
同	聖約翰ホール	香大附屬	一九一三	四二	—	一九	二四〇	男	三	—
同	聖ジョセフ英學校		一八七五	六五〇	—	一九七	四八	男	三	—
同	聖路易工學校		一八六四	全寄 八五	—	三	—	男	一	四
同	聖ポール學校		一八五一	寄 三五〇 四八	—	二〇三	六〇	男	三	三
同	同學院		一八四七	—	一八五	一八五	三〇	女	七	—

同	マッコルミック高等小學	同	一九〇三	全	寄一〇〇	—	一六	三五	男	一	四
嘉積	廣益中學校	米浸禮會	一九一五	寄	一二〇 七八	—	一八	六〇	男	三	三
瓊州	匹瑾女學校	北長老會	—		—	寄七五 九五	二五七	三六	女	四	四
同	海南基督學校	同	一六一九	寄	六四 六三	—	三一八	五〇	男	三	三
同	高等小學校	同		全	寄四〇	—	—	三五	男	一	一
同	駐瓊聖道婦人學校	同	一九一三		—	一七	五〇一八	三	女	一	一
筋竹	東光中學	巴色會	一九〇七	寄	一〇〇 九五	—	三一五	七	男	一	七
連州	民望高等小學	北長老會	一九〇四	全	寄五八	—	三一三	五八	女	一	七
那大	女學校	同	—		—	—	—	—	女	一	—
同	男學校	同	—		—	—	—	—	男	一	—
肇慶	女學校	南浸會	一九〇八		—	寄二四八	四八七	一〇〇	女	一	五
小欖	美理學校	同寅會	一九〇二		—	寄三七八五	二一六	三六	女	二	—
汕頭	華英學院	英長老會	一九〇六	全	寄一三〇	—	一八	五〇	男	二	四
同	汕頭書院	米浸禮會	—		—	—	—	—	男	三	二
東莞	チインシュ學校	禮賢會	一九〇三	全	寄二〇	—	一六	三五	男	一	四
五經富	神學校	北長老會	一八七九	全	寄一四	—	—	三五	男	一	二
陽江	チンコン學校	同	一九一一	寄	二八 二〇	—	一六	六	男	二	五

同	夏葛女醫學校	北長老會	一八九九		―	全寄五〇	―	無	女男	七七	一〇
同	Holy ghost Academy					不明					
同	Holy Trinity School	英聖公會	―		五〇	―	―	―	男	一	一
同	培英學校	監理會	一八八九	全	寄一七三	―	―	七〇	男	一	一三
同	Poi To Academy	南浸信	一八八八		―	三六〇	三七	―	女	六	―
同	培正浸會中學	同	一八八七	寄	四五〇 三七〇	―	―	一〇〇	男	二	二五
同	Sacred Heart College	カソリック	一九〇四	寄	四〇〇 二〇	―	四三	五〇	男	四	二
同	路得學堂		一九〇三	女男	一六	―	二〇八	二四	女男	二二	五
同	聖ヒルダ女學校	英聖公會	一九一六		―	寄四五 五七	一四	一三〇六	女	一	七
同	眞光中學校		一八七二		―	三〇〇	―	一三九四	女男	五一	八
同	ユニオン中學	各派合同	一八八三	全	寄一二五	―	二一四	一七五	女男	四五	一五
同	United Brethren Boys School		一八九七		二〇	―	一七七	三	女男	一一	五
同	ウエレスアル女學校	循道會	一八六七		―	一三五	―	五八	女	二	九
潮陽	潮關學堂	米浸禮會	一九〇八	全	寄一四一	―	八三	五三	女男	一一	一五
佛山	怡和連學校	循道會	一九一六		―	四三	三四	九〇	女	一	五
同	高等學堂	同	一九一四	寄	八二	―	二〇三	一〇〇	男	一	九
嘉積	女學校	北長老會	―		―	―	―	三〇	女	一	―

同	聖馬可學校	同	一九一三	全寄四三	—	一〇八	一年賄共三	男	一	五
揚州	美漢中學	同	一九〇八	全寄一〇〇	—	三二〇	八五	男	三	—
同	聖フェイス女校	同	一九一四	—	二	八九	五〇	女	一	三
小計										

廣西省

梧州	幼稚園	循道會	—	男女二〇	—	—	—	男	一	一
同	聖書學院		一九〇〇	全寄五〇	—	三	一〇	男	二	六
同	循道會男學校	循道會	一九一七	四三	—	—	三	男	一	四
同	同女學校	同	—	—	三五	—	三	男	一	三
小計	校數 四		—	一一三	三五	—	—	男	五	一四

廣東省

廣東	Andrew's Academy		一九一九	—	—	—	—	男女	二 三	四
同	嶺南大學	各派合同	一八八五	男女全寄九六	—	八三五	一〇〇	男女	二七 七	二八
同	エリスカードリー學校		一九〇二	三〇〇	—	六	一	男	一	—
同	協合神學校	各派合同	一九一四	全寄四一	—	三三〇	—	男女	八 一	五
同	聖公會學校	英聖公會	一九一四	全寄二	—	三五	—	男	一	—
同	法國學堂	エトランゼル派	—	六一	—	一四三五	無	男	一	四

同	聖約翰大學校	米聖公會	一八七〇	全寄 四八五	—	中學一九三 大學三一九	三一〇	男女	二 三五	四九
蘇州	英華學校	監理會	一八九七	一一五	—	一六	四〇	女	一	一三
同	英華女學校	同	一九〇七	—	全寄 一六〇	二五八	六五	女	三	一〇
同	スミス女學校	南長老	一八九五	男女 六五	—	二〇九	三六	女	三	二
同	Sallie Stewart Day School	監理會	一九〇一	—	四〇	一三	六	女	一	八
同	蘇州學院	米聖公會	一九〇二	寄 九一 一三六	—	一六	一〇二	男女	一 三	一三
同	バプテスト女學校	南浸信	一九一一	—	寄 六八 八三	二	六〇	女	五	七
同	東吳大學	各派合同	一九〇一	寄 三四〇 三六〇	—	一八	一一〇	女男	二 三	一六
同	Vincent Miller Academy	北長老	一八九二	寄 六〇 九〇	—	一五	八〇	女男	二 二	九
同	晏成中學	南浸信	一九〇三	寄 八九 一三八	—	二〇三	八〇	男	二	八
宿遷	崇實中學	北長老	一九〇四	寄 一二八 一三三	—	七	二二	男	一	八
同	培賢女校	同	一九〇六	—	寄 四〇 五九	一七	一九	女	一	八
松江府	ウィルソン學校	監理會	一九〇三	—	寄 七五 一〇〇	二〇 一〇	五四	女	二	七
吳淞	同濟醫工專門學校	(獨逸)	一九〇七	四五〇	—	—	一四〇	男	三	一五
同	培秀女學	米聖公會	—	—	三	一五 六	二	女	一	一
無錫	輔仁中學	同	一九一八	九〇	—	一八三	一季 二四	男	一	二

同	同女學部	同	一九〇八	—　寄	四二〇	二〇九	七三	女　二	四
同	民強中學校	南浸信	一八九九	寄　一八〇　九七	—	二〇〇	四八	女男　三一	七
同	裴氏學堂		一八九六	男女　五〇	—	二	一四五	女男　四一	—
同	師範學校	工部局	一九一七	—	—	—	—	男　三	—
同	南市基督學院	A. P. M.	一九一三	一四〇	—	一七	一三	男　一	一〇
同	女子師範學校	女青年會	一九一五	—　全	三寄	三	一二五	女　五	三
同	聶中丞華童學堂	工部局	一九一六	一三〇	—	八七	四〇	女男　一四	八
同	格致公學	同	一九一七	一七〇	—	一九九	五〇	男　五	五
同	華童公學	同	一九〇四	四六〇	—	—	七〇	女男　四五	三
同	カソリック、セミナリー	カソリック	一八四三	三八	—	一四六 ⎫	—	男　六	一
同	同高等科	同	同	三三	—	三〇八 ⎭	—		
同	毓秀女學校	米聖公會	一九〇〇	—	七六	七八	—	女　一	五
同	滬江大學		一九〇六	全　三一五寄	—	—	一二五	男　一五	一六
同	民立中學		一九〇一	寄　八六〇　四一〇	—	一六	五六	女　四	三〇
同	三育大學校	安息日會	一九一三	男女　一三〇	—	三〇五	一ヶ月一弗半	女男　四四	八
同	蘇州大學中學部	M.E.Ch.So.	一九〇八	寄　一〇七　六一	—	八一〇	六〇	男　一	三
同	聖芳濟學堂		一八六四	寄　八六四　一三八	—	八六	寄共月三〇	男　三一	—

同	青年會商業夜學	青年會	一九〇〇	七二〇	—	三〇一四	二八五	男	一	一九
同	商業中學	同	同	寄一三〇五一五	—	一四一二	八〇六七	男	一	三
同	中法學堂	工部局	一九一〇	四二五	—	一五	二〇	男	八	八
同	晏摩氏女學校	南浸信	一八九七	—	寄一〇〇一九二	一五	七〇	女	四	七
同	育才公學	工部局	一九一三	四〇〇	—	一五	五〇	女男	一五	—
同	南市夜學校	北長老	一九一五	一〇五	—	二〇	一五	男	二	九
同	復旦大學		一九〇五	全寄三四〇	—	一六	—	女男	一二	三
同	興華中西女學		一九一五	—	六〇	二五四	三六		—	五
同	育童學堂		一九一一	全寄三八	—	—	五〇	女男	一一	六
同	萬國函授學堂		一九〇六	—	—	—	—	男	二	—
同	大同學院		一九一三	二〇〇	—	—	一二〇		—	一
同	倫敦會學校	倫敦會	—	五〇	—	—	—	男	一	一
同	清心實業學校	北長老會	一八五〇	寄六〇九〇	—	一五	一〇〇	女男	二二	一〇
同	女中學校	同	一八六一	—	寄九一一五三	一三	六〇	女	二	二
同	中西女塾	監理會	一八九〇	—	全寄九五	二七一七	一三〇	女	九	四
同	高等科	同	一八九〇	—	二四五	三七	一三〇	女	三	一〇
同	麥倫書院	倫敦會	一九〇四	寄九〇一三〇	—	一六	一三〇	女男	一二	八

同	基督敎女學校	基督會	一八九六	—	寄 一四五 一〇〇	一五	三四—八四	女三	女四
同	Friend's Seminarg for Gilrs	貴格會	一九〇七	—	寄 七五 五二	一五	四八	女一	女四
同	金陵女校	五派合同	一九一五	—	全 三五 寄	三三	一〇〇	女九	女一
同	美以美高等女學校	美以美	一八八八	—	寄 一二五 一二三	一七	六〇	女二	女九
同	Nanking Eoreign School		—	—	—	—	—	男一	女三
同	神學院	五派合同	一九一二	全 九〇 寄	—	一六	—	男五	男五
同	Prac:ical Science School	青年會	一九一三	寄 二五〇 四〇	—	一七	四〇	男一七 女二	男三

本校は六ヶ年卒業、主として郵政局、海關、其の他外人會社に採用さる

同	金陵大學	五派合同	一九一〇	全 七〇〇 寄	—	—	一二〇	男一六 女八	男五
上海	英華書院	英聖公會	一八五〇	寄 一四 一七	—	一六	一三二	男二	男二
同	震旦大學院		一九〇三	寄 二〇〇 一八〇	—	一六—二三	一二〇 一五〇	男一六	—
同	浸會學校及幼稚園	南浸會	一九一〇	男女 一五〇	—	三	三三—五二	女二	女六
同	同夜學校	同	一九一九	六〇	—	—	五	男一 女一	五
同	守貞中學校	宣道會	一九〇〇	男女 一〇〇	—	五—三三	三〇	男二 女二	八
同	Bridgement Memorial School		一八八二	—	寄 一四〇 七五	七 二一	三〇	女五	一〇
同	昌世中學	中華聖公會	一九〇四	寄 二三五 八〇	—	一四	一〇〇	—	三
同	承天英華學校		一九一六	寄 一七〇 八〇	—	一八	五四	女一	二

小計				八〇	二	—	—	男五 女一	七

江西省

贛州	內地會小學校	內地會	一九〇九	四七	—	一〇	二—四	男一	三
同	同女學校	同	一九一九	—	三	八 五	二	女一	一
九江	Rulison High School	美以美	一八七三	—	二〇〇	六 三	學三〇 寄三〇	女四	一六
同	同文書院 (Wm. Nast)	同	一八八一	二一〇	—	二四	學三六—一六 寄一五	男三 女一	一三
牯嶺	牯嶺學校		一九一九	一三〇	二三	八 一六	學二〇—六〇 寄一〇〇—二〇〇	男二 女四	一
南昌	Baldwin女學校	美以美	一九〇三	—	一六〇	一四	六〇	男二 女五	六
同	南昌アカデミー	同	一九一六	一三五	—	一三 三	學二〇 寄一五	男三 女三	七
小計				四三二	四〇五			男一二 女一八	四七

江蘇省

鎭江	高等女學校	美以美	一八八四	—	全 寄八五	七—三	六〇	女三	女一〇
同	明智男學校	南浸信	一九一〇	五三 寄四二	—	九—三	三—八	男一 女一	男一九
同	潤州中學校	南長老	一九〇七	全一 寄一五	—	一四—二〇	七三	男一	男九
江陰	勵實中學校	同	一九〇六	九五 寄六〇	—	八—二六	四九	男一 女一	男一六 女二
南京	來復會男學校	來復會	一九一〇	八二 寄八〇	—	三	—	男一 女三	男五
同	Luola Marchison Sprunt Academy	同	一九〇九	—	寄一〇四 六三	—	三〇	女一	女二

荊州	神學校	行道會	一九〇九	八〇	—	—	—	男	三	八
老河口	內地會學校	內地會	一九〇六	二七	二七	—	—	女男	一一	—
溝口	Central China Union Lutheran Theological Seminary	路德會	一九一三	—	—	—	—	男	四	一
孝感	倫敦會男學堂	倫敦會	一八九六	五三	—	六〇	寄二〇 學三	男	一	—
德安	循道會同	循道會	—	三〇	—	二〇三	寄三萬文 學五〇〇六	男	一	三
武昌	文華大學校	米聖公會	一八七一	四二七	—	—	一五〇	男	一六	一〇
同	循道會男學堂	循道會	一九一〇	三〇〇	—	—	二五	男	一	二
同	倫敦會女學校	倫敦會	一八五九	—	一〇〇	三〇一〇	三〇二〇	女	二	六
同	St, Hilda's School	米聖公會	一八七六	—	二三五	二〇八	寄三〇 學八	女男	三一	八
同	協和師範學校		一九〇六	三五	—	三	九〇	男	三	三
同	博文書院	循道會	一八七七	一五〇	—	一七	一三〇	女男	一四	三

甘肅省

伏羌	內地會基督學校	內地會	—	—	—	—	一、〇〇〇文	男	一	—
蘭州	同英華學堂	同	一九〇三	六〇	—	五二	三、五	男	二	四
涼州	同初等小學校	同	一九一一	二〇	—	三	八〇〇文	男	一	一
同	同女子學校	同	一六一一	—	二	六八	三〇〇文	女	一	—
秦州	同基督學校	同	—	—	—	—	—	男	一	—

同	Mitchil 學校	循道會	—	—	—	—	—	男	一	—
同	循道女學校		—	—	—	—	—	女	一	—
合計	校數　三			一、二三五	三九四			男女	三六　三	一〇八

湖北省

漢口	Cathedral Choir School	米聖公會	—	六〇	—	—	—	男	一	六
同	David Hill School for Blind	循道會	一八八八	三二	—	—	三二	男	一	四
漢口	三育中學	安息日會	一九一八	七五	—	一〇　三〇	寄學 三六四	男女	一　一	七
同	博學書院	倫敦會	一八九九	二五五	—	一三　二	一四〇	男	四	六
	本校には二百三十人より成る童子軍あり									
同	看護士養成學校		—	二〇	—	—	—	男女	一　一	—
同	St. Joseph's School	益德會	—	—	—	—	—	女	五	六
同	青年會實業學校		—	—	—	—	—	男	一	一四
同	St. Phaebe's 牧師養成學校	米聖公會	一五一六	—	六〇	—	六〇	男女	一　一	五
漢陽	Devid Hill紀念女學校	循道會	一八九七	—	一五〇	一五	四〇	女	三	七
黃州	女子師範學校	行道會	—	—	—	—	—	女	二	—
宜昌	Hunting ton 學校	米聖公會	—	六八	—	一六	八〇	男	一	四
同	蘇格蘭福音學校	蘇福音會	一九〇五	五三	—	一五	三五	男	二	四

同	St. James 學校	米聖公會		九五	—	一四	五〇	女男	一一	四
同	湘雅醫學專門學校	雅禮會	一九一四	九〇	—	以上一六	六〇	男	九	三
同	遵道女學校	遵道會	一九〇六	—	一四〇	二八	寄學 三〇 一〇	女	二	八
同	共立高等女學校	北長老會	一九一四	—	五四	三六	五〇	女	四	—
同	雅禮大學	雅禮會	一九〇六	一七五	—	一九	一〇〇	男	三	—
同	Ideh 女子寄宿學校	北長老會	一九一〇	—	五八	三	一六	女	一	五
常德	峻德中學校	同	一九〇八	六四	—	二六	寄學 一四 二三	男	一	八
郴州	New China Academy	同	一九〇四	一五〇	—	三三	二五	女男	一一	二
衡州	All Saints 女學校	英聖公會	一九一七	—	一〇	二〇	三〇	女	一	一
同	諸聖學校	安立甘	一九一三	一六	—	二三	寄學 三〇 三	女男	一二	六
醴陵	遵道中學校	遵道會	一九一三	九〇	—	五〇	寄學 三〇 一〇	女男	一一	八
平江	培元初等學校	循道會	—	六〇	—	八九	寄學 自作 無	男	三	五
辰州	East View 學校	益德會	一九〇三	一四一	—	一六	二三	男	二	九
湘潭	聖保羅學校	安立甘	一九一三	六〇	—	六八	宿學 三六	男	一	四
桃源	Yuen Nan Boy's Academy	北長老會	一九一三	二〇	一〇	—	—	女男	一一	二
永定	Yunlan 兩等小學校	北信議會	一九〇七	一四	三六	八七	三	女男	二一	三
益陽	湖蘭中路信義中學校	瑙威教會	一九〇七	八〇	—	二四	四〇	女男	一二	七

開封	Annie Jenkins Sallee School	南浸信	一九一三	―	四三	一四		一八	女	二	四
同	Baptist College	同	一九〇九	六八	―	一六		五三	女男	二二	―
開封	St. Andrews Angloch School	加聖公會	一九一三	一五〇	―	一八 一三	寄學	五〇 六	男	三	七
同	聖瑪利亞女學校	同	一九一二	―	六八	一九ピアノ 八オルガン		一三 五	女	二	七
同	青年會英文學校		一九一六	七〇	―	一八		八	女男	一二	五
同	河南留學歐美豫備學校	中國官立	一九一二	二五〇	―	一八 一三	寄學	五〇 六		―	一九
歸德	高等小中學校	加聖公會	一九一四	三六	―	一六		三六	男	一	二
同	St. Mark's 小中學校	同	―	四五	―	―	無		男	一	四
信陽	信義神學校	信義會	一九〇七	一三九	―	二四 一三		三五	男	二	九
衛輝	女子小學校	加長老會	一九〇六	―	七五	二〇 八	寄學	三 二六	女	一	九
同	M. Maxwell 師範學校	同	一九〇九	七〇	―	二四 一六	寄學	三六 一〇	女男	一一	六
鄖城	明德學校	安息日會	一九一六	五〇	四〇	三〇 八	寄學	二〇 無	女男	一一	六
合計	校數 一六			一、一三〇							

湖南省

長沙	端本學校	北長老會	一九一三	―	二〇	四 六		三―一五	女	一	四
同	Chengchi 學校	同	一九一四	一〇〇	―	一七 一一	寄學	三五 一〇	女	一	六
同	I Siang 學校	同	一九一六	―	七〇	一三	寄學	三五 八	女	一	六

Ing Tai	格致中學堂	公理會	一九〇五	一八	—	一五	寄學 一八三	男女 一二	七
江頭	馨英女學校	安立甘	一八九九	—	一三	一八九	四	女 一	七
古田	ボイス、アカデミー	美以美	一八九〇	一〇〇	—	二〇四	四	女 一	六
龍田	毓貞女學校	同	一八九五	—	六〇	一八一〇	一〇	女 二	七
閩清	高等小學校	同	—	四〇	—	—	—	男 一	—
同	同上女子部		—	—	六〇	—	—	女 一	—
邵武	漢美中學校	公理會	一九〇一	一〇一	—	二三三	一〇	男女 四五	七
汀州	倫敦會學校	倫敦會	一九〇七	九五	—	一九八	四	男 一	七
延平	流芳學堂	美以美	一九〇〇	一〇二	—	一五	六	男 一	三
永春	Hardy Training School	同	一九〇一	一〇二	一三	一〇七	五	男女 一一	八
同	高等學校	英長老會	一九一五	一〇〇	—	—	六	男女 一一	七
合計	校數 三三			三、九四一	四二九			男女 七四 三五	二五三

河南省

彰德	三育女學校	加長老會	一九〇六	—	一四〇	一三八	—	女 一	七
同	Norman Mcphee School	同	一九〇一	九〇	—	一六	一五	男 一	六
襄城	高等小學校	內地會	一九一五	一三〇	—	一九	—	男 一	二
懷慶	同上	加長老會	一九〇六	三二	—	一六	五	男 二	二

泉州	培元中學校	英長老會	一九〇五	二九五	―	一六	寄學	三〇 二〇	男	三	二〇
長樂	Science School	公理會	一九一四	六〇	―	一六		一〇	男	二	六
福州	英華書院	教美以美	一八八一	四七二	―	一八	寄學	二七 二四	女男	六六	二〇
同	格致書院	公理會	一八五六	四二六	―	一八		三〇	女男	二五	二六
同	高等小學校	美以美	一八五二	一〇八	―	二一 一四	育學	六 二	女男	一一	七
同	協和大學校	共同	一九一六	八六	―	一〇		五〇	男	八	四
同	揚光學校	カソリック	一九一四	二〇九	―	一四	寄學	四三 一二	男	四	一七
同	三一學校	安立甘	一九一二	四三〇	―	三九	寄學	三〇 二四	男	四	三
同	協和醫學校	共同	―	一五	―	―		―	男	九	一
同	共立師範學校	同	一九一三	三	―	二四 一八	寄學	三八	男	二	四
Union	Vernacular School	同	―	―	―	―	寄學	一六 一七		―	―
同	華南女學校	美以美	一九一八	―	一五〇	二四 一六	寄學	二〇 一五	女	七	五
同	青年會學校		一九〇九	三一五	―	一七		三六	男	三	一三
海壇	Kings Herald's School	美以美	一九〇七	―	五〇	一六		五	女	二	六
興化	哲理中西學校	同	一八九八	一〇五	―	二〇		八	女男	二一	一
同	Juliet Turner 女學校	同	一八九三	―	六五	四五 一九	寄	二四	女	一	六
同	兩頭小學校	安立甘	一八九六	九〇	―	一八		―	男	一	―

同	女子初等高等小學校	米美以美	一九一四	—	六〇	七 一八	學二—二〇 寄三六	女	一	六
同	初等小學校	同	一九〇七	五〇	—	一八 一五	學一三 寄三〇		—	三
同	高等小學校	同	一九一四	六〇	—	一二 一七	學二〇 寄三〇	男 女	一 一	六
蕭張	倫才中學校	英倫敦會	一九〇三	一五	—	一六 二〇	寄二四	男	一	四
同	女學校	同	—	—	—	—	—	女	一	—
天津	法漢學校	佛國	一八九六	一〇〇	—	一四 二〇	二七	男	四	五
同	新學書院	英倫敦會	一九〇二	四〇〇	—	一八	一四〇	男	八	一〇
同	成美中學校	米美以美	一八九三	二〇〇	—	一二	學二〇—四〇 寄一七、五五	男 女	一 二	八
Tunghsien	潞河中學	米公理會	一八七〇	一三〇	—	一三 二三	—	男 女	二 二	六
Yungching	存實學校	英聖公會	一九〇八	一三〇	—	一三 二〇	學一五 寄三〇	男	二	八

（學費二八弗、寄一等四二弗、二等二九弗）

合計	校數		一三	四、三二一	七六	—	—	男 女	一三七 一二五	一三七

福建省

廈門	鯨英學校	英長老會	一八九八	一九〇	—	—	學二四 寄八〇	男 女	五 一	三
同	尋源書院	益德會	一八八一	八七	—	一九	六〇	男	四	九
同	協和神學校		一九〇六	八	—	一四	—	男	三	—
同	同文書院（ボーイ、スカウトあり）		一八九八	三〇二	—	一六	學二六 寄七四	男	二	—

同	共和女子大學	共	同	一九〇五	―		七八	二三	學寄	二六 二八	女	一〇	三
同	培華女學校	英聖公會		一九一四	―		四五	二五二		七〇 九〇	女	二	―
同	Peking Academy	米美以美		一八八五	―	―		―	學寄	六〇 四〇	男	一	―
同	高等小學校	同		一九一一	三二五	―		―	學寄	一〇 四〇	女	五	一〇
同	青年會商業學校	青年會		一九一四	三五〇	―		三		五〇	男	三	一三
同	協和醫學校	共	同	一九一六	二〇	二〇		二五八	學寄	一〇〇 八〇	男女	三四 四八	二四
同	燕京大學			―	六〇〇	―		―		一〇〇	男女	三一 九	五
同	崇實學校	長米老會		一八六八	一四五	―		二〇三		二五	男女	二 二	―
同	篤志女學校	英聖公會		―	―	一八〇		二三六	學寄	二四 四八	女	五	一〇
同	萃文學校	英倫敦會		一八六三	一四〇	―		二〇一		八四	男女	一 三	七
同	清華學校	米	國	一九一一	六六〇	―		一六		三六	男女	一五 七	二三
同	Union Bible Institute			一九〇五	―	―		―		六〇	男	三	―
同	協和女醫學校	共	同	一九〇八	―	二三		二四		五〇	男女	三 七	一
同	同看婦養成所	同		一九〇五	―	二五		二三		―	女	六	一
同	育英學校	米公理會		一八六三	一七五	―		二〇九		―	男	一	九
	（學費、高小七弗、初等五弗、寄四〇弗、ボーイ、スカウトあり）												
山海	市立中學校	共	同	一九一七	一〇〇	―		二〇四	學寄	四〇 四〇	男女	一 一	九

定海	高等小學	米浸禮會	一九一四	七〇	—	—	八		—	四
同	女子高等小學校	同	—	—	—	—	—	女	一	—
溫州	內地會女學校	英內地會	一八七五	—	五〇	一八〇	二五 五	女	二	四
同	崇眞兩等學校	同	一八六五	四〇	—	—	寄學 五二	男	一	四
同	藝文學校	偕俄會	一九〇三	一三四	—	一六 二〇	一六	男女	一 一	三
合計	校數 二七			二、〇四六	八四一	—	—	男女	三七 一四	二三

直隸省

昌黎	成美中學校	米美以美	一九一〇	一三〇	—	一三 二四	寄學 三〇 二四	男	二	九
保定府	商業學校	青年會	一九一七	二五	—	九	二〇	男	二	七
同	同仁學校		—	五七	—	一七	一八	男女	一 二	二
北京	Bridgman Academy	米公理會	一八六四	—	二八	一七 二〇	寄學 三〇 三五	女	五	一〇
同	崇德學校	英聖公會	一九一一	一七五	—	四	三〇	男女	一 二	—
同	法文學堂	佛國	—	—	—	—	—	男	一七	—
同	交通部郵電學校		一九一七	二〇〇	中國致府の學校なるも教師には外人多し					
同	稅務學堂		一九〇八	一一四						
同	Mary poter Game wellsch	米美以美	一八七三	—	一七〇	一二 三三	寄學 二〇 三〇	女	四	九

寧波	浸會中學校	米浸禮會	一八八〇	一三	—	一八	六六	男女	一二	二
同	Christian Mission Sc	基公會	—	—	—	—	—	女	二	—
同	斐迪學校	偕俄會	一九〇〇	一七〇	—	三四	一〇〇	男女	一一	三
同	Mizpah Bible Training School for Women	米浸禮會	一九一三	—	二〇	六〇八	寄 二〇	女	一	二
同	崇信中學校	米爲老會	一八五〇	一〇五	—	二〇三	學 四三 寄 三〇	男女	二二	五
同	崇德女中學校	米浸禮會	一八四六	—	一二八	二〇八	—	女	二	二

（學費、初等四弗、高等六弗。中學十弗、寄二十六弗）

同	仁德女學	英安立甘	—	—	九五	六〇九	—	女	二	七
同	毓才學校		一九一三	八〇	—	六〇	—		—	一〇
同	三一中學校	英安立甘	一八七六	六〇	—	—	—	男	一	一〇

（中學、師範、神學、小學の四に分る）

同	青年會英文夜學校		一九一九	五九	—	一二、三五	會員 一〇 非會員 二〇	男女	一一	九
紹興	Trinity 高等小學校	英安立甘	一九一五	六〇	—	一六三	二四	男	二	六
同	起材中學校	米浸禮會	一九一五	六五	—	一七	三三	男	二	六
仙居縣	Mustered S_d School	英內地會	一九〇五	二〇	二〇	一三半	—	男女	一二	二
臺洲	內地會病院醫學校	同	一九〇九	一〇	一	二	—	男女	一一	二
同	女學校	英安立甘	—	—	—	四二	—	女	一	四

同	弘道女學校	共同	一八六七	—	二四	—	—	女	七	一九
	幼稚園（年數三—六、學資年四弗）									
	小學校（同 六—一〇、同上三五弗）									
杭州	馮氏女學校	英安立甘	一九〇八	—	四二	二〇 一二	—	女	二	—
同	廣濟男醫學堂		一八八一	五六	—	三〇 二〇	一三〇	男	三	六
同	同女醫學堂		一九〇六	—	二〇	二五	六〇	女男	二一	三
同	蕙蘭中學	米浸禮會	一八九六	一三二	一六	一六	寄 六〇	女男	一一	三
同	青年會商業夜學		一九一六	一三五	—	一九	會員一〇 非會員二〇	男	四	三
湖州	浸會高等小學校		一九〇九	四〇	—	一五	四四	女男	一一	五
同	Hick's Memorial Sc for Girls Uuion							女	一	
同	Hospital Nurse's Training School							女	一	
同	進德婦女學校	米浸禮會	一九一八	—	二五	四〇 二〇	四〇	女	二	—
同	海島中學校	米監理會	一九〇八	一四五	—	一七	七六	女男	一一	五
同	湖郡女學校	同	一九〇五	—	一二五	二五 五	寄 四〇 一八	女	七	四
嘉興	秀州中學	米長老會	一九〇〇	二六三	—	一六	寄 四八	男女	三一	一五
金華府	作新初等高小中學校	米浸禮會	一九〇一	六〇	—	二〇 八	—	女男	一一	二

（學費、中學十四弗、初等四弗、高小寄二四弗、中學寄二八弗）

滁州	基督教女學校	米聖公會	一九二二	—	五〇	六 八	二—四	女	一	五
同	高等小學校及中學校	同	一九〇八	八〇	—	一四 三	六—八 寄三〇	男	一	五
懷遠	念美學校	米長老會	一九〇二	二〇〇	—	一四 二〇	八—一三	男女	一一	一六
同	女學校	同	一九〇四	—	八八	一五	寄三三	女	一	三三
廬州	三育中學校	米基督府	一九〇六	四〇	—	一四 三	寄三六	男	一	五
同	三育女學校	同	一九〇九	—	八五	一四	寄二六	女	二	七
南陵	高等小學校	同	—	六〇	—	—	—	男	一	—
蕪湖	聖公會學校	同	—	一〇〇	—	一五	—	男	一	二
同	聖稚各學校	同	一八九九	一〇〇	—	一六	寄六六	男	三	一〇
同	華文學校	米來復會 基督會	一九一三	九〇	—	一五 二五	寄一〇〇	男女	三 一	二

聖ジョン及ブーン大學豫備校とす

本校にはボーイスカウトあり又タイプライター其他商業に關する速成課あり

合計	校數	一四	八八六	一六六	男女 一七 一六	八八

浙江省

杭州	安立甘女子寄宿學校	英安立甘	—	—	四〇	—	—	女	一	—
同	基督教學校	同	一八九〇	六〇	—	一〇 八	三〇		—	四
同	之江大學	米長老會	一八四五	一六〇	—	一七 二五	寄九〇	男女	八 四	六

	男	女	計
大學校	二九	一、七四五	—
師範學校及養成所	一三六	三、九〇五	—
神學校	四二	一、〇六〇	—
工業學校	三二	一、三七五	—
孤兒院	三八	一、一五八	—
教育に從事する外人職員	男 五八三	女 六八三	計 一、二六六
教育に從事する中國人職員	男 七、九五四	女 三、〇三九	計 一〇、九九三
教育に從事する非教徒	—	—	計 八五四

中國に於ける外國人關係各種學校

安徽省

所在地	校名	所屬教會	創立	男學生	女學生	年齢	學費	外人教員	中國人教員
安慶	Cathedral School	米聖教會	一九一一	一〇〇	—	一五	寄 五〇	男 一	四
同	聖公會培媛女學校	同	一九〇七	—	三	九—一三	寄 六〇	女 五	五
同	同仁醫院附設護士學校	同	一九〇七	一六	三	一九	無	男一 女四	八
同	聖保羅學校	同	一八九九	一〇〇	—	一六	寄 一〇〇	男四 女一	七

上海聖約翰大學及武昌ブーン大學の豫備校にして課程八年とす

面に於ては列國政府は敎會が內地到る處に學校を建てる權利のあるのを利用し、その政策を遂行せれが爲めに政府より敎會に經費を補助し敎育事業を援けたから、學校敎育は大に隆盛を致し、今でぼ敎會堂の三分の二は皆學校を附設して居るといふ有樣である。

本章記述の順序　本章に於ては先づ、中國に於ける外人經營の敎育施設を各省別に概觀し、次いで第一節敎會設立學校及び第二節列强政府の設立及び之に準ずる學校に於て代表的の著名なる學校の內容を紹介し以て略々その經營方法の大體を觀るに便にし、進んで第三節以下敎育團體、傭聘外人敎師、社會敎育の大勢を述べ、最後に此等の敎育事業が列國の對中國政策と如何いふ關係があるかを考察して見たいと思ふ。

新教教會經營教育事業統計表（一九一七年末調 支那敎會年報）

種別	學校數	生徒數	敎員數
幼稚園	七五五	三、四九七	—
初等小學校	五、三三二	一三九、〇三六	六、六三四
高等小學校	五七四	二〇、九四三	一、八一〇
中學校	二二八	一三、〇四七	—

第二章　教育事業

教育事業は布教の手段

中國に於ける外國人經營の教育事業は其初は布教の手段として起つたのである。前にも述べた如くクリスト教の教義は中國傳來の思想と相容れない、それがために中國人は容易に教會に近づかないのみならず却てクリスト教に對して迫害を加へるといふ有樣であつたから、宣教師に於ては先づ教義を說く前に彼等を自分の方に引き附けることが第一の急務であつた。

教育事業は中國人の要求に投ず

然るに中國では古來特に教育を重んずる習慣がある、教育は彼等の唯一の登龍門である。そこで宣教師は此の邊の消息を看破し、尙ほ彼のゼスイツト教派のなした如く、教育を以て布教の最良の手段として成功した經驗を有つて居る所から、宣教師は布教の手段として學校やら病院やらを起す樣になつたのである。かういふ譯で各教會では盛に學校を設け、中國の靑年子弟を招徠し、中國の學問は勿論西洋の新學問を授け、傍ら聖典をも講義し漸次クリスト教に改宗する樣に導いたのである。

併しそれでもなか〳〵思ふ樣に生徒は得られず、從つて信者も急には增加しなかつたのであるが、其の間に中國の風氣も大に開け自ら進んで西洋の文明を吸收しようと力める樣になつたから、教會に於ても時世の要求に應ずる樣に盛に學校を起して新式の學問を授けて布教の便宜を得んとし、又他の一

地基督敎系の各學校生徒と呼應して公々然排日演説或は示威行列を敢てした事實は、これを監督する米國宣敎師にその責なしと言ふことが出來ない。彼等は神聖なる天職を忘れて米國のために米國主義の宣傳に努めた。彼等の説く所はウヰルソン氏の所謂正義人道である。民族自決、人種平等等凡ゆる美辭を連ねて彼等は云ふ『米國は共和民主の國である。その信條は正義と人道とである何等侵畧的の野心を有せず、飽迄も世界民衆の平等と平和を冀ふ。これ貴國の王道と軌を一にするもの。然るに貴國の隣邦日本を見よ。彼等は軍國主義の權化である。徒らに貴國の平和を攪亂して漁夫の利を占めんとしつつあるではないか、諸君は彼等の軍國主義と我等の正義人道と果して何れを選ふか』と。これと其後の北京學生聯合會が、排日の眞相として披瀝した左の一文とを比較して見るも、如何に彼等の宣傳が有效であつたかは思半ばに過ぐるのである。

『我等今回の運動は排日ではない。『排日』といふ二字は我等の承認しない所である。我等の排斥するものは乃ち日本の侵略のみ主義である。啻に日本の侵略主義を抱くものは我等の排斥する所であるばかりでなく、世界何れの國でも侵略主義を抱くものは皆我等の排斥する所である。何故なれば、我等信仰する所のものは『人道』であり、依附する所のものは『正義』であるから、苟くも『人道』を侵犯するものがあれば、それは即ち人類の敵で、又我等の敵である。國の如何を問はず、我等は當に之を排斥するのである。侵略主義なるものは、『人道』『正義』と絶對に相容れないものである。我等が今回日本品を排斥するといふことは我等の一種の手段に過ぎない云々』と。

第五、太平洋問題に關する知識を米國に普及すること。

同會の既に實施した事業は、亞細亞及太平洋圖書館、博物館、敎育其他公共事業の會館を華盛頓に建設し、又印刷物を發行しつゝある。役員は前大統領「タフト」氏を總裁に推選した。本會設立に贊意を表し協力を快諾したるものは、「タフト」氏以下米國朝野の名士、及袁世凱、唐紹儀、伍廷芳、其他東洋に關係ある團體の代表者である。

商業の仲介 尙、宣敎師は其本國の商人と中國商人との商業の仲介をなし、又外人の中國內地旅行に便宜を與へ、中國有力者への紹介の勞を取るなど、數へ來れば其本國の對中國經營に貢獻する蓋し少くないであらう。

病院はホテル 雜誌『支那』に載する所によると、北京に於ける佛國の病院は規模宏壯であるけれども、唯自國の視察者を止宿せしむるばかりで、名は病院であるけれども其の實一種のホテルである。又獨逸は一九〇八年中約四十萬圓の經費を投じて一大病院を建設したが、是れ全く自國守備隊の患者を收容するの目的に出でたもので、唯四五名の外來患者を收容するに過ぎない。之がため年々獨逸政府より支出せらるる經費は實に三十六萬圓に達すと稱せられて居つたといふことである。

宣敎師の排日宣傳 大正五年の夏、米國宣敎師が排日宣傳運動に加はつたことは益々その政策臭味の濃厚なるを暴露した。當時中國の米國留學生を中心とした上海寰球學生會及び基督敎青年會が、各

として編輯に當り各月一回刊行し、東亞の歷史、言語、地理、人類學に關する研究を發表す。

東洋語學校　維納一七五一年創立。東洋語を教授すると共に東洋諸邦の地理、風俗、物產、交通狀態等を調査す。

亞細亞學會　「ブダベスト」

八　墺洪國

九　伊太利

亞細亞學會　羅馬。

東洋語學校　羅馬伊太利政府は同校に四千磅を補助す。

前に掲げた米國の施設に係る亞細亞學會は、代表的のものであるから、左にかくその內容を述べる本會の目的は

一、西洋文明を東方亞細亞に輸入すること。

二、東西思想の交換を圖ること。

三、東洋諸國に於ける文物の進步及其他の狀況を研究すること。詳言すれば

第一、中國、日本及其他の東洋諸國の言語、文學、歷史、法律、宗教、美術、經濟及政治の研究をなす事。

第二、中國、朝鮮、暹羅、比律賓、馬來半島、露領亞細亞等の進步改革に就き研究すること。

第三、西洋文明の東洋に及ぼしたる影響、東洋諸國の發達の米國に及ぼしたる影響を研究する事。

第四、東西文明の接觸により惹起したる諸問題を解決する爲め、意見の交換を盛にし、印刷物を發行し、其他有益なる事業を行ふにつき、米國有志同心協力、竝に東洋諸國民との提携を奬勵する事。

「ハンブルヒ」大學支那講座　一九〇九年設立。

「ザクリン」大學支那講座

「ミユンヘン」圖書館　「イノマン」氏寄贈に係る支那書一萬卷を藏す。

伯林圖書館　支那の曆書、税關報告等を始め、祕密手記其他珍重なる書類を藏す。

獨亞協會（Deutschen-Asiatischer Verein）伯林。

獨逸人協會（Deutsche Vereikigung）上海一九〇〇年設立。

五　露　國

東洋研究協會　本部―「ペテログラード」、支部―「オデッサ」、哈爾賓、「プリアムール」、「タシケント」等一九〇〇年設立。研究部を「バルガン」諸國、近東、中東及極東に分つ、毎月二回報告書を發行す。

東洋協會　哈爾賓。

浦鹽東洋語學校　一八九九年創立。東洋語の教授と支那研究を目的とす。支那に關する講座二箇、日本、朝鮮、滿洲及蒙古に關する講座各一箇を設け、又大圖書館と印刷部とを有し、支那、日本、朝鮮、蒙古及西藏の活字を備ふ。

「ラザレウ」東洋語學科　「モスコウ」。

「ペテログラード」大學東洋語學科

實用東方學院　「ペテログラード」東洋に關する各種の智識を增進し、一般國民の注意を喚起するを目的とす。

露國上海商業會議所　上海一九一七年設立。

六　白　耳　義

支白研究會　本部―「ブラッセル」、支部―上海。

七　和　蘭

「ライデン」大學　通報發行所「ライデン」「エー・ジー・ブリル」書店有名なる佛國の支那學者「コルヂェー」及「シャヷンヌ」の二教授主

東洋語學專門學校　L'école Special des Langues Orientales Vivants）巴里。一七九五年創立。東洋語を教授すると同時に、東洋に關する各種の調査報告書を刊行す。

佛蘭西東洋學院　（L'école Francaise d'Extreme Orient）佛領印度支那河內。一九〇〇年柴棍に設立せられ、一九〇二年河內に移さる

同學院は印度支那半島の考古及古文學の研究竝に支那文明の學術的研究をなすを目的とす。報告書及時報を發行す。

里昂大學支那講座　支那研究第二講座及第四講座を置く。支那に關する大書庫を有し、支那に關する學術雜誌を發行す。

里昂大學支那講座　里昂。

佛支親交會　本部—巴里、支那—北京。

支那調査會　里昂、里昂及其他の六箇の商業會議所が聯合設立したるものなり。

佛蘭西上海商業會議所　上海一九一六年設立。

四　獨逸

獨支同盟會　（Deutsch Chinesische Verband）伯林一九二四年三月設立。約百名の商工業者の會員より成る。本會は獨支の經濟關係を密接にし、且つ獨逸の科學及技術を支那に普及せしむるを目的とし、各種の獨支學校及病院を設立し、教師及醫師を派遣し、布教學校を獨逸語教師に監督せしめ、又出版、翻譯、著作の流布及其他支那に對する獨逸文明の宣傳に努め、尙支那に關する調査探險に援助を與へ、又獨逸留學の支那學生に補助を與ふ。

東亞協會　「ハンブルヒ」

獨支貿易協會　伯林一九〇九年創立。

青島獨亞協會　（Ostasiatischer Verein）「ハンブルヒ」

東洋語學教習所　（Seminar für Orientalischen Sprachcs）伯林一八八七年設立。支那部及日本部あり。主として東洋に於て官廳の飜譯事務に從事する年少の法律家、竝亞細亞方面に於て服務すべき士官、技師、商人及宣教師に語學を授くるを目的とす。又諸殖民地の言語及學術竝必要なる歐洲語の學習をなさしむ。

二　英　國

帝室亞細亞協會　(The Royal Asiatic Society) 本部—倫敦、支部—上海、香港、東京、一八二三年創立。一八二八年東方文學翻譯基金を設く。

支那協會　(The China Association)　本部—倫敦、支部—上海、香港、天津、本會は倫敦の「キングス・カレッヂ」と協力して、協和支那人學校 (Incorporated School of Chinese) を設立したり。

英國支那工業協會　(British Engineering Association into China) 本部—倫敦、支部—上海。

東洋研究學校　(School of Oriental Studies) 倫敦一九一六年勅許によりて設立す。本校の目的は、一、東洋及阿弗利加に於て行政及軍務に從事する者に其言語、宗教、歷史、風俗、習慣を研究せしめ、二、東洋及阿弗利加に於て商業に從事する者を養成し、三、各國の東洋學者に會合の機會を提供するにあり。

新東洋研究所

「ケンブリッヂ」大學支那講座

「マンチエスター」大學支那講座

「リバプール」大學支那講座

「オックスフォード」大學支那講座

英國上海商業會議所　英國製造工業者二十名の組合にして、英支貿易の增進を圖るを以て目的とす。委員を派遣して製造品の販路を調查報告せしめ、又駐支英國公使及外務省と聯絡を取り、顧問及技師の傭聘を斡旋す。一九一五年創立。月刊『英國商業會議所報告書』を發行す。上海に學校を經營す。

英國支那各地商業會議所　天津、漢口、福州、芝罘、鎭江、厦門、汕頭及牛莊。

三　佛　國

亞細亞學會　巴里一八二二年創立。亞細亞に關する學術を研究す。

外人の中國研究機關一覽表

一　米國

米國東洋協會　The American Oriental Society「ボストン」一八四二年設立。東洋の語學研究。機關誌其他出版

米國亞細亞協會　(The American Asiatic Association)　本部ニューヨーク、支那|上海、神戸、横濱、亞細亞諸國と他の世界各國との間の誤解の原因及事情の不明より來る偏見を除去し、其關係を圓滿にし、且宗教、文育及慈善等の事業に依り、亞細亞諸國民の平和的進歩及幸福の障害を除去すること、月刊雜誌『亞細亞』を發行す。

亞細亞學會　後出

支那協會　(The Chinese Society)「ニューヨーク」米支兩國の友誼を增進し、兩國民間に其理想、文化及進歩に關する知識を傳播すること。

東亞協會　(The East Asiatic Society)

米國平和協會　(The American Peace Society)　ニューヨーク。

支那「エール」大學　(Yale College in China)　湖南。

廣東基督教大學　(Canton Christan College)　廣東。

「エール」大學東洋部　(Oriental Department of Yale University)　ニューヘヴン。

「コロンビヤ」大學東洋部　(Oriental Department of Colombia University)　ニューヨーク。

支那考古學講習所　(The American School of Archeology in China)

支那記念物協會　(The China Monuments Society)

長老派外國布教局　(The Presbiterian Board of Foreing Mission)

米國在支商業會議所　上海。

國旗は宣敎師に從ふ

偖てこの直接交渉といふことが布敎上多大の便宜を與へたばかりでなく、列國の中國經營の爲に間接に多大の貢献をして居るのである。前に述べた『貿易は國旗に從ひ國旗は宣敎師に從ふ』といふ筆法は、中國に於ても同樣に行はれて居る。列國の人民乃至列國が中國に於て何か事業を經營しようとする場合には、宣敎師の中國官憲に對する直接間接の斡旋の功に俟つ事少くない。

宣敎師は調査機關

宣敎師の永住の自由、土地建物取得の特權は、布敎上のみならず列國の對中國經營に貢献することと少くない。否列國の對中國經營の基礎は、悉く宣敎師の中國調査によつて築かれるといふも過言ではない。宣敎師は前にも述べた如く、布敎のために所有ゆる犧牲的努力を拂つて居る。如何なる僻地をも厭はず一たび足を踏み入れた以上は何處でも永住の計畫を立て、中國服を纏ひ中國食を吃し、中國語を學び中國の文章を修めて、務めて中國の事情に通じ中國人に親むやうにして專心布敎の爲に一身を捧げて居る。其の間に彼等の得た智識は、實に他の希求し得ない貴重なものである。其科學的素養は所有ゆる方面について中國に關して科學的の解釋を與へ、之を各々其國の新聞雜誌に報告する、其の報告が各國の中國調査について貴重なる資料となるべきことは容易に首肯し得る所である。

又宣敎師は各々其本國に於て設けられてある中國調査機關の一員となつてゐる。試みに左に各國の中國研究機關を掲げる。

この直接交渉といふことが布教上どれ程役に立つかわからない。

著者の經驗　著者の經驗談であるが曾て河南省の學校に招聘されて居た時に、天津にある邦人の某洋行に傭はれて居つた王某といふ中國人が、著者の在職する處に出張員として派遣されて來て居つた。此王某とは著者も常に懇意にして居つたが、ある日、此の王某から手紙が來て『今日自分は寃罪を蒙つて官憲から拘禁されたが、我洋行は目下有利な事業計畫中であつて、今自分が拘禁されるといふと、我洋行の計畫は悉く畫餅に歸してしまふから、數日出監して事務を取纒めた上で再び入監するやうにしたいと思ふ。就ては恐れ入るが出監中自分の身分を保證してもらひたいといふのであつた。著者は悉く之を信じて、其旨書面に認め官憲に依賴してやつたところが、その日の夕刻王某は出監して來て禮を言ひに來た。著者はその餘りに效能の迅速なのに驚いて、だん〳〵樣子を尋ねて見ると、外國人から手紙がいくと大概の罪人は許されるのだといふ。その一時出監の保證といつたのは一時の口實で、著者から手紙がいけば放免せられるといふことは前から見拔いて居つたのである。著者は中國の司法權に干涉したことゝなつたので、大に恐縮したが、當時は淸朝の綱紀も弛んだ光緒の末年であつたから、かういふやうなことも隨分あつたものと見える。著者は宣敎師でもなく一敎員に過ぎないのであるが、此の自分の經驗から推察すると、中國人が宣敎師を利用した例の少くないことは首肯し得るのである。

四、宣敎師は團體員としても亦個人としても、土地・建物を賃借又は永借することが出來る（一八九四年總理衙門訓令―第三五頁參照）暗默に永久居住及中國人名義で財産を取得する權利が承認されて居る（第三四頁參照）

五、舊敎宣敎師は其階級に從ひ總督・巡撫・財政司・裁判官又は知縣知府と同樣に身分上の待遇を與へられて居つたことがあつた（一八九九年上諭―第三七頁參照、一九〇八年取消―第三九頁參照）

六、舊敎宣敎師は地方官憲と直接交涉し得る權利を有して居つたことがある（一八九九年上諭―第三七頁參照）（一九〇八年取消―第三九頁參照）

第四節　布敎と列國政策との關係

宣敎師の特權の效果

前節に於て、布敎に對する列國及中國政府の保護及宣敎師の特權について述べたが、此等の保護及特權は布敎上實際はどんな便宜があるかといふに、前節に述べた樣に、中國人はクリスト敎を利用し、中國官憲の苛政誅求に對して身上の保護を得ようとする外、中國信徒は宣敎師が中國官憲と直接交涉するの特權あるを利用し、宣敎師を欺き、其勢力を利用して官邊に運動するやうなことも少くない。又宣敎師に於ても、假令それが不當であると悟りつゝも、尙その自己の勢力の擴張と布敎の便宜とを考へて、故意に敎民の利益を保護する場合も少くないといふやうな有樣で、

然しながら、新教宣教師も漸次舊教宣教師の特別待遇に均霑するやうになり、其地位に應じて、大體舊教宣教師と同じやうな待遇を受けるやうになつたから、英國に於ては、大使サー・イー・サトーが一九〇三年八月三十一日附在中國諸領事に通牒を發して、『宣教師は、中國人信徒が迫害を受け、之を訴ふる必要ある場合には、之を直接中國官憲に交渉することなく、先づ其在住する地の領事に事實を陳述すべし。』との意味のことが書いてある。

獨逸宣教師に就いても亦右と同樣であつて、一九〇六年獨逸宣教師一名南海縣附近の地を教會の爲に得んと欲し、同縣の知縣に直接交渉し、知縣は監視者を送つて其地を視察せしめ、將に許可を與へんとした時、廣東の獨逸領事此事を聞き、直に總督に該知縣の處理を差止めん事を請ひて曰く、『獨逸の宣教師と地方官憲との間の事件は、獨逸領事を經由して中國官吏に通告せしめらるべく、關係當事者が直接に交渉するは不可なり』と。

本節の要約　以上本節に於て述べた布教に對する保護及宣教師の特權を要約して見ると。

一、各國政府は、各皆自國傳道教會及宣教師の布教を保護して居る。

二、中國政府も其布教を保護してゐる（一八五八天津條約―第三二頁參照及一八九一年上諭―第三三頁參照一八九九年上諭―第三三頁參照）

三、各國政府及中國政府は共に中國人信徒を保護して居る（一八六〇年佛清追加條約―第三四頁參照）

夫が擔ふ轎に乘れり。是等三大轎の後には小轎十餘乘、馬十餘匹を伴ふ。其前には銃を携へたる者二百名あり。沿道路を淨め鑼を鳴らして入市す。是時民心驚惶すること甚しく、府縣當局者特に兵を派して漸く解散せしむることを得たり。翌日彼の外國人等は、又前日の如き儀仗を用ひて市を去りしが其の承天舗に達するや、住民又驚き逃れ形勢殆んど重大なるを致さんとせり』と。

是に於て一九〇八年、清朝は一八九九年の上諭を取消し、更に舊教宣教師との交渉に於ては條約規定の權利及特權のみを認むべき旨地方長官に命令した。

新教宣教師はかゝる待遇を要求せず

新教宣教師に對しては、列國は他の職業に從事して居る者が享有せざる特別待遇を宣教師の爲に要求して居らない。

之を米國に就て見るに、國務卿代理デビス氏が、一八七一年十月十九日在北京米國公使ロウ氏に與へた訓令に

若シ外國牧師ヲ中國在住ノ他ノ外國人ト別異ノ地位ニ置カント試ムル者アラハ、大統領ハ甚之ヲ遺憾トスヘシ。宗派信仰又ハ人種ノ如何ニ關セス、凡テノ人ハ法律ノ前ニ平等ナリトハ合衆國ノ根本主義ナリ。合衆國ハ敎會團體ナルノ故ヲ以テ特殊ノ地位ヲ與フルコトナシ。合衆國ニ於テハ、管長僧侶牧師等皆同等ノ保護ヲ要求スルヲ得ヘク、私法上均シク同一ノ權利ヲ享有ス。合衆國ハ自國内ニ於テ與フルヨリ多クノ權利ヲ中國ニ於テ求ムルコトナシ云々。

棎(中國名)との間に次の事を協定し、之を上旨として發布した。即ち『羅馬舊敎の僧正は巡撫及總督と、牧師の長及僧侶の長は會計官裁判官及道臺と、其他の僧侶は知縣及知府と同班に列す。中國の官吏は僧侶の階級に應じて答禮をなすべく、又僧正は省の官憲に『中國官吏に對して國際事務の處理を委任せられたる僧侶』の名簿表を交附するを要す、地方官憲若し宣敎事件に關する請願書を受付けたるときは、平等にして且つ懇篤なる方法を以て該事件を考査處辨せざるべからず。』等の事を規定したのである。

宣敎師の厚遇絕項

是れ實に殊遇であつて、當時の如く宣敎師の厚遇されたことは前後絕無である。北京居住の或カトリック大司敎が、羅馬法皇から大司敎に昇任すとの命令に接した時に、北京朝廷は特に彼を二品に敍し、頭等赤色雙龍寶星勳章を贈與した。又其大司敎の拜命式を北京に擧行するや直隸總督總理衙門の各大臣及清朝宗室十餘人までも式に列して之を祝賀したといふことである。

然るに舊敎宣敎師は此特權を濫用すること甚屢々であつて、爲に滿足なる效果を齎らさなかつた。

次に其濫用の一例を擧げる。

一九〇六年五月四日、閩浙總督が外務部に提出した報告に曰く、『惠安府に一天主敎會堂あり、佛國の僧侶石心熙なる者之に住す、居民見て以て常となす。一九〇六年三月十一日、突然一佛國人厦門より來る、名は顧自ら佛國政府より任命せられたる福建、臺灣、東京其他の地に於ける羅馬舊敎宣敎師監督なりと稱す。八名の人夫が擔ふ大轎に座し、其從者たる二名の僧、名は安及石なる者各四名の人

する待遇

めて居つた。特別の地位とは、一は中國官憲から與へられる身分上の待遇であつて、他は地方官憲と直接交渉し得るの權利であるが、かゝる待遇は布敎をなす上に大なる便宜を得るのであるから（其の次第は次節に詳説する）舊敎宣敎師は、之を中國官憲に公に認めしめんが爲に、屢々種々の要求を提出し、又無遠慮な行爲をなすことを憚らなかつた。今其暴狀の二三の例を擧げる。

宣敎師の專橫

一八六七年、在四川省の一佛國僧正は、同省の官憲に通告するに特に其目的の爲に作つた官印を用ふべきを以てし、又在夔州の一僧正は、洋務局に對し、官の機關を使用し對等の辭を以て公文書を送り、又在山東の一舊敎宣敎師は自ら巡撫又は總督と稱した。

中國政府の政策は、外國宣敎師といへども之を條約國の他の人民と同一に待遇するといふのであつたから、宣敎師としては之に公の資格を認めず従て中國政府は地方官憲が宣敎師を公の資格あるものとして交渉することを禁じた。一八七八年、總理衙門が諸外國に與へた廻文に曰く

外國宣敎師中、往々自己ノ事業ニ重味アラシメンガ爲、敢テ自ラ官吏タルガ如ク裝ヒ、中國ノ地方官ノ行フヘキ事務ニ干渉シ、時トシテハ自ラ之ヲ處理スル者スラナキニアラス、之レ中國ノ承認シ又ハ忍フ能ハサル事項ノ一ニ屬スト。

一八九八年、佛國は廣州灣を租借した餘勢を以て北京朝廷に迫り、其宣敎師に布敎上便宜を與へられんことを請求した。依つて一八九九年三月十五日（光緒廿五年）總理衙門と北京駐在羅馬舊敎僧正樊國

べきものであると考へて居つたのである。

個人としての宣敎師も亦同樣

　個人としての宣敎師に就ては如何であるかといふに、矢張り彼等は個人としても傳道團體と同じく、內地に於て居住し、又は土地若は家屋を買得するの權利を行使し中國政府も亦之に對し反對又は異議を申立てたことなく、凡て地方人民の意嚮、地方官憲の思慮に任せて置いた。例へば一八六八年英國領事が、一自國宣敎師の爲に捿霞縣に於ける敎會堂の土地の贈與證書を芝罘道臺に送つて之に調印せんことを求めたのに、該道臺は、外國人は內地に於て財產を所有する權利を有せずとして之を拒絕した。之に反し一八七二年米國の宣敎師二名、腹心の中國人の名義で杭州に於て一地區を取得した、此土地は江蘇省度支司衙門の正面に位する一小丘で、取得者は其上に建物を立てた。然るに卜筮者が、この建物は衙門の地相を害すること甚しと云つたので、衙門は斯の丘上の地を他の平地と交換せんことを賴んだ。米國側が米國領事を經て衙門に申出た、交換事件は同一面積の土地及其交換の爲に生ずる費用の賠償として一萬一千弗の金額を交付し、地劵には該傳道團體名義を用ひ、當該官憲の捺印あるを要し、且つ此交換は當事者雙方の任意を以て行はれたものであることを巡撫が布告するを要すと言ふのであつた。此等の條件は凡て中國側の容るゝ所となつたのである。

宣敎師に對

　佛國は、中國に於ける自國舊敎宣敎師に對し、一般自國人には認めない特別の地位を認

内地に於て寺院を建つることは遠き昔より之あり、然れども、詮する所宣敎師は到底外國人なり故に彼等若し敎會堂を建つる目的を以て土地を買得せんと欲するときは、該地は其地方舊敎敎會の共有財産とする爲に賣却せられたる旨のみ地劵に記載せらるべし。外國人若し條約の規定に違反し、自己の所有の爲に內地に於て財産を買得せんとする時は、從前の如く依然として禁せらるゝものとすと。

前述の如き協約があつたにも拘はらず、地方長官は事實上傳道の爲に財産を取得することを許さなかつたので、佛國公使館は屢々抗議をなし、遂に總理衙門は一八九四年十二月三日、新に諸省の總督及巡撫に訓令した結果『爾後內地に於て佛國舊敎團體に財産を賣却せんとする者は、其賣却の意思あることを地方官憲に申告し、又は豫め其賣却の許可を受くることを要せざること』となつたのである。

新敎宣敎師の均霑

以上の如く舊敎宣敎師は、既に六十年程前から特定の條件の下に內地に於て土地を取得することを許されたのであつたが、新敎宣敎師に對する中國內地に於ける居住及財産上の權利に關しては如何であつたかは、宣敎師自身にも分からなかつた。然し彼等は中國人信徒の名義で莫大なる財産を內地に於て取得し、永久的地步を占むるに成功した。中國は亦、佛國宣敎師が一地方敎會の會員として、內地に於て永久居住の設備をなし、又不動産を取得するは條約の規定に依る權利であるとなし、且つ斯く佛國宣敎師の享有する權利は、同一條件を以て他國の宣敎師にも均しく許さる

及財産上の權利

の權利を有つて居る。即ち一般外國人が旅行免狀に依りて旅行するの權利及所謂治外法權を有つて居る以外に、宣敎師は中國の何れの處に於ても一時的の居住及財産の賃借をすることが出來るのみならず、傳道團體の一員としては、條約上傳道の目的の爲に、中國の凡ての場處に於て、建物又は土地を其團體の財産として賃借又は永租することを許され、從て暗默の中に內地に於ける永久居住の權利をも認められ、且つ個人としても或地方に於ては其官憲より財産及居住に關し同樣の自由が與へられて居る。以下少しくかゝる特權を得た次第を述べる。

かゝる特權を得たる次第

一八六〇年十月二十五日附佛淸協約第六條の末項(中國文)に曰く

「尙、佛國宣敎師ハ各省ニ於テ土地ヲ賃借シ、購買シ、且ツ其上ニ隨意ニ建物ヲ建設スルコトヲ得」。

此條文は後日攙入せられた疑ある由であるけれども、兎に角、一八六五年二月二十日總理衙門と佛國公使ベルトミーとの間に締結した協定の言葉に依て察すると、傳道團體員として宣敎師の內地に於ける財産上の權利は之を既存のものと見做されて居つたやうである、即ち該協定の規定に。

或土地ヲ舊敎宣敎師ニ賣却セントスルトキハ、地券ニ其賣却者又ハ讓與スル者ノ氏名ヲ記入シ、且ツ其財産ハ地方舊敎敎會員之ヲ共有ス可キモノナル旨ヲ表示ス可シト。

總理衙門は右の協定に關し各省に訓令を發し、協定の範圍を指示して曰く

於ては宣敎師の居宅を燒拂ふべしとの貼札處々に配布せられた。此の報を聞いた北京駐在の佛國公使を首め諸外國公使等は、淸廷に迫つて不逞の徒を取締らんことを强請し、其の結果一八九一年六月十三日の上諭となつた。其の大體の趣旨は『外國人宣敎師の本旨は本と文化を導き民人の福祉を增進するに在る。然るに之に對し漫に暴行を加ふる者は罪大逆に等し、地方官憲は宜しく充分に外國商人及宣敎師を保護するの任を盡すべし云々。』

中國人の外國人に對する鬱憤は、上諭の發布に遇つて一時抑へられた樣であつたけれども、何時しか復も其鋒鋩を現はし、遂に一八九八年、四川省在留の佛國宣敎師フルーリーを拘禁し、佛國公使の强硬なる談判にあつて翌年漸く釋放したこともあつた。又此のフルーリー事件と相前後して、一八九八年廣東敎會の宣敎師シャネーは、多數の敎徒と共に暴徒に襲はれて遂に落命した。此事變の結果淸國は廣州灣を佛國に租借することになつたのである。

一八九九年の上諭 此くの如く各地に於ける仇敎騷動は一波僅かに收まつて一波復た起るといふ有樣であつたから、佛國は淸廷に迫り、布敎上便宜を與へられんことを請求した。其の結果宣敎師は非常に厚遇せらるゝやうになり、遂に一八九九年三月十五日(光緒二十五年)の上諭が發せらるゝに至つたのである。

宣敎師の內地居住 次に中國に在る宣敎師は、他の一般の在中國外國人の有する權利以外に、更に特殊

の保護

られた上諭も、廣東と浙口省との數縣に於て公布されたばかりで、全國各地に布達せられたわけではなかつた。是を以て、地方官は之を遵奉せず、道光中處々に教徒迫害の事實があり、咸豐朝になつても官民の西教を嫌惡すること一層甚しく、朝廷は又地方官に密旨を下して、クリスト教徒を假借する所なく處分せしめた。

佛清條約

かくて一八五六年に至り、佛國宣教師シャプ・ド・シーレなる者廣西に捕縛せられ苦刑に堪へずして遂に死に至つた。而して道臺は殘酷にも之を刎首せしめた。是に於て交渉を重ね、遂に佛國は英國と聯合して中國を伐つに至つた。其の結果一八五八年の天津條約により、中國內地到る處に於て布教するの權利を認めしめ、且つ中國官憲に於て宣教師を保護することを誓はしめたのである。其の佛清條約第十三條に曰く

クリスト教ノ根本目的ハ、人間ヲ有德ナラシムルニ在ルガ故ニ、凡テノクリスト教團體ノ所屬員ハ凡テ身體、財産及宗教的儀式ノ勤行ノ自由ヲ完全ニ保證セラルベシ。且ツ第八條ニ規定セル適法ノ旅行免狀ヲ携帶シテ、平和ニ內地ニ入ル宣教師ハ有効ナル保護ヲ與ヘラルベシと。

それにも拘らず、其後仇教事件は處々に續發した。其の一例として一八九一年(光緒十七年)揚子江沿岸に起つた事件を述べると、該事件は先づ湖北省の南部及江南地方に於て爆發した。蕪湖にある宣教師の居宅は破壞せられ鎭江・丹徒・舒塘の諸地方に於ては教徒の萬死に一生を得たるあり、南京に

ら受くることゝなつた。此の變化が事實上に於て如何に重大な關係を及ぼすに至つたかは、一八九七年に至り、山東省に於て獨逸宣教師二名が殺害された時、獨逸が佛國に依賴せず、自ら進んで清國政府に向ひ、以後佛國公使館は唯佛國宣教師に關する事項のみを取扱ひ、他國の宣教師に關する事項は其の國の公使に委ぬべきことを通告し、遂に佛國の中國に於ける舊教の利益を保護するの權利は消滅したのに因つても知ることが出來る。

各國の保護は中國信徒に及ぶ

各國の布教保護は啻に宣教師の身上に於てのみならず、中國人信徒にまで及んで居る。蓋し一般中國人は外國宣教師に對してのみならず、中國人の信徒にも迫害を加へるので、各國は條約の上に於て、中國政府をして中國人信徒保護を約せしめて居るのである。即ち中國內地に自由に布教することを得る條約の結ばれた一八五八年、佛淸條約の追加條約として、一八六〇年締結されたものに、左の如く規定されてある。

道光帝一八四六年二月二十日詔勅ノ旨ニ従ヒ、中國全國ニ宣布ス。凡テノ人民ハ、中國ノ凡テノ部分ニ於テ天主教ヲ弘布シ、其ノ禮拜ヲ行ヒ、其ノ教義ヲ講説シ、寺院ヲ建ツルコトヲ許サル。若シ濫リニクリスト教徒ヲ捕フル者アルトキハ、相當ノ刑罰ヲ課ス可シ。前ニ迫害ヲ受ケタルクリスト教信者ノ所有ニ係ル寺院、學校、土地、建物ニシテ沒收サレタルモノニ對シテハ之ガ賠償ヲナス可シ云々。

中國官憲

一八四四年佛淸條約により、道光帝のクリスト教傳道の解禁の詔勅も、之に附隨して發せ

の傳道者が何れの國籍を有するに論なく、之に旅行免狀を交附し、又中國政府に對し種々の要求をも提出し、且つ舊敎傳道に關する事件起る每に、之を自國の對中國政策上に利用することを怠らなかつた。中國政府は、此の保護權が條約の認むる所であるか否かに就いては確固たる考へを有して居らず、之に關して嚴重なる抗議を提出したこともなく、實際上之を承認して居つた。歐洲の舊敎諸國も亦、假令自國の臣民をして佛國の保護を脫せしめたいとは思つて居つても、自國の中國に對する勢力が佛國のそれに及ばず、之を佛國に任せ置く方が却て自國に取つて有利であると考へて居つたから概して之に反對もしなかつた。

各響ある特權と獨逸の破壞

然るに、獨逸の宰相ビスマルクが、一八八三年以後殖民政策を取り、自ら宣敎師を利用せんとした時に當り、偶々獨逸宣敎師のアンツエルといふ者で、曩に伊太利のフランシスカン派に屬するコスレ僧正から、山東全省の牧師長を委任せられてあつた者が伯林に歸省したるに際會したので、ビスマルクはアンツエルを引見して、今後其の布敎事業に對しては、獨逸政府から熱心な保護を與ふべきことを約束し、別に人をしてアンツエルに向つて、山東省牧師長の職務を擧げて獨逸帝國の管轄の下に置くべきことを說かしめた。アンツエルは元其の職務を法皇から承はつたのではないので、直に獨斷を以て比公の內意に應じた。此くの如くにして佛國の保護權の一部分は獨逸の爲めに破られ、以後獨逸の宣敎師は佛國公使から旅行劵を受けるのを止めて、獨逸帝國公使館か

何なる潜勢力を有し、それが延いて自國の對中國政策の上に如何に貢献する所あるかを明かにせんが爲に、茲に布敎上其本國及中國官憲の傳道團體及宣敎師に對する保護、並に中國官憲から宣敎師に與へられてある特權待遇を述べる。

本國の保護

中國に於ける新敎の傳道及宣敎師に對しては、各國政府各別に其保護に任じて居るのであるが、舊敎については本章第一節に於て述べた如く、所謂布敎上の名譽ある保護權は中國に於ても久しく佛國の專有する所であつた。

中國に於ける佛國の名譽ある特權

其の昔、十五世紀から十七世紀までは、葡萄牙が羅馬法皇の許可により、中國に於ける舊敎宣敎師を保護して居つたのであるが、十七世紀末佛國は、法皇の命に依らず自ら保護者に任じてより以來、葡萄牙は其の東亞に於ける權勢の衰頽と共に、漸次其の宗敎上の權勢をも失ふに至つた。而して佛國は一八四四年中國と正式に條約關係を結んでからは、益々中國に於ける舊敎の保護者たる地位に執著し、此地位より來る勢力を失はざらんが爲に熱心に盡力した。例へば既に一八四六年に於て、中國駐剳の最初の佛國公使は、舊敎宣敎師及其の信徒の爲に道光帝に請ふ所あり、帝之を聽き令を發して、クリスト敎に對する從來の禁令を解き、中國人が自由にクリスト敎に歸依することを許した如きである。是れ一八四六年の勅令である。

其の後に於ても、佛國は依然として此の保護權を行使し、佛國公使は舊敎傳道者の爲に、而かも其

上の人で學位なり官位なりを有つて居る者は外國人などの保護を仰ぐ必要はないが、不幸にして學位もなし、官位もない下層の者は、何か自己を保護してくれる者が欲しい。そこでクリスト教に入り宣教師の力を借りて自己の生命財産を保護してもらはふといふ所から、祖先崇拜の習慣と矛盾しても、そんなことに頓着しないでクリスト教に這入ることになるのである。

之を要するに、中國人のクリスト教を信ずるの目的は多くは利害の打算から出て居るのであつて帝王の之を信ずるは、宣教師の有する學術技藝であり、民間信者の求むる所は其の生命財産の保障である。

信教の目的と布教の手段

既に中國人の信教が多くは利害の打算より生ずるものである以上は、クリスト教を傳道する側の者も、をのづから中國人の射利心を滿足せしめ、中國人の希望を迎合するやうな手段を用ふること必然の道理であつて、信教の目的と布教の手段との此くの如き關係は、クリスト教の傳道の上ばかりでなく、他の教育事業其他凡ての文化事業の上で常に見る所である。

第三節　布教に對する保護及宣教師の特權

前節に於て、中國人は一體何を目的としてクリスト教を信ずるのであるか、又之に對し宣教師は如何なる手段を以て傳道するかを明かにしたが、本節に於ては、宣教師が中國人を制御する上に於て如

官位といふものが、自己の生命財産を保護する上に非常なる役目をなして居るのである。中國人は非常に苦心して科擧の試驗を受けるが强ち試驗を受けて役人になる事ばかりを望むのではない。試驗には及第しても役人にはならない者もある。又なれない者も少くない。六十七十になつて及第する者もあるのだから、斯く言ふ人は所謂日暮れて道遠しで役人になる時がない。然らば何の爲に試驗を受けるかと云へば、學位さへ有つて居れば役人と雖容易に其人の身體に手を付けることが出來ない、又租税は學位があるから之を免るゝといふことは出來ないが、租税以上に怖ろしい賦役は學位があれば免れる事が出來る。租税は一定の率が定つて居るが、賦役といふものは標準がない、殆んど地方官の考次第で如何やうにもなる。苦しめてやらうと思へば隨分苦しめることが出來る。所で學位を得ると其賦役が免ぜられるのである。是れは讀書に任じて居る者は貧乏人が多いと言ふので、貧乏人を保護するといふ趣意から、學位を得ると賦役が免ぜられるのである。それから何か事件があつて裁判所に出ると、普通の人間は裁判官の前に跪かなければならない。假令罪人でなくとも裁判官は椅子に控へて居つて、取調を受ける者は其前に跪いて非常な懸隔を以て訊問をする。所が學位があると、其場合に跪くと言ふことが免ぜられる。役人の前に出て腰を掛けて對等で話すことが出來る。是れ亦自己の生命財産を保護する上に非常に便利である。さういふことで學位或は官位を有して居れば、官吏の誅求に對して生命財産を保護することが出來る、其爲に骨を折つて試驗を受けるのである。そこで中流以

ある。然らばクリスト敎信者となれば如何にして生命財產の安固が得られるのであるか。

信敎によつて生命財產の安固を得る理由

宣敎師は本國及中國の官憲から特種の保護を受け、又一般の外國人として所謂治外法權として自國の領事の裁判權にのみ服するの權利を有するのみならず、其慣習上條約上より生じた種々の特權を有して居る。又其の學識・品位・天職から自然に占むる所の社會上の地位を有して居る。此等の保護特權地位は一八四四年條約上自由に布敎する權利を得た以後、中國との交涉事件のある每に加はり、（此事は次節に詳說する）其威望は地方官憲の首腦者に伯仲する程の者さへあつた。

宣敎師は信徒を保護す

此くの如き特種の地位に依つて、宣敎師は敎民を保護し、其生命財產の保障に任じて居る。下層人民に對する中國官憲の虐待誅求も、宣敎師の擁護の前には如何とも手を下す事が出來なかつた。一八六八年楊州の宣敎師に反抗して起つた暴徒が鎭定した後、中國外交當局者が在北京英國公使に送つた書面に『宣敎師が內地に於て惱まさるゝ重なる原因は、彼等自身が中國の司法權の支配を受けざるの故を以て無分別に中國人信徒を保護せんとするに在る、蓋し彼等中國人信徒は多くは是れ自己の宗敎を口實として正直なる人民より金錢を貪り取る者に非ざるはなし。』と。

下層民に對する中國官憲の虐待

中流以上の者であれば、或は學位を有し、或は官位を帶んで居るから、其人の生命財產を保護することが出來る。別段外國人の助に依る必要はないのである。此學位

が、國土厖大にして政令四邊に洽かる能はざる中國に於ては、かゝる不思議な現象が生じ得るのである。其茲に至つた原因を考へて見ると、第一地方官憲が政治に不誠實であつて、クリスト教嚴禁の令あるに拘はらず、依然として宣教師の內地に在留し、布教することを默認して居つたことである。第二は中國に駐在する各國の領事が布敎を援護することである。宣敎師のみならず一般外國人は當該國の領事の與ふる旅行免狀(護照といふ)を持てば、內地到る處を遊歷することが出來る。但し護照を有する者でも一箇處に永く滯在することは許されぬ規定であるけれども、中國官憲の職務に不忠實なことは其處にも表はれて、永く一個處に滯在することをも尤めず、遂には本人の既特の權利の如くになつて其儘に放任せらるゝのである。又假令中國官憲が之を尤めても領事は種々の口實を設けて宣敎師を援護する、中國官憲は事面倒となるを恐れて遂に泣寢入となるのが常である。かゝる事情によつて布敎嚴禁令の發せられた後も依然として多敎の信敎者が存在したのである。

かくて布敎嚴禁令の發布せられた後も、多數の信敎者はあつたけれども、それは皆中流以下の者である。其理由は前に述べた如く一般に中國人はクリスト教に對し反抗心を有つて居るから、特に朝廷に於て之を採用するでなければ、一般士人は之を信奉することを潔しとしない。然しながら下層貧民の者になると、クリスト教より何等か得る所あつて敢て其信者となる、其得る所は精神界の慰安を求めんとするに非ざることは言ふまでもなく、それは自己の生命財產の安固を得んがために信者となるので

下層民の信敎の眞意　民間信敎の目的として更に擧げなければならないのは、下層の人民が其生命財產を保護せんが爲にクリスト敎信者となることである。

信敎者は現今に於ては殆んど中流以下　一體中國人のクリスト敎信者は現今に於ては殆んど中流以下の者である、昔朝廷に於て宣敎師を聘し、西洋科學の傳授を受けた時代に於ては隨分上流の士もあつた。例へば利瑪竇の門徒には李之藻・揚廷筠・徐光啓等幾多知名の士があつた。利瑪竇は此等の人士と協力して、乾坤釋義・測量法義・幾何原本等有益の著書を出したのである。因に幾何原本はユークリットの幾何學を翻譯したものであつて、幾何學といふ名稱は徐光啓が附けたのである。即ちGeometrie の geo を音譯して ge 幾 ○ 何とし metrie を意譯して『學』としたのである。此名稱を其儘我が國に輸入し、之を常に意味の上でばかり解釋し樣とするから一向わからぬものとなり初學者を迷はすこと一通でない。

其他宣敎師を重用した當時の朝廷には、何れも知名の士のクリスト敎に歸依する者尠くなかつた。然し雍正帝の嚴禁以後、知名の士は全くなくなつたのである。

布敎禁斷に拘らず信徒の存在せる理由　玆に注意すべきは假令雍正帝が令を發して一切外人の內地に留まることを禁じ、凡て人民のクリスト敎を信ずることを嚴禁したとはいへ、其後尙三十萬に近い信徒が依然として存在したことである。此邊のことは我が國情を以てしては到底理解する事が出來ない

賜つた順治帝の死後、即ち敎士の迫害を受け、遂に湯若望の憤死するに至つた如き（第一四頁參照）康熙常の後を承けた雍正帝の忽ち布敎を嚴禁した如き（第一七頁參照）能く之を證するものである。

布敎手段も又此間の消息から

宣敎師の布敎の手段も亦此間の消息から割出されたものであつた。宣敎師は右手に方物書籍を携へて居つても、左手に十字架を捧ぐることを忘れなかつた（第一一頁參照）。羅馬に於ける人選も亦此處に着眼し、科學者としては能く幾何學・自然科學・物理數學等を講義し、技術者としては、日蝕を測り、暦を正し、測算書表を著はし、天象儀、望遠鏡、時計を製し、大砲を鑄造し、同時に畫家、音樂者、建築者、醫師を兼ねあらゆる方法を以て歐洲學術的知識の優秀なる所以を鼓吹するに堪ふる者を選拔派遣した。又宣敎師は、務めて中國人の排外的精神を緩和し、クリスト敎に對する反抗心を消滅するに努力した。即ち一面には、中國固有の風俗習慣を認め、自ら進んで中國人が動もすれば蠻夷の風として嘲笑輕蔑する洋裝を廢して、所謂中國古人の服裝を著け、其食物生活の方法に至るまで全く中國人と同一にし、所謂中國人に對しては自ら中國人になるといふ秘訣を悟つて之を實行し、一面には、士人社會の攻擊非難に對してクリスト敎を辯護せんが爲に、自ら中國士人の敎育を受け、中國の言語文章を學び、下層社會の人民に向つて平易なる說話を以て、クリスト敎の福音を說く傍ら士人に對して流暢醇雅なる漢文を用ゐて科學上の理論から漸次にクリスト敎の精神を論及して自然に之を感化する方法を取つたのである。

（第一一頁參照）東邊の賊を討たんが爲の砲術を望んだのである。崇禎帝の宣教師を重用したのは其の天文術に在つたのである。

清朝信教の眞意

清祖順治帝の前代末聞の教士の優遇は（第一三頁參照）人心を新にせんが爲であつて、康熙帝の欵待（第一四頁參照）は自ら西洋の學術技藝を攻究し以て天下の統治に資する所あらんが爲であつた。其の帝が數多の宣教師を順次蒙古各部中國各省に分遣し、山水城廓を偏覽測量せしめ、皇輿全覽圖編成の大業を遂げた如きは（第一五頁參照）賢明なる處置と言はざるを得ない。

教義にあらずして其學藝にあり

此くの如く中國歷代の朝廷が、クリスト教の傳道を許したのは、その教義に非ずして西洋の學術技藝であつた。而も之を許すに至るまでには幾度か躊躇し、幾度か朝廷の間に議論を上下したのであつた。之を許しだ場合に於ても當路者の胸裡には、潜に宣教師に對する猜疑心が常に活躍して居つた。其學術技藝は希望する所であるが、何時如何なる爆發を生じ、爲に手を燒く樣なことが起りはせぬかと怖る〳〵採用して居るのであつた。

一許一禁常なき理由

そこで、歷代の朝廷が或時は之を許し、或時は之を禁じ、一許一禁、反覆常なきは即ち此間の消息を語るものであつて、之を許す場合は、西洋科學利用の必要に迫られ、其欲求熱旺盛で教士に對する猜疑心に打勝つた時である。其之を禁ずる場合は、最早西洋文明の必要も感ぜず、外人を尊信する所以も薄らぎそれに對する猜疑心の頗る高調した時である。前代未聞の殊遇を

することを潔しとしないのである。

第三東西洋思想の相違から

第三、東西洋思想の相違殊に祖先崇拜の念はクリスト敎の觀念と相容れない。祖先崇拜の儀式と孔子釋尊の敎義について羅馬法皇と意見合はず、遂に康煕帝の激怒に觸れ布敎嚴禁の厄に遇つたことは前節に述べた所であるが、一體中國に於て祖先崇拜の儀式は單に宗敎問題たるに止らない。中國に於ける社會全體の組織は殆んど之に依りて成り、社會一切の利害問題をも包含して居る。祖先崇拜の儀式を行ふことが出來なければ、家族及鄕黨との關係を斷絶せらるゝも同樣であつて、一たび家族及鄕黨との關係止むときは從來共同に所有して居つた財產の分配問題なども生じて來る。かくして身は父母兄弟と地を同じうするに拘らず、全く孤獨の生活を送らなければならなくなる。是れ東洋人の忍び能はざる所である。

中國人の信敎の眞意

以上の如く異端邪敎として排斥するクリスト敎を、何が故に中國人は之れを信奉するに至るかは問題である。前に述べた如くこは多くは利害の打算から來るものであるとしても、如何なる利害を透察してのことであるか。

明朝信敎の眞意

元祖忽必烈がクリスト敎の傳來を許したのも人心收攬の爲の政略である。降つて明朝萬曆帝の宣敎師優遇は（第一三頁參照）クリスト敎の敎義を尊重した爲ではない。宣敎師が齎した西洋の方物科學を珍重したからである。明末天啓帝の使を以て澳門から宣敎師を迎へたのは

せしめたのは已むを得ない。英國や佛蘭西が使節を度々北京に送つて修交を求めたが、何時も失敗に終り、北京に達することすら出來なかつたのは此の時代の事である。この誤解と僻見とは久しい間續いて排外運動が頻發し、遂に明治三十三年の團匪事變の様な大仕掛の事件が起つたのである。

第二クリスト教に對する猜疑から

第二中國人はクリスト教をば常に猜疑の眼を以て見て居る。中國人は宣教師が萬難を犯して異境の地に傳道する精神を神聖なるものとして受取らない、其の苦心慘憺たる背後には何か中國より求むる所あるに相違ないと邪推をして居る。一體中國には無報酬の好意といふことはないといふことである。中國人同志には何等かの報酬を豫期しないで他人の爲めに親切を盡すといふことはない。人の爲に力を盡せば後日何かの形で報へられる所あるを豫期して居るのである。從て外國人が布教をする精神は到底中國人には理解することが出來ない。人に勸めて善を爲さしめることであるとしても、此方から頼みもせぬに千里の波濤を蹴破り外國まで來て人に善を爲すことを勸めるといふのは、到底人情として解すべからざることで、其背後には何等かの目的が伏在して居るのではないかと疑ふ、不幸にして事實は中國人の疑を證明した。即ち宣教師の背後には常に商人が附いて行く、其後に軍艦が附いて行く、さうして宣教師について何等かの事件が起るといつでも賠償金を取られ、土地を取られるといふこととなる。そこで成程此が爲めに宣教師が來るのだ已の國を取るために來るのであるといふことになるのである。それであるから一般に中國人はクリスト教に歸依

敎に歸依し、之を信奉するのは超俗的な眞の信仰心から起るのではない。常に其心底に利害の打算を了し、或る利害を洞見し得てからのことである。然らば中國人は如何なる利益を洞見してクリスト敎に歸依するのであるか。

中國人のクリスト敎排斥の理由

一體中國人は昔からクリスト敎が嫌いである、否嫌いなばかりでなく。之を異端の敎として之を排斥し、之に迫害を加へた。中國と外國との外交問題には多く此の仇敎事件が關係して居る。其の之を排斥する原因は何處にあるかといふに、第一は中國人の自尊排外の思想である。第二はクリスト敎に對する猜疑心である。第三は東西洋思想の相違である。以下其の次第を述べる。

第一其自尊心から

中國人の自尊自大であることは既に定評のある所である。外國の使臣が中國朝廷から臣下の禮を以て引見せられたのを憤慨したのは、啻に英使のマカトニーばかりではない。葡萄牙・和蘭・佛蘭西も亦同樣の冷遇を受けたのである。中國は自ら中華と稱し、他邦を目するに凡て夷狄禽獸を以てした。西洋人に對する誤解僻見は、今日から見れば殆んご想像のつかぬ程に猛烈であつた。例へば中國最初の開港地たる澳門や廣東に流行病があると、それは夷狄が中華に來た爲である、早く逐ひ出さねばならぬと騷ぎ、天災や火災があれば、天帝が夷狄の來華を怒られたのであると云ひ其度每に排外運動が起つたのである。こんな時代には西洋人のする事なす事皆中國人の敵愾心を增長

新教の開祖　力信仰犧牲を語る生ける教訓である。次で一八三〇年米國宣教師ブリッヂマン及アビールの二氏廣東に來り、一八三三年同じく米人ウエルス、ウイリヤムス（ペルリ來朝の際通辯として我國に來れる人）が來た。此年『エール』大學出身のピーター・パーカー廣東に來りて病院を開いた、是れクリスト教の中國に於ける醫療事業の始めである。

清朝の布教公認　中國が條約上正式に西洋宣教師に自國內に於て其の宗教を宣傳するの權利を與へたのは、一八四四年の米清條約及佛淸條約である。其の條約中に

米國人民及佛人ハ五開港場ニ於テ寺院學校及病院ヲ建ツルコトヲ許サルベシ

とある。五開港場とは福州・廈門・寧波・廣東・上海のことである。次で一八四六年佛國の盡力により道光帝は勅令を發してクリスト教に對する從來の禁令を解き、五港に於ける宣教を許した。其の後一八五八年六月に於て、露・英・米・佛は殆んど同時に五開港地ばかりでなく、中國內地到る處に於て布教するの權利を得たのである。

第二節　信教の目的と布教の手段

第一節の中國に於けるクリスト教傳道小史を一覽する間に、讀者は既に中國人がどんな目的を以てクリスト教に歸依するのであるかを略々推察せられたことと思ふ。概して言へば、中國人がクリスト

したのであつた。ツルノンは翌年北京に達し、康熙帝に謁見した。康熙帝はツルノンを優遇すること到らざる處なく、饗應を盡し、恩賜を重ねて循々として中國に於ける祖先崇拜の趣意を説明し、他國の元首たる羅馬法皇が中國人民に對して法律を制定するの權利なきことを力説した。ツルノンハ乃ち北京に於て法皇の敎書を發表するを避けて、南京に至り、法皇の敎書を其の儘に公表することを躊躇し、終に已の名を以て之を摘要し、一の公布として發表し康熙帝の神學に對する意見を排斥し、羅馬法皇の敎會に從はざる宣敎師は直に中國より退去すべきことを命令した。是れ一七〇七年（康熙四六年）二月の事である。是に於て帝は怒つて內務府から發信した印票を有せざる宣敎師は凡て澳門に退去せしめ、其の國內各地方の天主敎堂に在るを禁じ、一七一七年（康熙五六年）更に一切外人の內地に留まるを禁じ、之に從はざるものは決して本國に歸らざることを誓はしめた。

雍正帝の嚴禁

雍正年間（一七二三年雍正三五年）敎士中に宮廷の密謀に關與したとの嫌疑を受けた者があつた爲め、其の迫害は益々甚しく、一七二三年には北京に在つて欽天監其の他の職務に從事する者を除き、宣敎師の澳門以外の內地に在留するを禁じ、又天主敎堂を改めて公所となし、凡て人民の舊敎を信するを嚴禁した。此後百數十年間清國政府のクリスト敎徒に對する態度は時々寛嚴の別はあつても、曾て其の禁止令を徹回したことがなかつた。

中國に於ける

中國に於ける新敎の開祖は倫敦敎會のロバート・モリソンである。其の一生は奮闘努

の內訌

厄を招くに至つたのは遺憾である。其の事件の大略を述べると、從來十五世紀から十七世紀までは前節に述べた舊敎徒の名譽ある保護權は東亞に於ては葡萄牙の所有であつた。然るに佛國が强大となるに從ひ葡萄牙の保護權を破らんとし、十七世紀末自ら傳道敎會を設けて自由に中國に向つて宣敎師を派遣し、西班牙も亦之に倣つて單獨に其の敎士を送つた。かくて各國各敎會が同一區域內に於て布敎を爭ひ、各國の勢力範圍は混亂錯雜した。從つて宣敎師の間に軋轢を生じ、遂に中國人の祖先崇拜及孔子釋奠に對する問題に於て破裂するに至つた。

從來は彼の利瑪竇の如く、代々の宣敎師は、凡て中國人に臨むに常に中國人固有の信仰習慣を害せざることに注意して居つたのであつた。クリスト敎初代の敎會が寬容の態度を以て異敎者に臨み、其の敎義を存してしかもクリスト敎の意義を以て之に附合した故智に倣つて、其の信徒が中國の國風に從つて祖先崇拜の儀式を行ふことを許し孔子釋尊の敎義を認容した。

康熙帝の禁敎

然るに佛國敎會から派遣せられた中國に於ける舊敎徒を總轄する一敎正から、此の天主敎宣敎師の意見を否定し、羅馬法皇に向つて天主敎宣敎師を彈劾した。そこで一七〇四年法皇クレメント第十一世は法老ツルノン（鐸羅 Tuornon）を法皇の代理とし、密旨を含めて中國に欽差した。其密旨はクリスト敎の神に對して天の稱號を用ふることを許さず、中國人民のクリスト敎を信ずる者に對して祖先崇拜の儀式を行ふことを嚴禁し、又康熙帝の信用厚き一天主敎宣敎師の行爲を譴責

したといふのではないが、併し彼等に居住の自由を與へたといふことは、自然に布教の便宜を與へた結果となつたのである。

康熙帝は歷代の帝王が賢能を集め之を完全に行使するを以て政治の要道となしたのに滿足せず、自ら進んで賢能たらんとし所謂內聖外王の學に專らであつた。後西洋科學の格物窮理を主とし、政治の實際に裨益する所尠なからざる賞讃し、自ら南懷仁等を師として之を講修した。但し帝は終始熱心な科學の尊信者であつたが、西敎の信者ではなかつた。敎士に於ても初めは科學によつて帝の眷顧を買ひ、帝をして正敎の保護者たらしめんとしてあつたけれども、遂には帝の科學に熱心なるがまゝに自ら所謂西儒の態度に滿足し、帝の頤使に甘んじた形迹があつた。帝は敎士をして輕便なる歐洲式の銃砲を作らしめた。此銃砲は吳三桂の亂平定のために殊勳を奏した。茲に注意すべきは、吳三桂一黨は漢人である。南懷仁等は今や漢人を討たんとて滿廷の爲めに大小の武器を鑄造したのであるが、明末に於ては彼等は滿人を討たんとて明廷の爲めに銃砲を鑄造してあつたのである。不思議な對照と謂はざるを得ない。又帝は彼等を各省に分遣し、偏ねく山水城郭を實測して地圖を作らしめ、大成して皇輿全覽圖と名つけた。此皇輿全覽圖と康熙永年曆とは、共に帝の時代を飾るべき文化の雙璧であつて、中國の思想界は爲めに著大な西洋の文化を接受したのである。

宣敎師　康熙帝のクリスト敎士優遇も宣敎師自身の內訌により、遂に帝の忌諱に觸れ、布敎斷禁の

用した所以は正朔を改めて天下の耳目を一新せんとしたのであつて、必ずしも天主教を尊信したのではない。從つて彼等親ら科學を尊重し、又は攻究した結果でもない。惟た彼等滿人は西人と同じく夷種を以て中國に臨んだのであるから、漢人の偏見に比して自ら公平な態度を示したのであつた。さてこそ漢人の官爵を奪つて之を西夷の頭上に冠せしめたのである。

教士の虐待　布教嚴禁

順治帝の死するに及んで曩に欽天監を罷められた楊光先は排教運動を起し、湯若望は各省の教士と結んで不軌を企てゝ居ると讒訴し、且つ闢邪論を作り邪教の嚴禁を上奏した。是に於て曩の優遇は忽ち變じて虐待となり、湯若望は囚禁せられ死刑の宣告さへ與へられた。布教の嚴禁せられたのは言ふまでもなく、西法の時憲曆書は廢せられて明代の曆を恢復し、天學に關する書籍は一概に焚棄せられ、聖堂は破壞せられた。中央地方とも西教に歸依した官吏は罷免せられ、各省の教士は悉く拘禁せられた。湯若望は皇太后の懿旨により歸邸を許されたが一六二三年（康熙五年）遂に北京に客死した。

康熙帝の西學と教士優遇

康熙帝親政するに至り、明代古曆が實際に符合しなかつたので、再び西法を採用し、曩に湯若望と共に拘禁されてあつた白耳義人フェルビースト（南懷仁 Ferdinandus Verbiest）を釋して欽天監事の職を授け、一旦破壞した聖堂は再び修築せられ、監禁された教士は何れも釋放せられ、各省に入つて居住する事を許された。此時帝の旨意は必ずしも彼等に自由傳道を許可

るにより、天文星占に關する知識を利用して中國人の妄陋を指摘し、彼等の信用を博することの捷徑なるを看取して居つたから、羅馬からは特に砲術及天文曆數に秀いでた敎士を派遣した。獨逸人のアダム・シャル（湯若望 Adam Shall）は其の一人である。

湯若望が北京に入つたのは恰も布敎の禁も解けた天啓帝の末年であつた。彼は他の敎士と協力して象眼儀・天球地球儀其他天文觀測に必要な諸種の機械を作り新に曆書を編纂した。當時明朝の大統曆は大祖洪武以來改修を加へなかつた爲めに遂に著しき時差を生じて甚しく權威を失つて居つた。之に反して湯若望の編纂した曆書は能く天行と密合して居つたから大に上下の信用を博して居つた際に、偶々崇禎帝の世に欽天監の豫測した日蝕の時刻が甚しく時日と相違し湯若望等の新曆が能く事實に符合した事件があつたから、忽ち中國人の畏敬する所となつて遂に一六四三年（崇禎十六年）西法を以て大統曆に代へ天下に通行せしむとの上諭が出た。併し社稷の末路能く之を施行する權威もなく其儘明朝は亡びてしまつた。

清順治帝の敎士優遇

順治帝北京に入るに及んで、もとの大統曆を退け西法によれる時憲曆書を天下に頒行した。而して敎士を優遇することも前代未聞であつた。即ち湯若望を欽天監の管事とし、監員七十餘人を選任する許可を與へ、或は新聖堂を建立し帝自ら欽崇天道の遍額を賞賜し、又位を授けて光祿太夫となし、祖先三代は一品の封典を追賜せらるゝといふ有樣であつた。順治帝が西法を採

地圖の如きものを明廷に献し萬曆帝の嘉納する所となつて帝は彼に第宅及天主堂を賜つたのである。

上に述べた利瑪竇の布敎の手段は、常に其の後の宣敎師の襲用する所であつた。右手に珍奇なる品物書籍を捧げて居つても、其の左手には十字架を出す事は忘れなかつた。中國人の之に入敎するのも、絶對に天主敎を信ずるからではない、當代士人の西洋科學に對する學究の願望の然らしめたのである。

萬曆帝布敎嚴禁の令

利瑪竇は一六一〇年北京に於て永逝した。此頃迄には多數の宣敎師は澳門より上陸し、廣東は勿論福建省の漳州・福州、浙江省の杭州其の他南京北京等に入り込み、多くの信敎徒があつた。所が、利瑪竇の死後間もなく天主敎に對する强烈なる反對起り、一六一八年遂に邪敎嚴禁の令が出た。其の理由はクリストは刑餘の一胡人に過ぎないのに、彼等夷人は以て天主と名つけ我が中國の天に比せんとし、且つ彼等が天體運行に關して云爲するは、我が大明律に天文を私習するの禁を犯すものであるといふのであつた。かくして一時盛況を呈したクリスト敎士も到る處に迫害を受け凡て澳門に放逐された。

天啓帝の敎士召用

清祖遼東に起り明國の北邊急を告ぐるに至りて武器の改良の必要に迫られ、天啓二年（一六二二年）帝は使を澳門に派し、クリスト敎士に銃砲を送らしめ、翌年數名の敎士を北京に召用し銃砲術や科學について學ぶ所があつた。

是より先き宣敎師は中國の曆法の不備なのに着眼し、彼等は天主なる文字が中國在來の天と對比す

於けるクリスト教傳道の歴史を述べることは決して容易の業ではない。そして又こは本書の目的とする所でもないから唯本書の目的たる列强の對中國政策との關係を述べるための準備として、茲に聊か傳道小史を述べて置きたいと思ふ。

モンテ・コルヴィノ

クリスト教が始めて中國に傳來したのは五世紀の頃であるらしい。其後十三世紀の終に於て元の世祖忽必烈西征し、歐羅巴の交通が開けた時にモンテ・コルヴィノ（若望高未諾 Monte Corvino）といふ者羅馬法皇の命を受け印度を經て中國に來り、元祖に仕へ寵愛を受け、敎會を設け數萬の信徒を得た。

其後クリスト敎の傳播は一時全く中絶してあつたが、後に東亞經營熱の漸次旺盛となるにつれ、クリスト敎の東亞布敎も盛になり、十六世紀末ゼスイット敎社のマテオ・リッチ（利瑪竇 Matheus Ricci）始めて媽港に上陸し廣東省の肇慶府に布敎を試みた。

利瑪竇の布敎の手段

利瑪竇は當時中國人が尊大であつて排外思想の旺盛であるのを看取し、努めて中國固有の習俗と衝突する事を避け、自ら姓を漢人に倣して利西泰と稱し、布敎の手段として地理數學等の科學を授け、傍ら敎義を說くを怠らなかつた。乾坤體義・幾何原本・測量法義は其の著書中の有名なもので、西洋科學の中國に輸入した始めであると稱せられて居る。クリスト敎を天主敎と翻譯したのも利瑪竇である。利瑪竇が肇慶府から南京天津等を經て北京に入つた時聖像の外、時計、樂器、萬國

業にあつたのである。英國に於ても其主要の殖民地中フキジー南部及中部亞弗利加シーラレオレ緬甸ギニアの如き其當初は實に布教者の手に依つて開拓せられたのである。

布教と中國に於ける領土分割

布教が領土獲得の爲めに利用せられた事實は中國に於て最も顯著である。獨逸は其宣教師二名の虐殺せられたのを口實として膠州灣頭に根據地を獲得し、山東省に於て鑛山の採掘及鐵道敷設の特權を得、佛國も亦之と同一の方法に依り南方中國に於て廣州を租借し、六ヶ處の鑛山採掘權を强要し、又彼の有名なるペーレバースロット事件に乘じて廣東及廣西の二州に於て鐵道の敷設權を獲得した如き其例である。

此くの如く觀し來れば、中國に於けるクリスト敎の傳道に就てもいつでも之を神聖なるものとのみ視ることが出來ない。而も宣敎師の背後に國權の從ふ事實は中國に於ても歷々として常に吾人の眼前に現はれて來るのである。吾人は嚴正なる第三者の位置に立ち、一々事實によつて公平に布敎と政策との關係を考究して見たいと思ふ。

第一節　中國に於けるクリスト敎傳道小史

中國に於けるクリスト敎の傳道は、中國と列强間の國際上密接なる關係を有する、否中國對列强の國際問題はクリスト敎の關係のないものは毫もないと謂つてもよい位である。それであるから中國に

此くの如き特權に依つて束縛せらるゝことは列國の甘受する所ではない。前の獨逸皇帝は屢々此保護權を獲得せんことを企て、羅馬法皇帝に於ける獨逸派の勢力に依つて、東方竝東洋に於ける獨逸カトリック敎徒を保護するの權利に就き法王の免許を得んことを試みてあつたが、其遂に意の如くならざるを見るや、俄に方針を一變して法王の公認を得ることを斷念し、凡て獨逸の宣敎師は其宗派を問はず又其行動地の如何を論せず、全然之を保護するのは獨逸帝國の義務たると同時に又特權であると主張し、策略を以て東亞に於ける佛國の勢力に拮抗し得るに至つたのである。

中國に於ても舊敎傳道の保護權は最近まで佛國の掌握せる所であつた。このことは次章に述べるが佛國の一記者は『この保護權は宗敎の爲めよりも寧ろ極東に於ける自國に於ける一大要諦として行使せられつゝあり』と言つて居る。

布敎と列國の領土獲得　列强の布敎利用は啻に之に止まらない。更に之を領土獲得に利用した事實は史上有名なことである。

佛國の交跡支那に關係を生じたのは、一七四一年ピニョート・ベインが同地に渡航して布敎上の指揮監督をなすに始まり、爾來宣敎師は幾多の辛酸を嘗めて專ら布敎に從ひ、延いて一八六二年クリスト敎に對する土人の反抗起り數人の宣敎師虐殺せらるゝに及んで、佛國政府は强硬なる干渉を試み、遂に政治的領土を建設したのである。又佛國の大洋洲に於ける保護領の建設は其原因は亦宣敎師の事

布教の政治に對する貢献

以上の事實は、布教が期せずして政治に貢献した一例である。詳言すれば布教を開始する當時に於ては毫も政治的意味を含有して居らなかつたのであるが、布教の効果が期せずして殖民地統治を助くるに至つたのである。

列國殖民と布教の利用

此くの如きクリスト教傳道の奇績は、列國政府をして進んで其海外經營の爲めに布敎を利用するに至らしめた。即ち第一、自國敎民保護の名の下に勢力扶殖の根據地を得たること、第二に、因て後日何等か利權獲得の機會を擒ふるの手懸りを得たること、第三、他國の要請を遮斷するに利用したるが如き是れである。

佛國の布敎上の名譽の特權

佛國政府は數世期に亘り布敎上名譽の特權を有して居る。所謂「名譽の特權」とは、凡ての國に屬するカトリック敎會及其敎徒を保護するの權利であつて、佛國政府は遠く十字軍の當時から屢々羅馬法王に依つて其特權を承認せられ、佛國は常に其駐在領事をしてこの保護權を實行せしめ、依つて以て大々的勢力を東部地中海方面に扶殖せしめ、牽いて中國其他の亞細亞諸國までも及ぼして居つたのである。十八世紀末のことであるが、東亞に於て敎育及布敎に從ふ三千の歐洲人中、其二千五百人までは實に佛國人又は佛國の敎會に屬する者であつて、約四百の學校を經營し、佛蘭西語を以て四萬有餘の生徒を敎育して居つた。而して此等の費用として佛國政府は年々五十萬法の補助金を支出し、佛國團と稱する傳道會社は又之に相當の補助をして居つたのである。併し、

改善にも着眼し、熱誠を以て土人の間に奔走し、白人の尙殖民せざる地方にも來往して各處に敎會堂を設立した。而して其各敎會の管轄する區域を定め之を敎會區と稱し、每區二百人乃至二三千人の土人を統率することとし、此の敎會區には妄りに兵士及其他の西班牙人の侵入することを禁じ、商業其他必要の用事に依て入り來たる者があつても、二晩以上の宿泊するを許さず、若干の兵士を置いて其安寧を維持せしむる樣にし、又耕耘播種の道、簡易なる工業などを敎へ、土人をして每日二時間以上の勞務に從事せしめ、其生產物は僧侶之を土人の必要の爲めに貯蓄し、一部は之を土人に分與するといふ有樣であつた。此くの如き制度は十七世紀の初め頃パラグエー(南米)に發達し、引き續き南米の各殖民地に施設せられ、白人と土人との間の融和を媒介し、且つ重要なる商品の生產に與つて力あつたのである。

十八世紀に至り西班牙と葡萄牙との間に殖民地區の交換があつて、其結果西班牙ゼスイット敎徒の刻苦經營した敎會區は概ね葡萄牙に歸屬し、後十八世紀の中頃偶々一ゼスイット敎徒の葡萄牙に對し非違の念を抱き其國王に危害を加へんとせる陰謀露顯した爲めに、葡萄牙政府は敎會區に對し迫害を試み僧侶の商業に干與するを禁じであつたが、後遂に法王の命によつてゼスイット敎社は解散の已むを得ざるに至つた。ゼスイット敎會區は此くの如くにして廢滅に歸したけれども、約二百年の間其熱心なる殉敎者が荒烟瘴霧の間に奔走し、深く土人の間に遺した感化は其後永く煙滅せず、一たび布敎者の土人より獲たる人望權勢は、更に直に之を轉して行政官の掌裡に移すことが出來たのである。

の順序　辯じ、第二節に於て、其觀察眼を以てクリスト教の傳道の歴史を通覽し、第三節に於て中國人のクリスト教を信奉する目的と之に應ずる傳道の手段とを歴史的に考察し第四節に於て布教に對する保護及宣教師の特權を論じ、之に由つて最後に、布教と列國政策との關係を歸納して見たいと思ふ。

政策的觀察は不得已　クリスト教の教義は平等博愛の外に出でない。クリスト教には國境もない、人種の差別もない、所謂異國の使徒パウロの異邦人の間に傳道した苦行も、フランセスコの創設した托鉢教團の難行も、降つてはゼスイット教社の外國に於ける傳道も、皆四海同胞一視同仁、世界の民は凡て神の子である、この神の子に福音を傳ふること神に仕ふる者の當然の任務であるといふ犧牲的の精神から出でたものに外ならぬ。此くの如き神聖なる事業に對し、凡俗なる政策的意義を附すること原來吾人の本意ではない。

然しながらクリスト教の布教史を繙く者誰か隨所に此法俗混淆の汚點を發見せざる『貿易は國旗に從ひ國旗は宣教師に從ふ』といふ諺さへある。

ゼスイット教社の功績　クリスト教の海外傳道の功勞は之をゼスイット教社に歸せなければならぬ。ゼスイット教社の海外傳道は新教の勃興により、自己舊教の領域を歐洲以外の地に求めたのに始まつたのである。其海外傳道の一例として左に西班牙時代の南米に於ける狀態を述べる。

ゼスイット教社の僧侶の努力は唯日常土人に教義を説くばかりでなかつた。其傍土人の生活狀態の

第一章　クリスト教の傳道

一九一八年天主教布教大勢

僧正	五一
外人牧師	一、四〇九
中國人牧師	九〇六
信徒	一、九五六、二〇五

一九一七年新教布教大勢

ミッションの數	一四九
外人宣教師總數	五、九六一
中國人同上	二三、三四五
外人駐在地	九四四
教會正會員總數	三一二、九七〇
信徒	六五四、六五八
日曜學校總數	四、三〇一
同上學生數	二一〇、三九七
中國人よりの寄附	八四六、七八九元

本章記述　本章に於ては、第一章に於てクリスト教傳道に對し、政策的觀察を下すのが至當である事を

政策的觀察を下すは當然

かく觀じ來るといふと、列國は果してどんな考を以て爭うて中國に於て文化事業を施設するのであらうか。クリスト敎の傳道の影には、何か列國政府の手が動いて居るのではあるまいか。といふやうな考が自然に起つて來る。かくて吾人が列強の中國に於ける文化事業に對して政策的觀察を下すこと當然の歸結であるやうに考へられる。

本書記述の順序

そこで本書に於ては、中國に於ける列國の文化事業として(一)クリスト敎の傳道(二)學校敎育附、敎育團體(三)社會敎育(四)醫療救濟事業(五)新聞。の五項に分つて、先づ各章の初に於て其施設の狀況を概觀し、後それに關する列強の政策を講究して見たいと思ふ。

外人敎育事業概觀

更に目を轉じて外人の經營する敎育事業に就いて考へて見たい。中國に於ける外人の經營する敎育事業は大部分はクリスト敎會の附帶事業であるが、小は幼稚園、小學校より、中等學校、專門學校、大學、果ては師範學校及び各種の實業學校に至るまで、所有ゆる種類の學校が備つて居る。（五三頁參照）

外人文化事業に對する中國人の態度

かくて外人宣敎師は十數萬の生徒に對し自國語を敎へ自國の精神を鼓吹し自然に自國的風尚に感化するに努めて居る。この現狀を視たる中國の有識者はどんな考を起すであらうか。或者は國家の敎育權の侵害を叫んで居る。殊に國民敎育たる小學校敎育をも彼等の爲すがまゝに任せて置くことの危險を唱へて居る。淸朝政府はクリスト敎會設立の學校卒業者は官吏に採用しないことを宣明し、民國政府になつてからも種々の條件を設けてその發達を牽制して居る。（第九〇頁參照）

然しながら中國自身の施設は財政窮迫のために學校は年々減少するばかりであり、之に反して新學の氣運は洋の東西から滔々として押寄せて來る。かくて外人の經營する學校は益々隆盛に赴くばかりで、之に乘じて諸外國は或は敎會に補助し、或は中國と合同し或は自己のみに由つて盛に學校を造り種々の好餌を設けて學生を吸收して居る。今や中國は文化事業に於ても列國の角逐場たるの觀を呈して居る。

新教教會堂數	三、七六七	計	七、八八八
同　禮拜堂數	四、一二一		
同　信徒	三一二、九七〇		

この外舊敎教會がある。舊敎に關する消息は新敎の如く詳しく傳へられて居ないが、其歴史の古きだけ、新敎に比して遙に多い。一九一八年の統計に依ると中國全土で、百九十五萬六千二百〇六人の敎徒を有する（第五頁參照）といふことである。今假りに、天主敎（中國では舊敎を天主敎と言つて居る（第一一頁參照）の會堂の數と新敎のそれとが同數であるとしても約一萬五千の會堂が中國全土に散布して居るといふことになる。何と夥しい數ではあるまいか。

敎會堂は小殖民地　中國に於けるクリスト敎會堂は、我が國のそれを以てしては到底想ひ及ばない特權を有つて居る。余はこの敎會堂を目して敎會所屬國の中國に於ける小殖民地――小屬地となすものである。何となれば後に詳述する如く（四一參照）この敎會堂の土地建物は、その敎會堂の所有であつて、其外人宣敎師は、所謂治外法權の下に、且つ又、中國政府の當該國の要求に由つて外人宣敎師に與へた特權の下に、中國官憲は、どんなことがあつても、外人宣敎師に對して容易に手を下すことが出來ず、各宣敎師は自由に布敎もし、又自國の勢力扶殖の爲めに盡力もして居るのである。乃ち之を目して小殖民地となすも敢て過言ではないと思ふ。

支那に於ける外人の文化事業論

緒言

對中國文化事業の隆盛

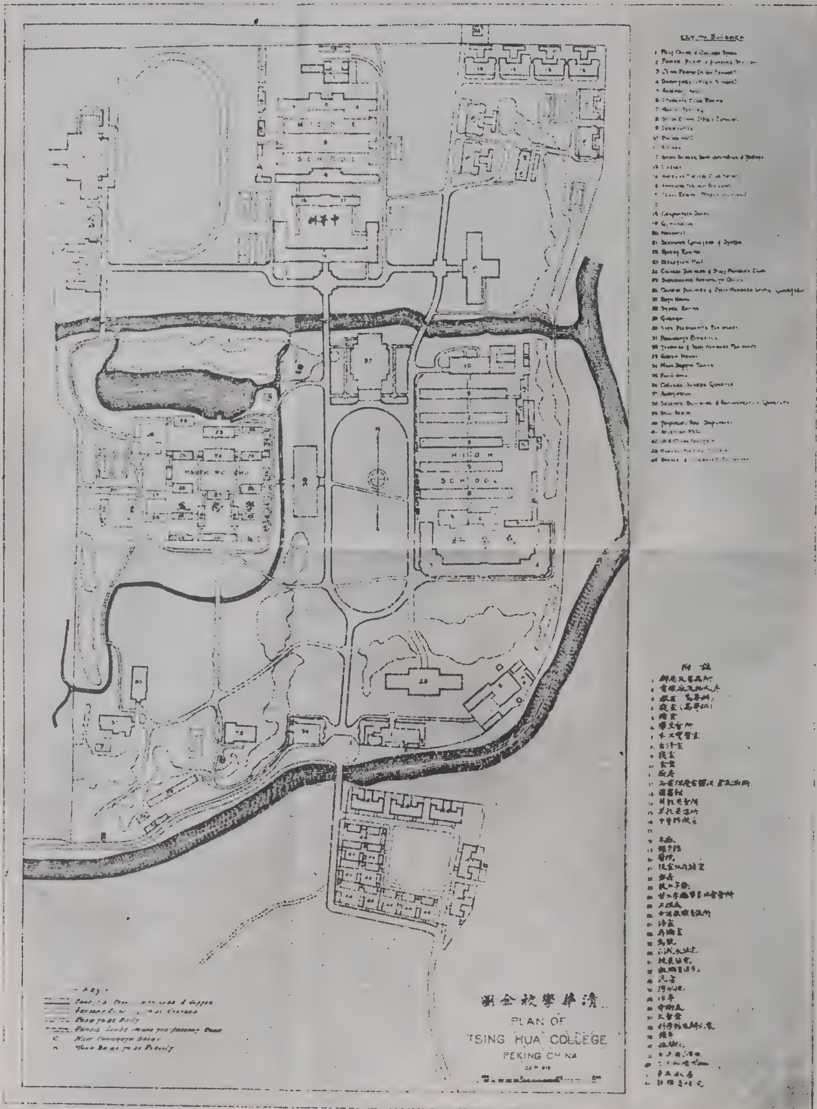
一たび足を中國の内地に踏み入れた者は、誰でも、如何なる山間僻地にも、クリスト敎會堂が儼然として立つて居るのに一驚を吃するであらう。倭屋軒を並べて叢つて居る一寒村に、これは又、四圍嚴めしき牆壁を繞らし、内に高層なる禮拜堂の尖塔の上、金色の十字架が高く夕陽に燦爛たるを見る者、誰か中國の爲に一掬の涙を濺がない者があらうか。

禹域皆赤し

中國に弘く傳道する目的で、數種のクリスト敎會が聯合して中國内地會(The China Inland Mission)といふものを組織して居る、その會から其敎會に屬する傳道者の居住する場所を點示するために、其場所に赤十字を附けた地圖が發行せられて居る。一たび其地圖を披くと全面皆赤く四百餘州殆んど之なき處がない。今井嘉幸博士はその著『支那國際法論』(一七七頁)に之を評して『支那的に言はゞ禹域殆んど紅しと稱すべし』と。

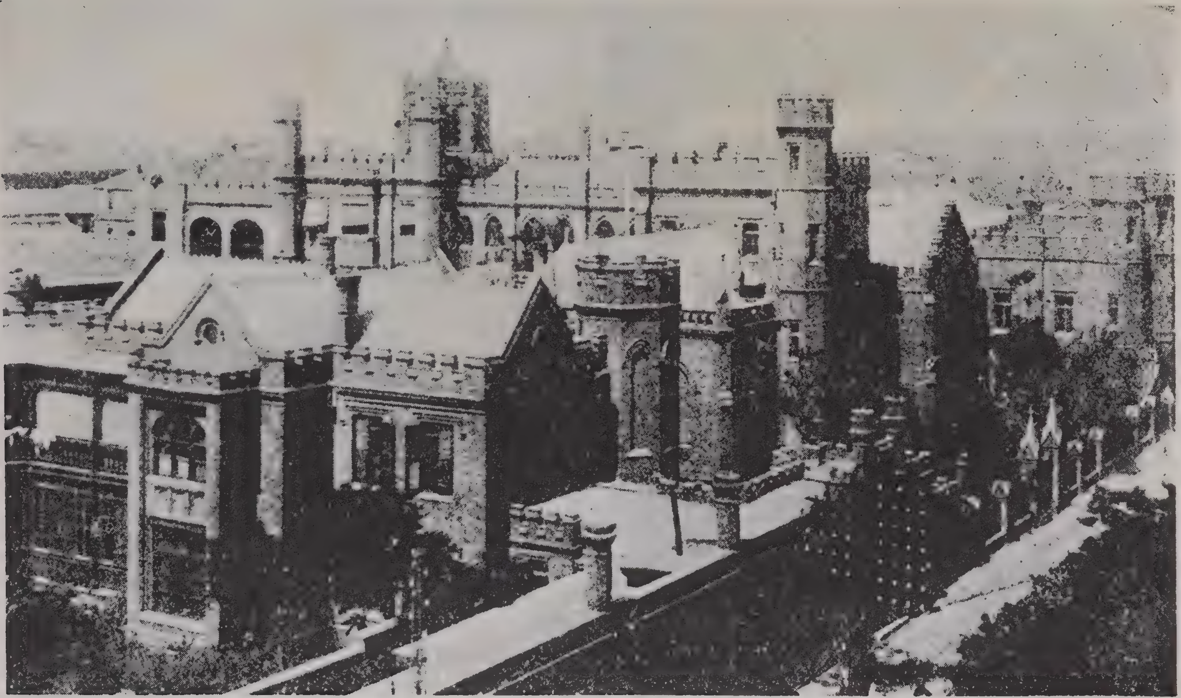
これは唯中國内地會のみのことであるが、一九一七年末の統計によると、新敎全體で

香港大學全景



清華學校全圖
PLAN OF
TSING HUA COLLEGE
PEKING CHINA
HIGH SCHOOL

上海セント・ジョンス大學校舍配置圖



院 書 學 新 津 天

附録

日中人共同生活と滿蒙文化開發案の提唱

目次

頁
第一　滿蒙文化開發と吾人の理想……一
第二　滿蒙文化開發と著手の處……一
第三　日中人共同生活の機會……三
第四　日中人共同生活の要諦……四
第五　外人の中國人啓發運動……六
一　列國の對中國文化政策　二　獨逸の對中國文化事業計畫　三　外人の對中國文化施設概況
第六　滿蒙に於ける外人の中國人啓發運動……四〇
第七　邦人の中國人啓發運動……四七
第八　附屬地文化開發案の提唱……四八
第九　國際的文化開發案の提唱……五一
第十　日本人啓發運動……五三
一　中國文化研究の必要　二　歐米人の中國研究機關　三　中國人に對する態度の改善

目次終

第四節　北京協和醫學校概要……自一五七 至一七四
第一　組　織
第二　醫科入學卒業學位及教授科目
第三　看護婦養成所
第五節　ロ財團の其他の事業……自一七四 至一七五
第六節　盲人教育……自一七五 至一七六
第四章　新　聞……自一七七 至一八三
第一節　外人經營の新聞……自一七七 至一七九
中國に於ける外字新聞一覽表
第二節　新聞と列國政策との關係……自一七九 至一八三
在中國外人に對する貢獻――本國人に對する貢獻――他の列國の對中國行動を牽制――獨逸の中國に於ける宣傳――外人新聞の排日――米國新聞の排日

外國銀行と買辨――彼等傳來の經驗を利用――かゝる使用人は自國的素養を要す
第四 自國政策遂行の援助者
顧維鈞氏出世の徑路――外國留學生は其國を背景とす――留學歸朝者の就職別
――外人經營學校卒業者と就職別
第五 彼我兩國の親善
親善と通商――自國語普及の效果
第三章 醫療其他救濟事業……自一四五 至一七六
第一節 醫療事業……自一四五 至一四五
醫術は布教の手段――外人醫業の概況
第二節 醫學教育……自一四六 至一四七
醫學教育概況――醫學校の經營狀況――共同經營の醫學校
第三節 ロックフエラー財團の醫療事業……自一四七 至一五七
北京協和醫學校の宏壯――ロ財團醫學事業の目的――ロ財團の目的――中國醫術調査委員會――中國醫務局――中國醫術調査委員會報告

中國教育協會――東中國教育協會――西中國教育組合――中部中國クリスト教育組合

第四節　傭聘外國人教師……自一一五至一一六

第五節　社會教育……自一一六至一二三

クリスト教青年會――中國少年義勇團協會――圖書館及博物館――武昌文華大學公開圖書館――濟南齊魯大學廣智院

第六節　教育事業と列國政策との關係……自一二三至一四四

教育施設と列國の競爭――政治的目的は時代錯誤

第一　通商貿易上の目的

青島特別高等學堂設立の目的――ザルトマン氏の見解――文化の輸入と貿易との關係――ザルトマン氏見解の證左――列國は工業教育に力を注ぐ

第二　産業開發上の目的

青島特別高等學堂農林科設立の目的――他人の爲は自分の爲――教會學校と農業奬勵――産業開發は通商貿易を助く――列强の海外政策は今や産業開發主義――獨逸の山東に於ける例

第三　自國人の使用人養成

甲　齊魯大學
乙　英米教會聯合設立學校一覽表
附　獨逸教會設立學校一覽表
第二節　列强政府の設立及之に準ずる學校……自一九〇至一一三
クリスト教學校に對する清朝の態度——民國政府の態度——列國政府施設の動機
第一　英國政府設立學校
甲　香港に於ける施設
乙　香港大學
第二　米國政府設立に準ずる學校
甲　清華學校
乙　厦門同文書院
第三　獨逸政府設立學校
甲　特別高等學堂
乙　同濟德文醫工學堂
第四　佛露政府の設立學校
第三節　教育團體……自一一三至一一四

る待遇――宣教師の專橫――宣教師の厚遇絕頂――新教宣教師はかゝる待遇を要求せず――本節の要約

第四節　布教と列國政策との關係……………………自四一至五〇
宣教師の特權の效果――著者の經驗――國旗は宣教師に從ふ――宣教師は調査機關――外人の中國研究機關一覽表――宣教師は商賣の仲介――病院はホテル――宣教師の排日宣傳

第二章　教育事業……………………自五一至八〇
教育は布教の手段――教育事業は中國人の要求に投ず――本章記述の順序―省別外人施設學校一覽表

第一節　教會設立學校……………………自八〇至九〇
第一　英國教會設立學校
甲　新學大書院
乙　英國教會設立學校一覽表
第二　米國教會設立學校
甲　上海聖約翰大學堂
乙　米國教會設立學校一覽表
第三　英米教會聯合設立學校

モンテ、コルヴノ―利瑪竇の布教の手段――明萬曆帝布教嚴禁令――天啓帝の教士召用――清順治帝の教士優遇――教士の虐待布教の嚴禁――康熙帝の西學と教士優遇――宣教師の內訌――康熙帝の禁教――雍正帝の嚴禁――中國に於ける新教の開祖――清朝の布教公認

第二節　信教の目的と布教の手段……自一八 至二八

中國人のクリスト教排斥の理由――第一其自尊心から――第二クリスト教に對する猜疑から――第三東西洋思想の相違から――中國人の信教の眞意――明朝信教の眞意――清朝信教の眞意――教義にあらずして其學藝にあり――一許一禁常なき理由――布教の手段も亦此間の消息から――下層民の信教の眞意――信教者は殆んど中流以下――禁教に拘はらず信徒の存せし理由――信教によつて生命財產の安固を得る理由――宣教師は信徒を保護す――下層民に對する中國官憲の虐待――信教の目的と布教の手段

第三節　布教に對する保護及宣教師の特權……自二八 至四一

宣教師に對する本國の保護――中國に於ける佛國の名譽ある特權――名譽ある特權と獨逸の破壞――各國の保護は中國信教に及ぶ――中國官憲の保護――佛淸條約――一八九九年の上諭――宣教師の內地居住及財產上の權利――其特權を得たる次第――新教宣教師の均霑――個人としての宣教師も亦同樣――宣教師に對す

中國に於ける外人の文化事業論

目次

口繪 …… 四葉

天津新學書院――上海セント・ジョンス大學校舍配置圖――清華學校全圖――香港大學全景

緒言 …… 自一 至四

對中國文化事業の隆盛――禹域皆赤し――敎會堂は小殖民地――外人敎育事業概觀――外人文化事業に對する中國人の態度――政策的觀察を下すは當然――本書記述の順序

第一章 クリスト敎の傳道 …… 自一 至一〇五

一九一八年クリスト敎布敎大勢――本章記述の順序――政策的觀察は不得已――ゼスイツト敎社の功績――布敎の政治に對する貢献――佛國の布敎上の名譽の特權――布敎と列國の領土獲得――布敎と中國に於ける領土分割

第一節 中國に於けるクリスト敎傳道小史 …… 自一 至一八〇

て著者も其不滿を感せざるわけではないが、如何せん今日の中國を以てしては文獻の徵すべきものなく、全く已むを得ざるに由るのである。讀者幸に之を諒せられよ。

△我國の對中國文化事業に關する卑見については、玆に贅言を費さない。其の一端は本書附錄に披瀝してある。一顧の榮を賜はらば幸甚である。

△本書を編纂するに當つて、山口昇氏著「歐米人の支那に於ける文化事業」より得る所甚だ多い、著書に向つて深甚の謝意を表する。

大正十二年五月

大連の寓居に於て

飯河道雄識

序

△著者曩に河南省優級師範學堂に招聘せられ、親しく中國人の教育に從事して居る傍、常に諸外國人の中國人教育施設の觀察研究を怠らなかつた。後轉じて南滿洲鐵道株式會社に入り、中國人教育事務を擔當して當社の中國人教育諸學校の創設に與かり又敎育研究所を主宰して居つた關係上、中國に於ける外國人の經營する文化事業は余が研究問題の中心であつた。本書は乃ち余が在中國十有八年間の研究の產物である。とはいへ、今更此內容の乏しきを顧みて自ら忸怩たらざるを得ない。

△本書は、外人の對中國文化施設の目的が那邊にあるかを闡明して見たいと考へたのであつて、從つて其施設狀況の記述は施設目的を闡明せんが爲めの材料として必要なだけを擧げたに過ぎない。が併し、施設狀況の梗概を知るには十分であると信ずる。

△本書中に用ひた諸種の統計は、多くは今より數年前のものであつ

AS
445
I37

本書を恩師
内堀維文先生に捧ぐ
著者

LIBRARY
APR 1 1976
UNIVERSITY OF TORONTO

呈上

支那に於ける外人の文化事業論

飯河道雄著

LIBRARY
1976
UNIVERSITY OF TORONTO

台帳番号 32
購入年月日 13.11.15
科目 雑、参
冊数 1

UNIVERSITY OF TORONTO
LIBRARY

purchased from the
MELLON FOUNDATION GRANT

for

EAST ASIAN STUDIES

PLEASE DO NOT REMOVE
CARDS OR SLIPS FROM THIS POCKET

UNIVERSITY OF TORONTO LIBRARY

AS 445 I37 Iikawa, Michio
Shina ni okeru gaijin no bunka jigyo ron

East Asia

UTL AT DOWNSVIEW
D RANGE BAY SHLF POS ITEM C
39 07 16 20 09 015 5